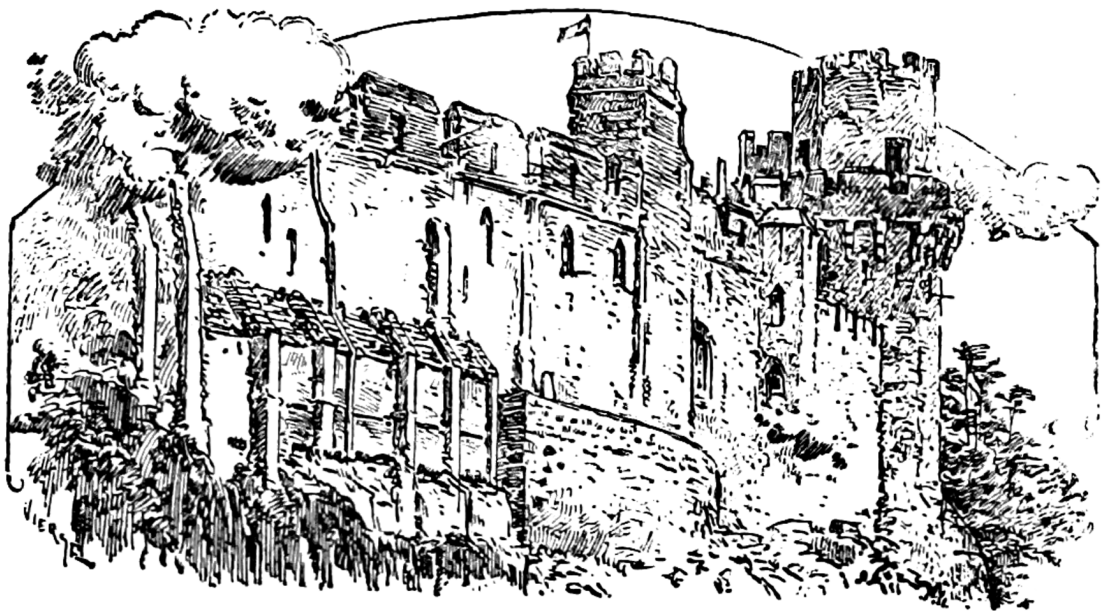
夜明けの街

混声合唱とピアノのための寓話

丸ノ内ノイ

1. 夜明けの街.....page 1
2. 旅人.....page 13
3. Vefles Degnikes.....page 26
4. 少年.....page 36
5. 出立の朝.....page 53

Vefles Degnikes 読み方と対訳.....page 61



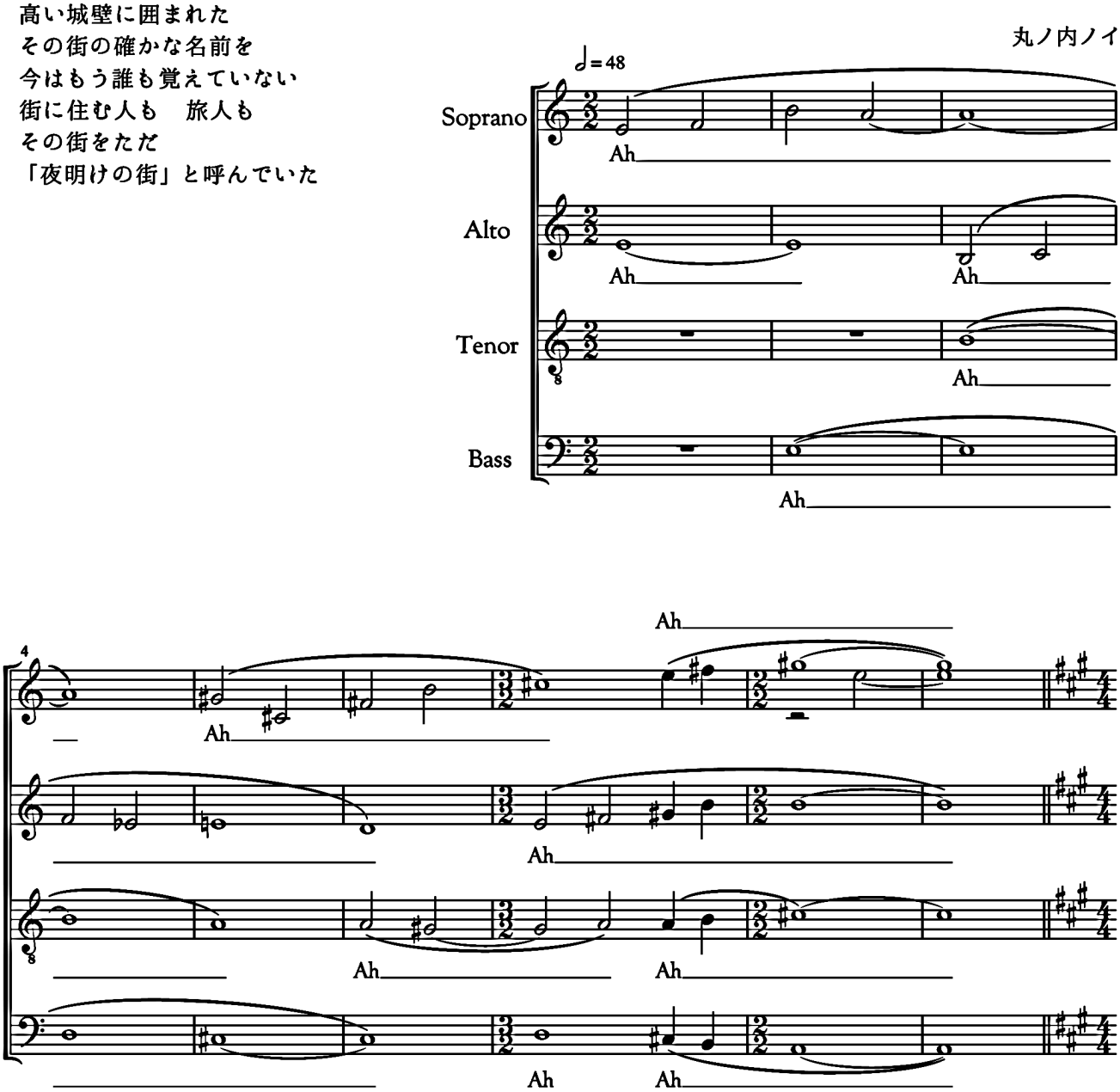
[HARUMACHI Works] [2018] [MARUNOUCHI Noi]

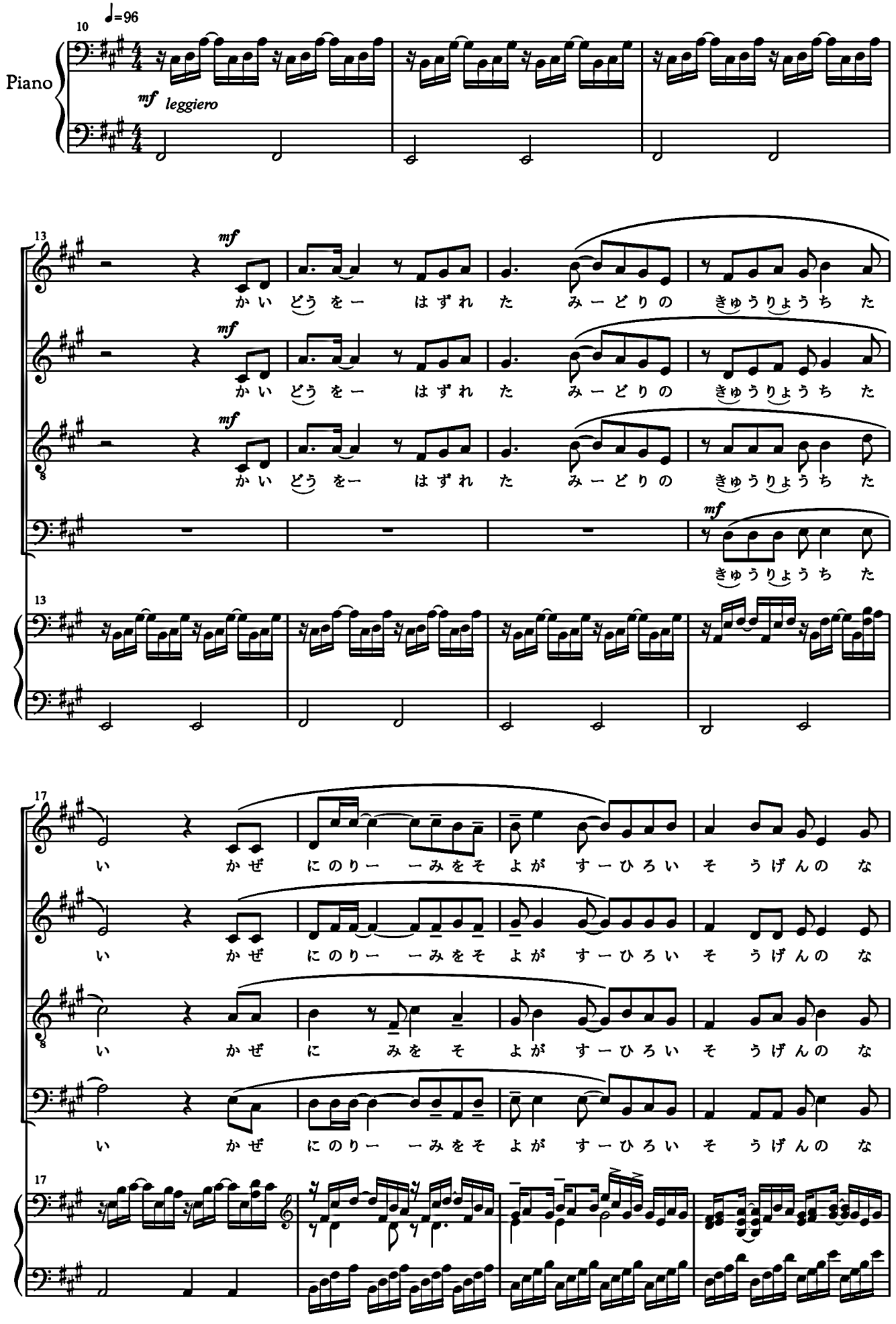
夜明けの街

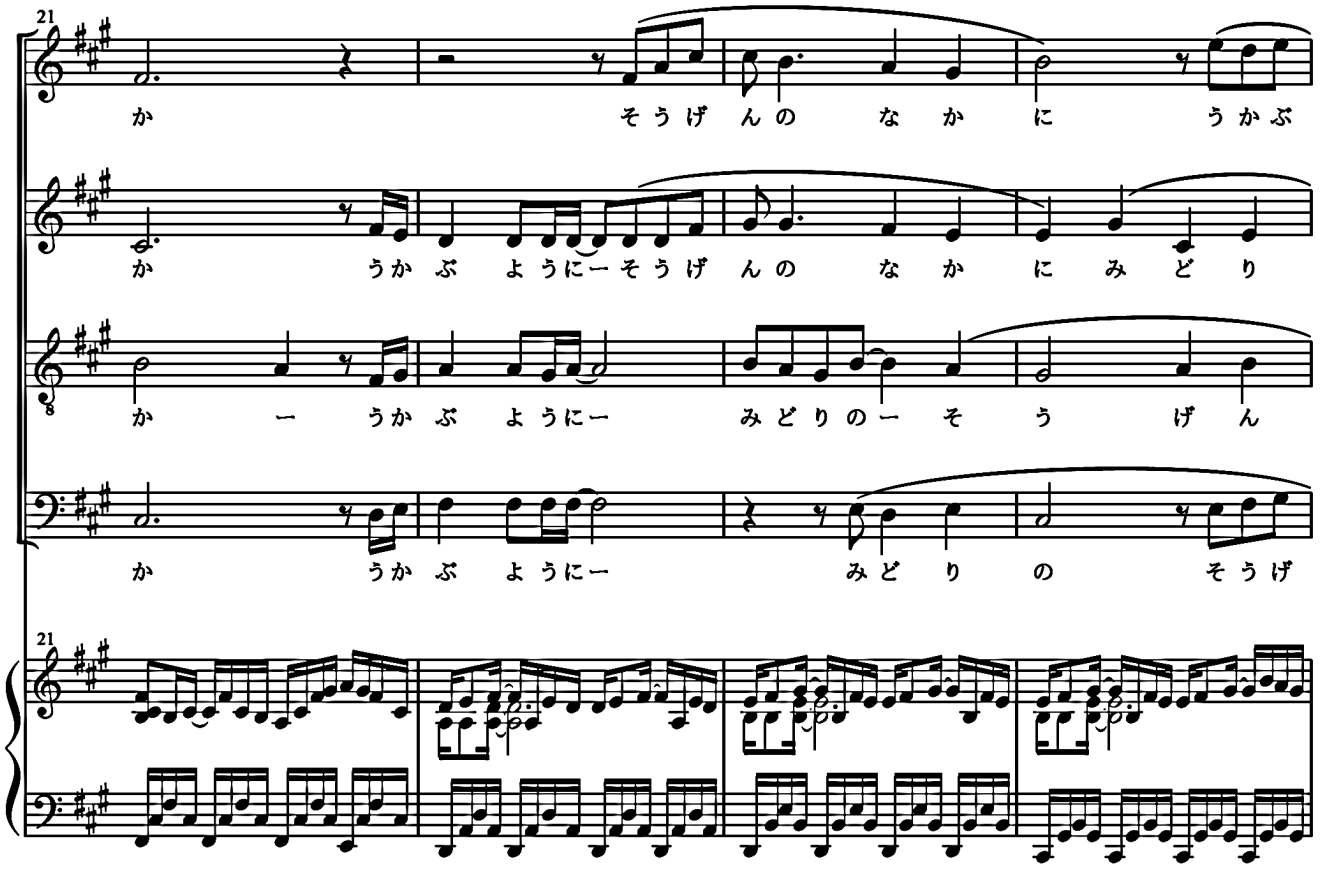
街道を外れた緑の丘陵地帯
風に乗り身をそよがす広い草原の中
浮かぶようにその街はあった

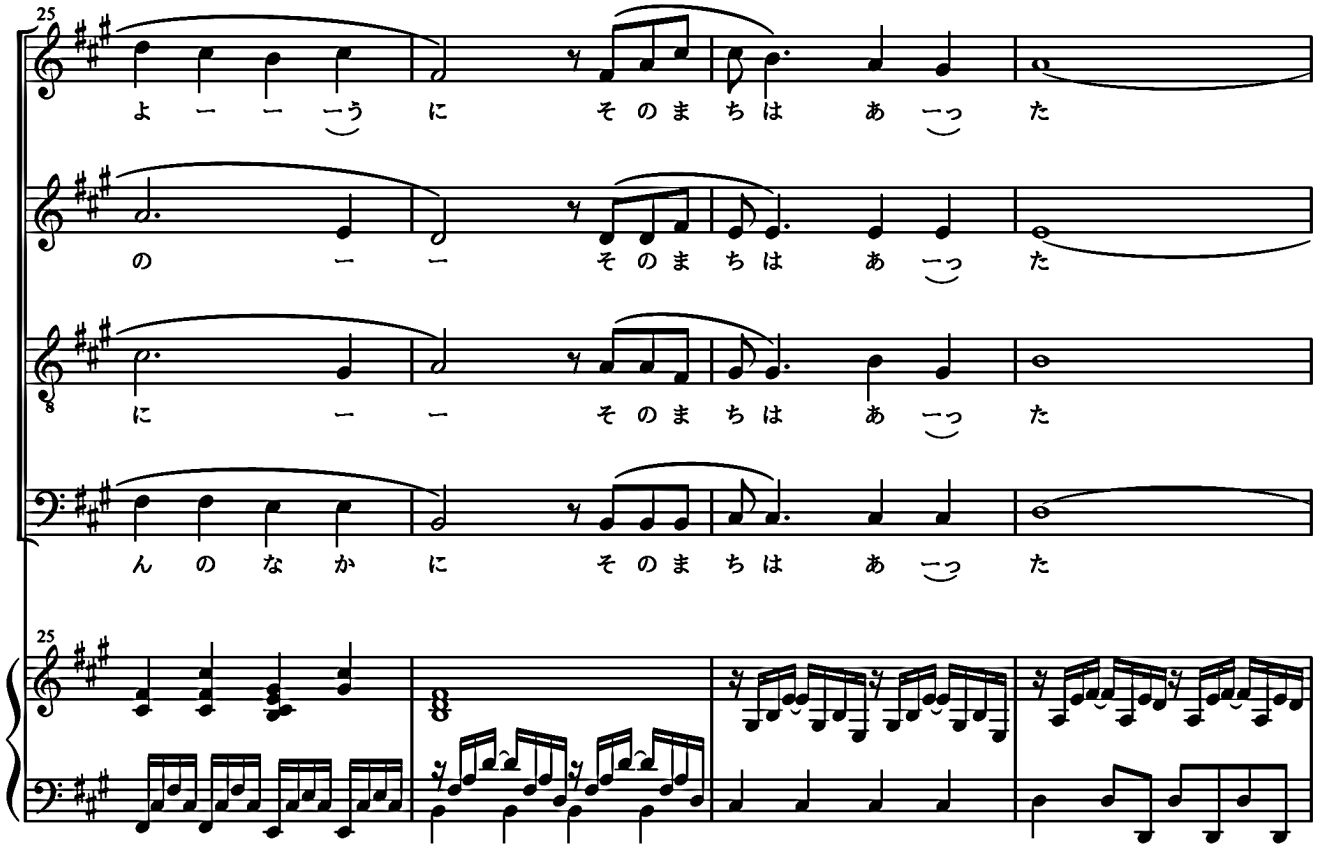
旅人から旅人へ伝えられた
この街が湛える物語
はるか遠い昔
この街は朝をなくした

高い城壁に囲まれた
その街の確かな名前を
今はもう誰も覚えていない
街に住む人も　旅人も
その街をただ
「夜明けの街」と呼んでいた




♩=96
Piano
mf leggiero
mf
かいどうをー はずれた みーどりの きゅうりょうちた
かいどうをー はずれた みーどりの きゅうりょうちた
かいどうをー はずれた みーどりの きゅうりょうちた
きゅうりょうちた
いかぜにのりー ーみをそよがすーひろいそうげんのな
いかぜにのりー ーみをそよがすーひろいそうげんのな
いかぜにみをそよがすーひろいそうげんのな
いかぜにのりー ーみをそよがすーひろいそうげんのな


21
か そうげんの なかに うかぶ
か うかぶ ようにー そうげんの なかに みどり
か ー うかぶ ようにー みどりの ー そう げん
か うかぶ ようにー みどり の そうげ
21


25
よ ー ー ーう に そのま ちは あ ーっ た
の ー ー そのま ちは あ ーっ た
に ー ー そのま ちは あ ーっ た
んの なか に そのま ちは あ ーっ た
25

29

ー Ah Ah

mp

ー Ah Ah

mf

ー Ah たびびーとから

mf

ー Ah たびびーとから

33

ものが たりー

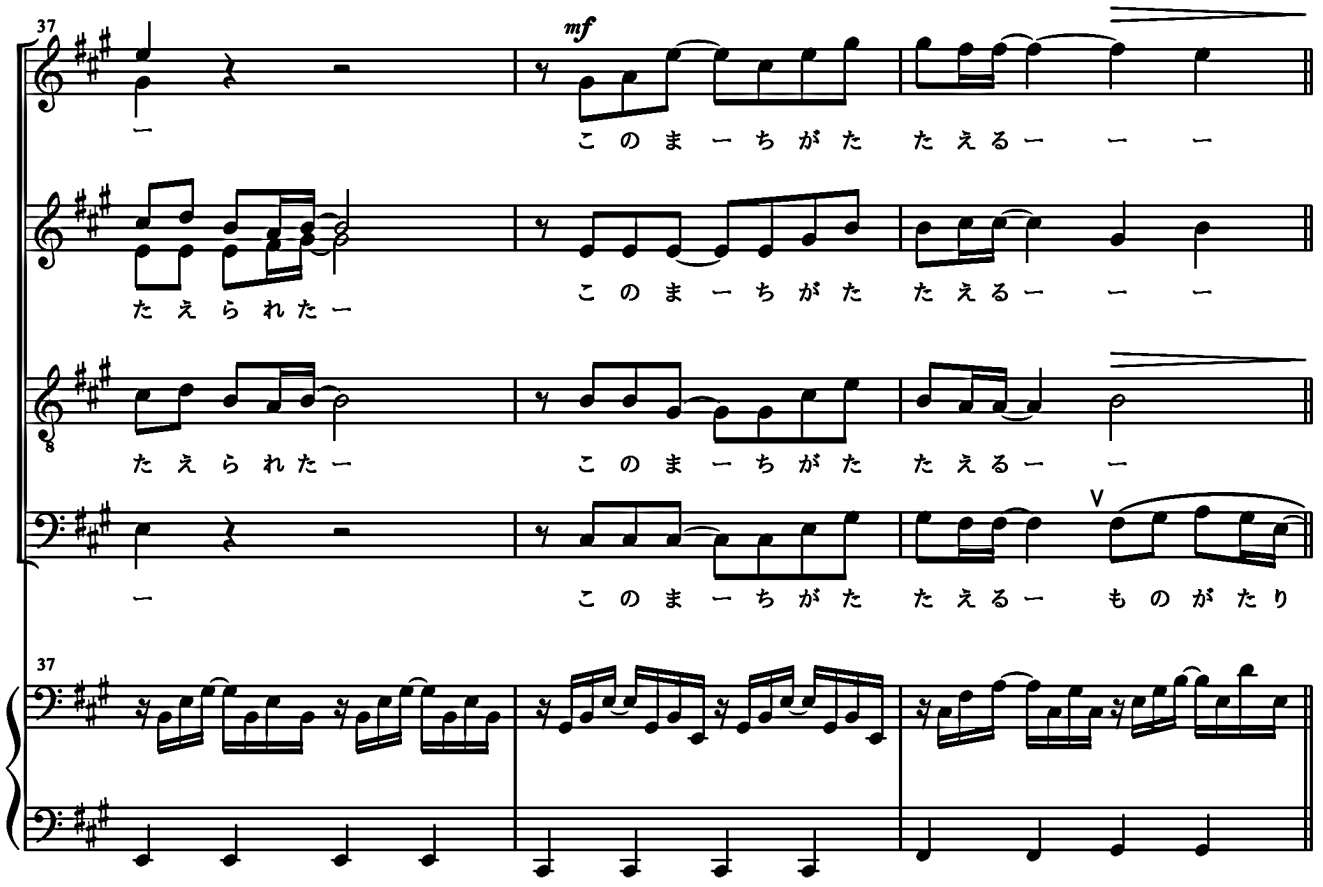
ー Ah ものがたり ー

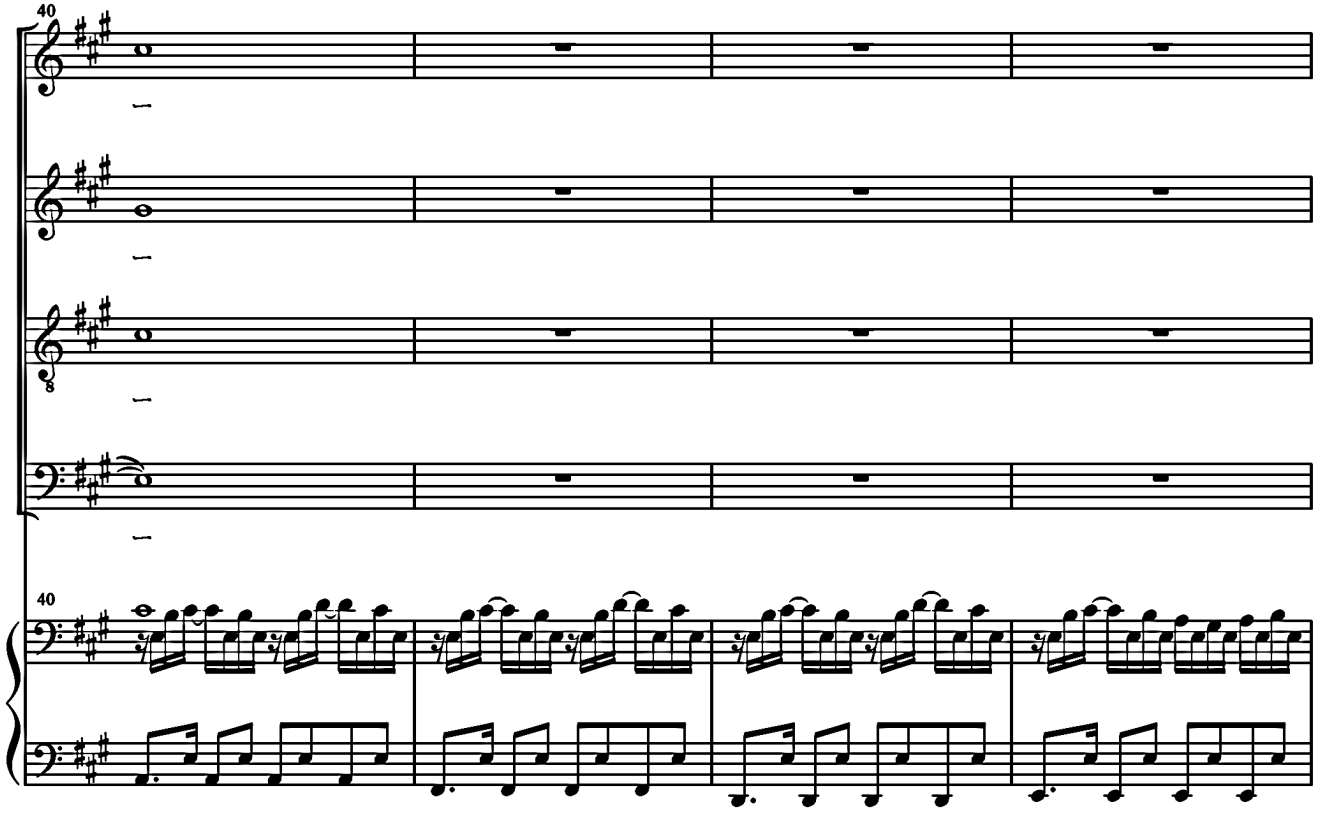
mf

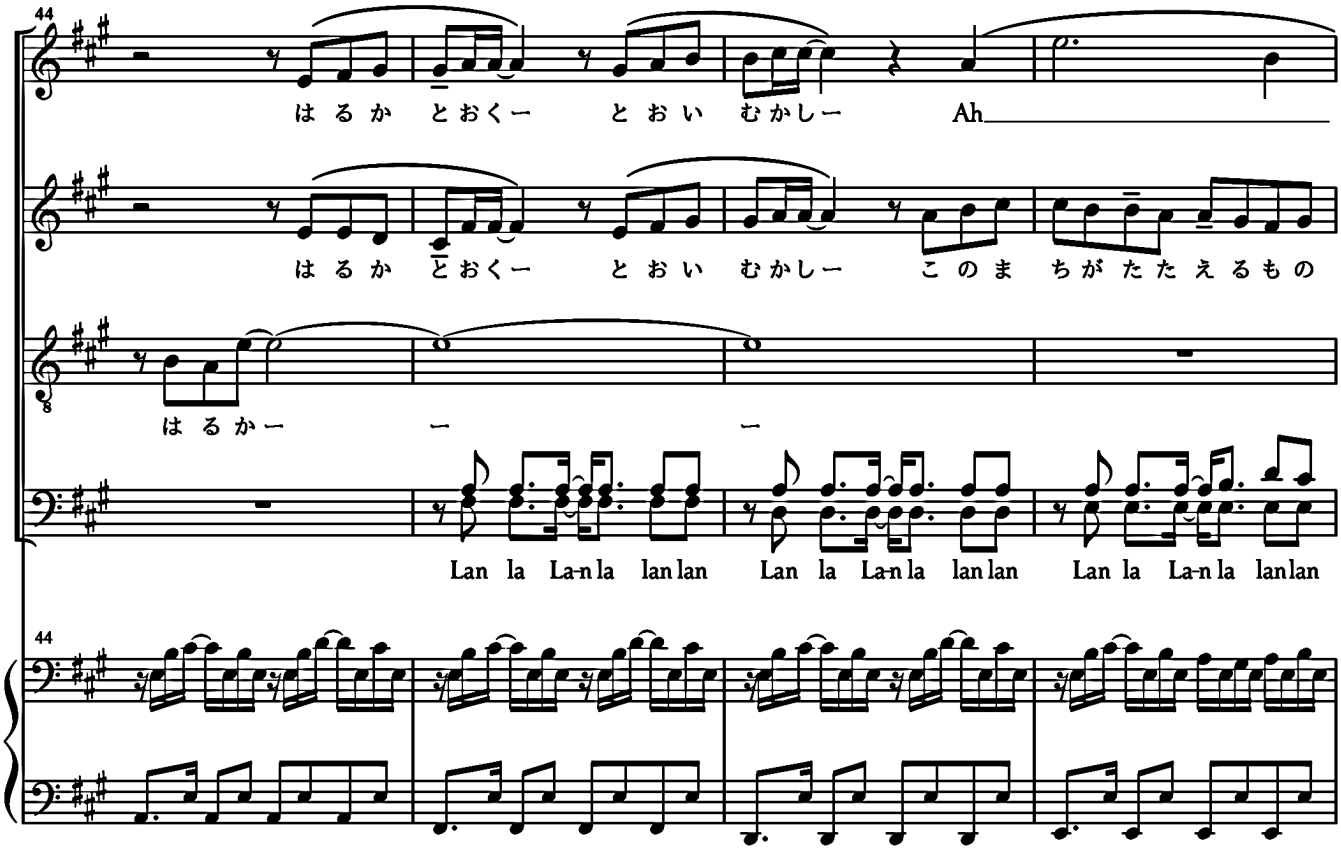
ー Ah Ah たびびーとにつ

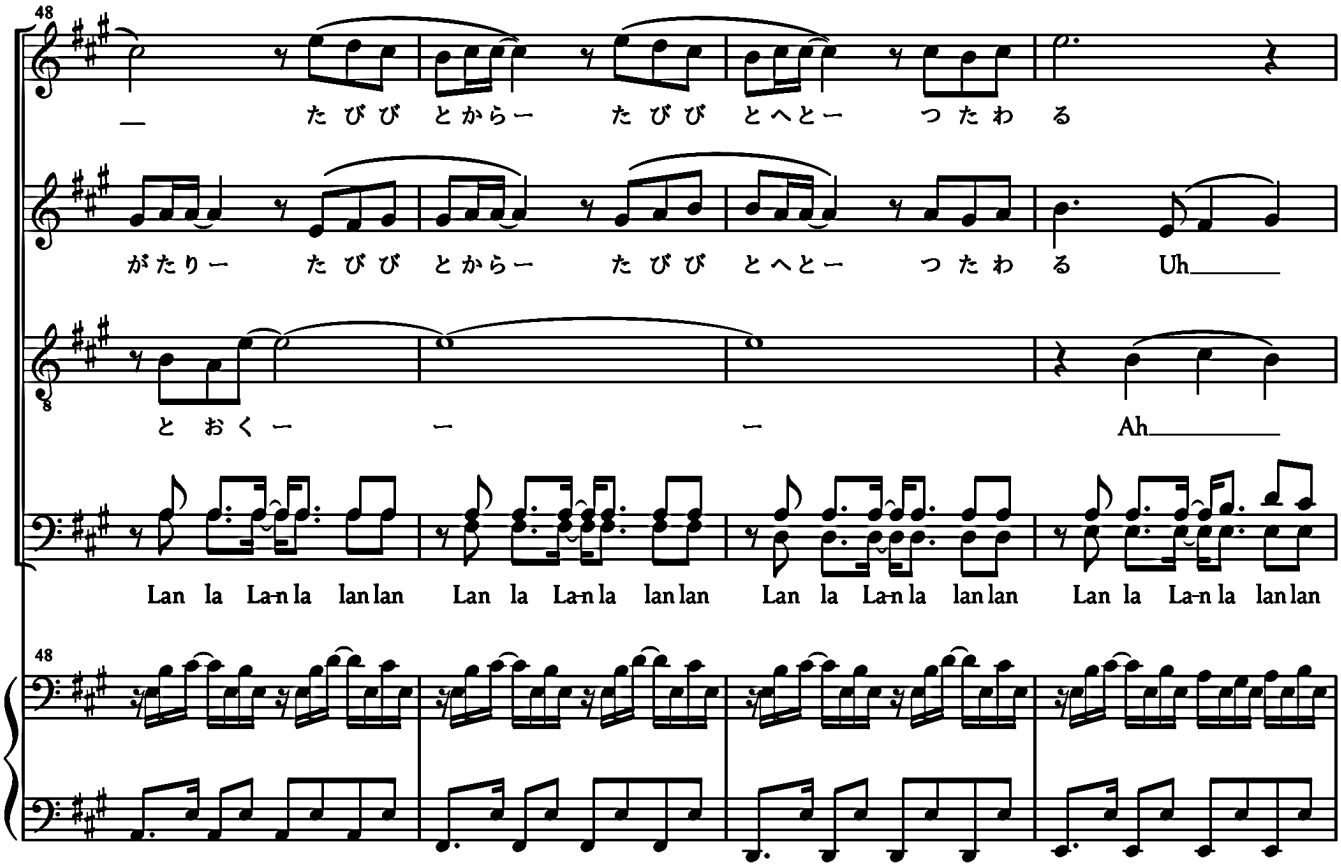
たびびとへー つたえーーられ た たびびーとにつ

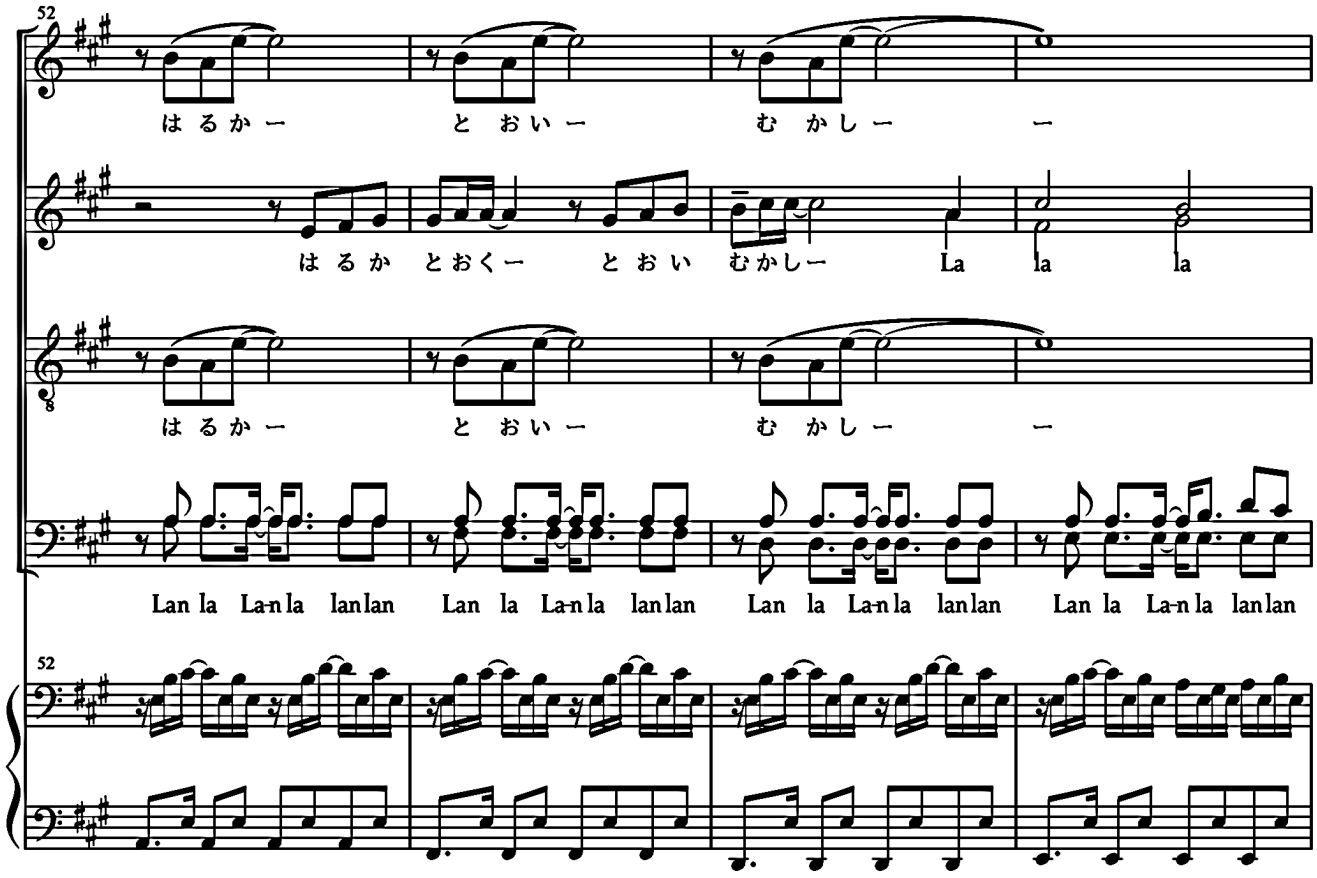
たびびとへー つたえー られ た ー (Ah)ー

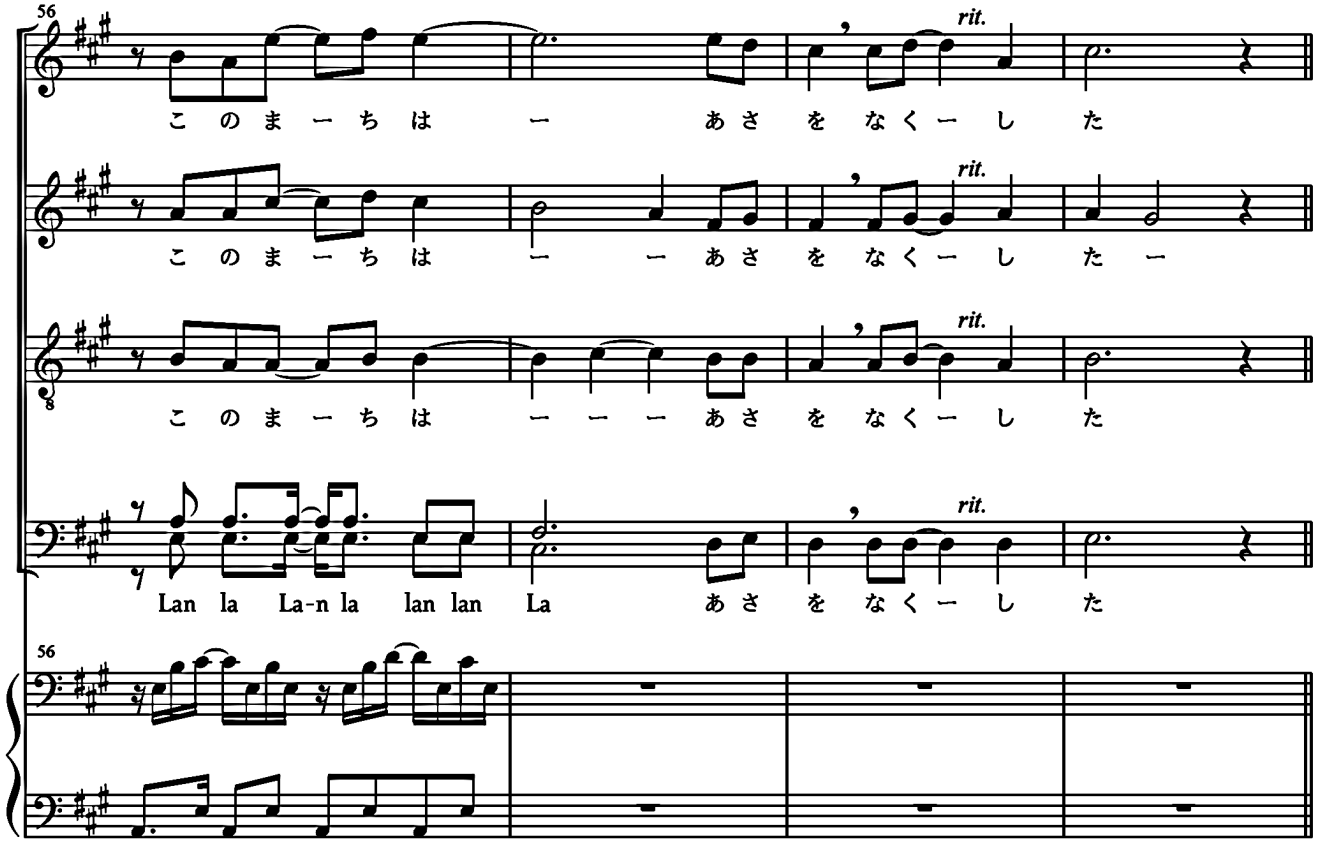

37
mf
ー
このまーちがた たえるー ー ー
たえられたー
このまーちがた たえるー ー ー
たえられたー
このまーちがた たえるー ー
ー
このまーちがた たえるー ものがたり
37

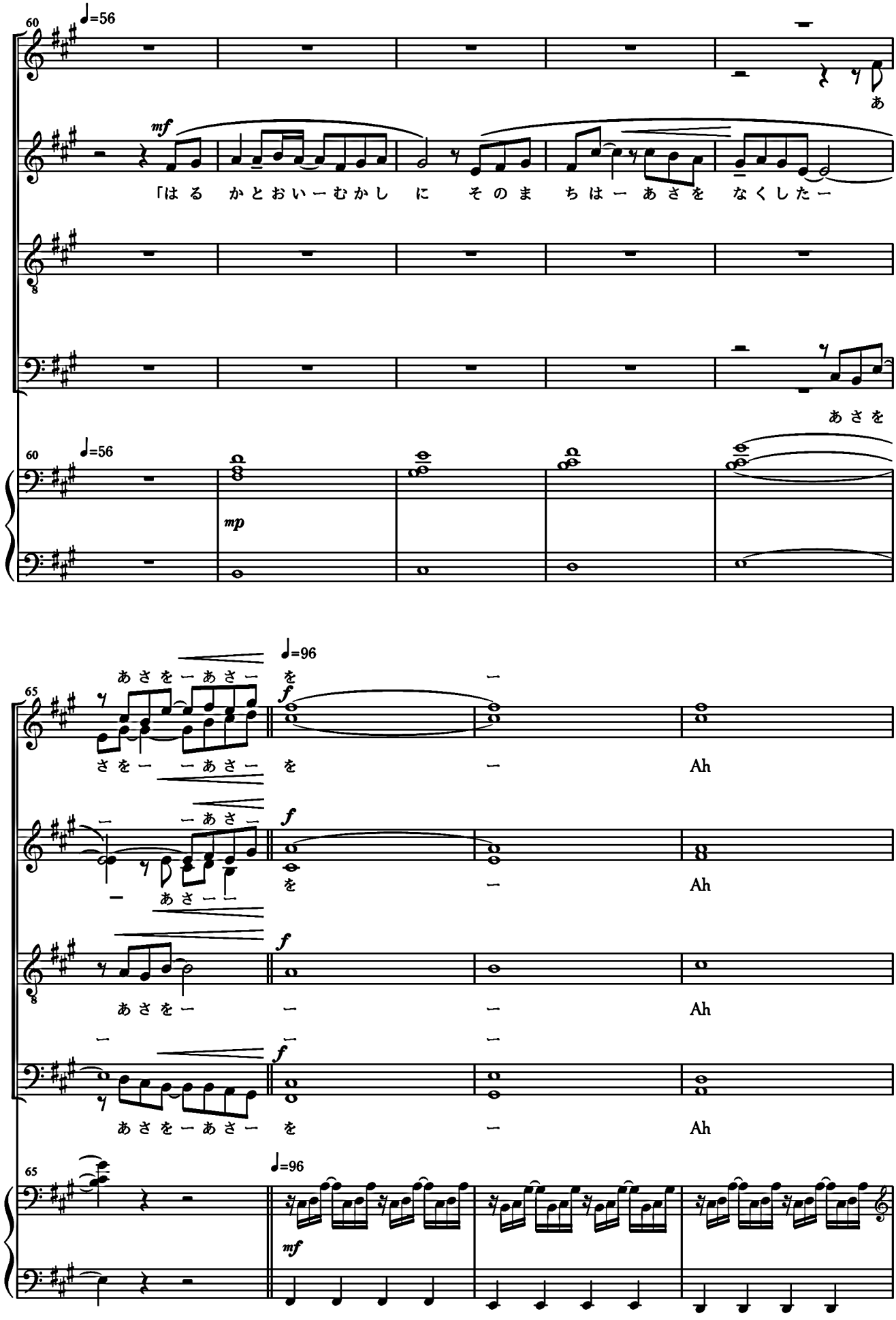

40
ー
ー
ー
ー
ー
40

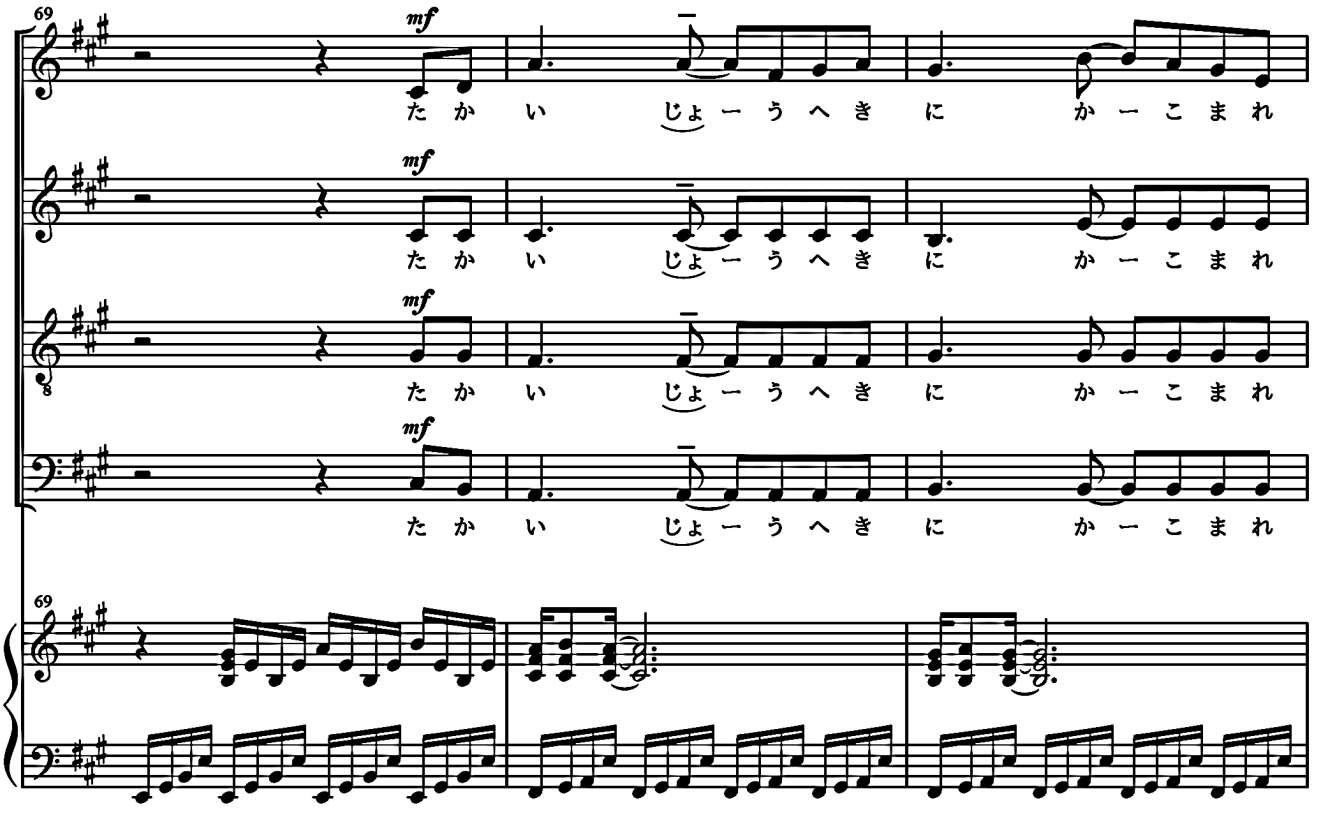

44
はるか とおくー とおい むかしー Ah
はるか とおくー とおい むかしー このま ちがたたえるもの
はるかー ー ー
Lan la La-n la lan lan Lan la La-n la lan lan Lan la La-n la lan lan
44

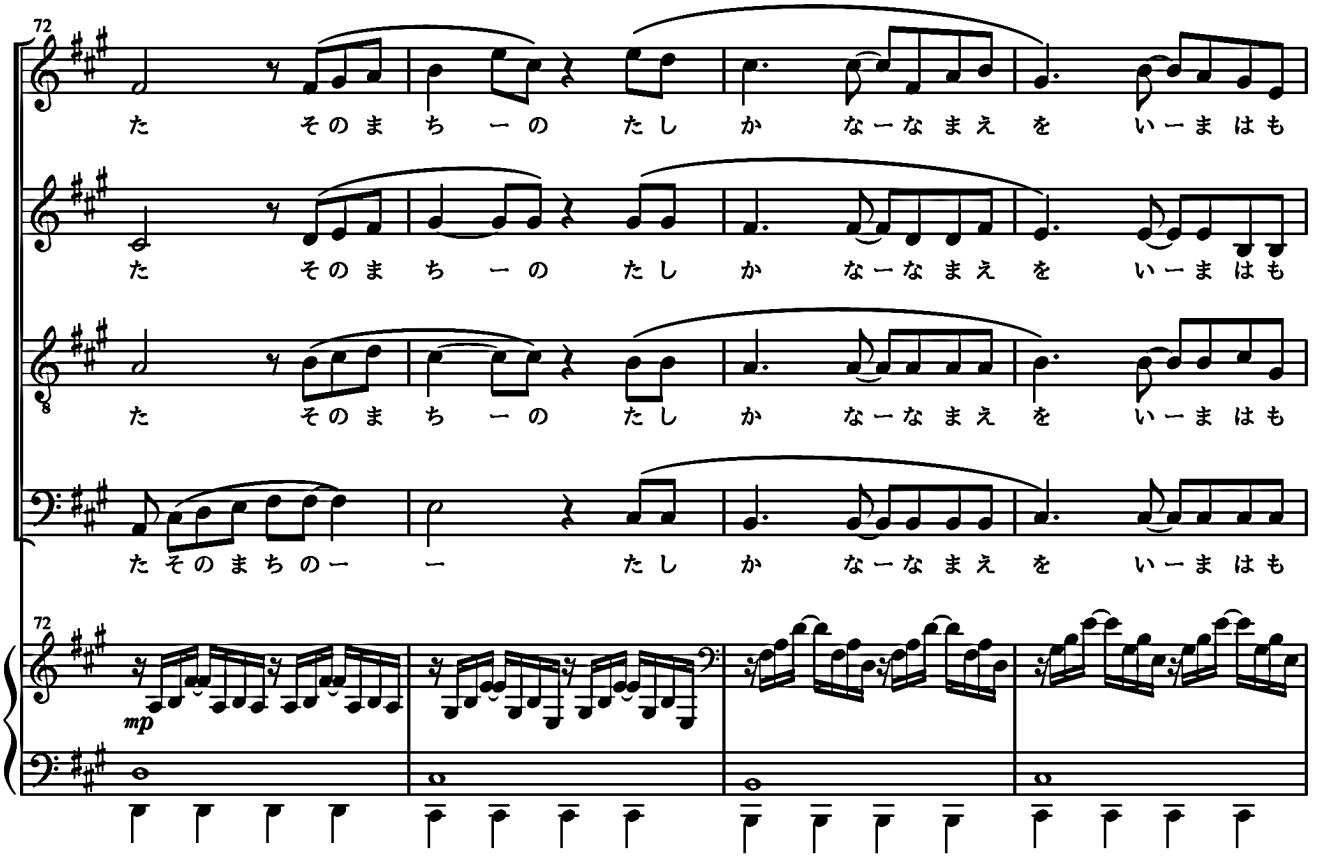

48
たびび とからー たびび とへとー つたわる
がたりー たびび とからー たびび とへとー つたわる Uh
とおくー ー ー Ah
Lan la La-n la lan lan Lan la La-n la lan lan Lan la La-n la lan lan Lan la La-n la lan lan
48

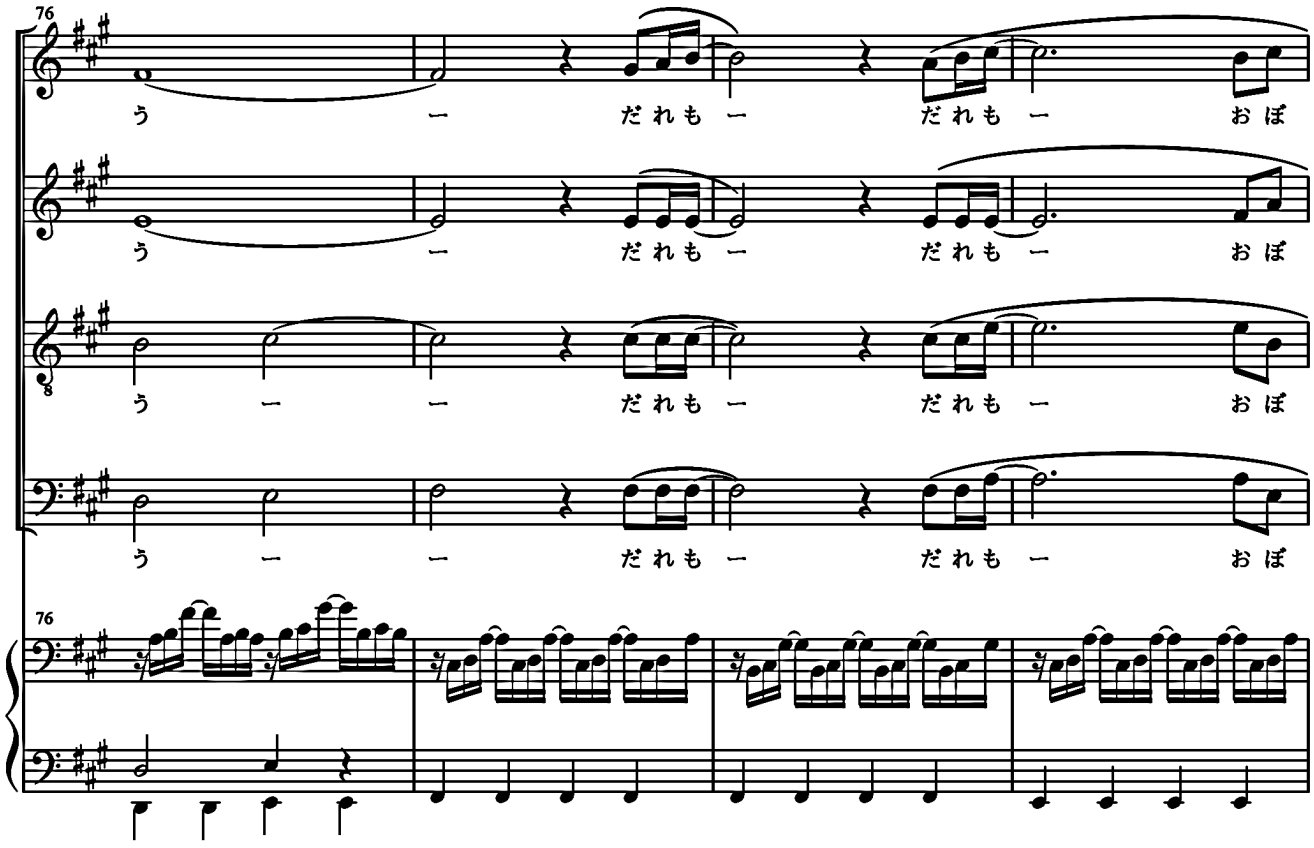

52
はるかー とおいー むかしー ー
はるか とおくー とおい むかしー La la la
はるかー とおいー むかしー ー
Lan la La-n la lanlan Lan la La-n la lanlan Lan la La-n la lanlan Lan la La-n la lanlan
52

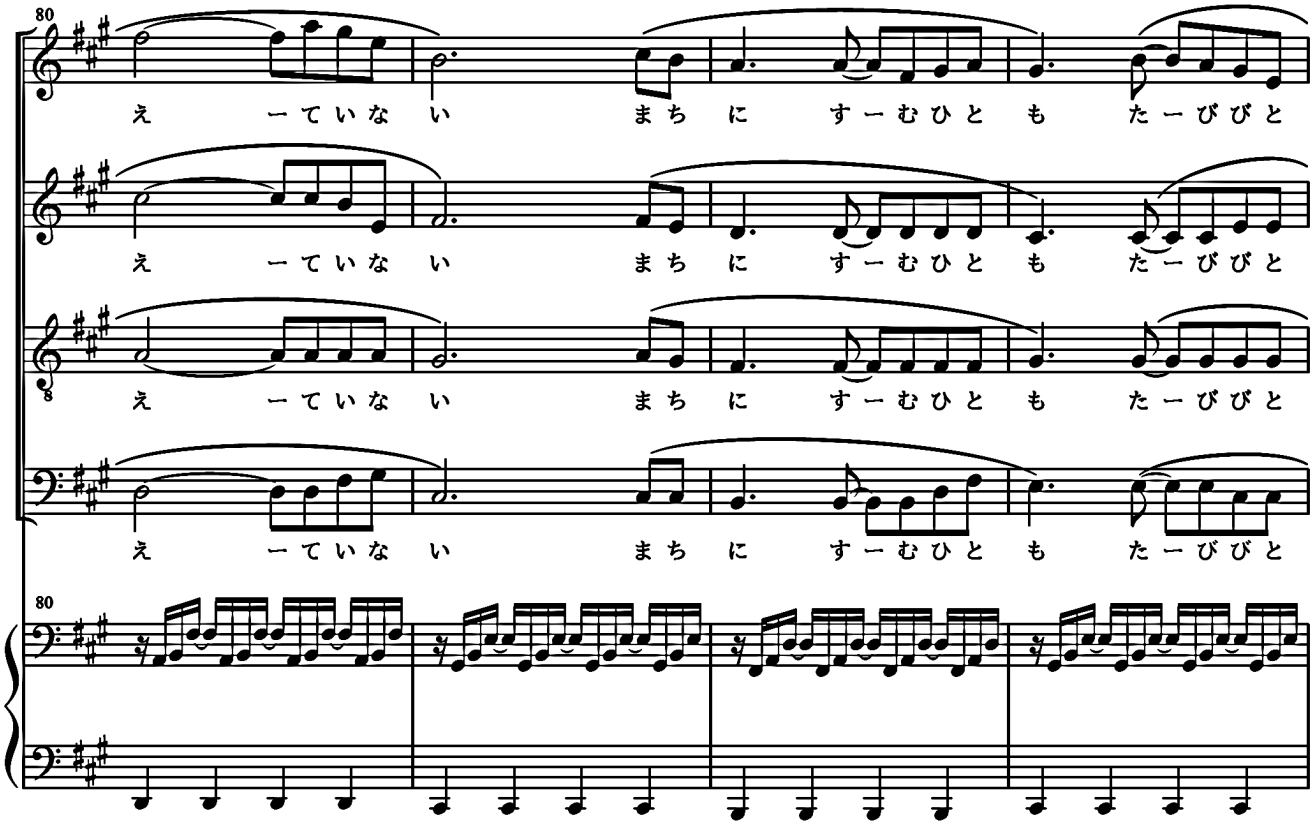

56
このまーちは ー あさをなくーした
rit.
このまーちは ー ーあさをなくーしたー
rit.
このまーちは ーーーあさをなくーした
rit.
Lan la La-n la lan lan La あさをなくーした
rit.
56

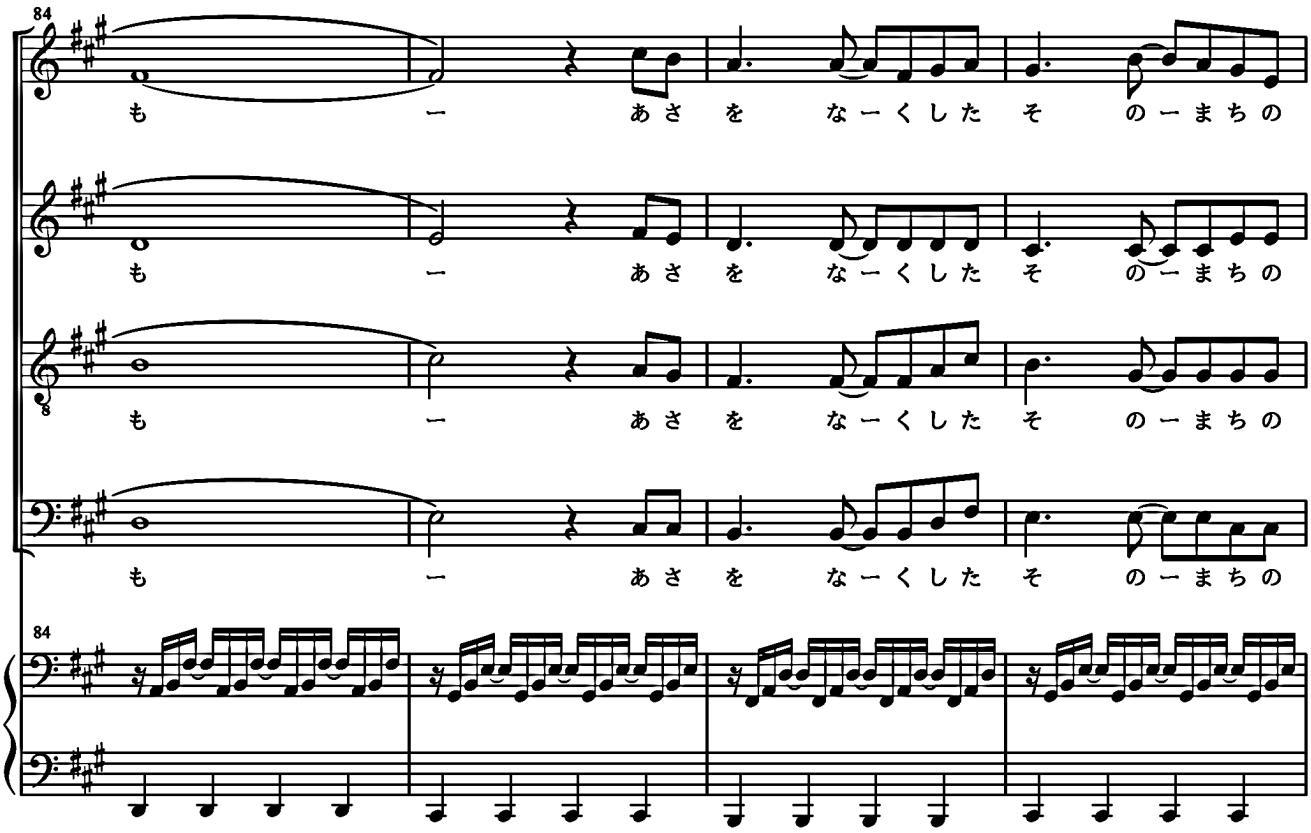

60
♩=56
mf
「はる かとおいーむかし に そのま ちはー あさを なくしたー
あ
あさを
mp
65
♩=96
あさをーあさー を
さをー ーあさー を
ーあさー
ーあさー
あさをー
あさをーあさー を
Ah
mf

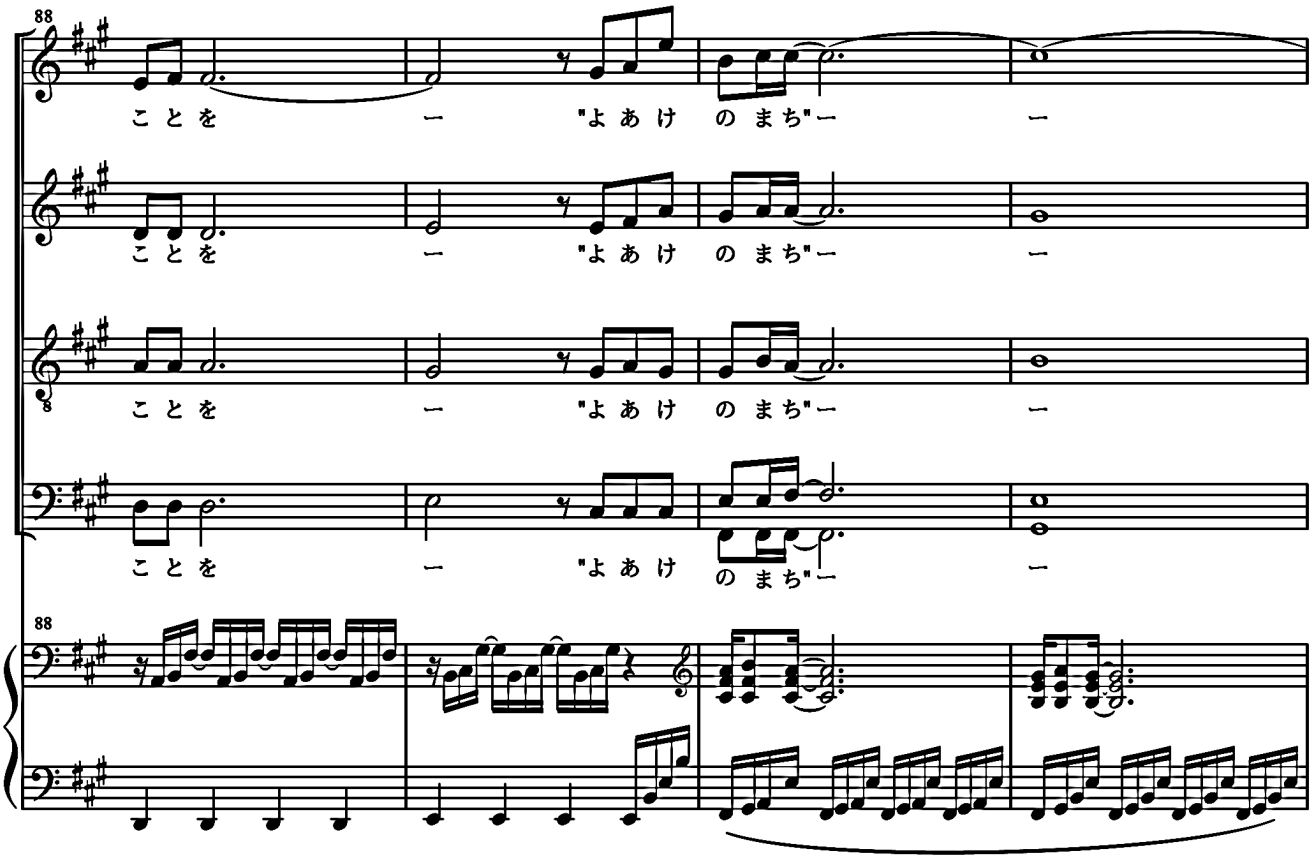

69
mf
たかい じょーうへきに かーこまれ
たかい じょーうへきに かーこまれ
たかい じょーうへきに かーこまれ
たかい じょーうへきに かーこまれ

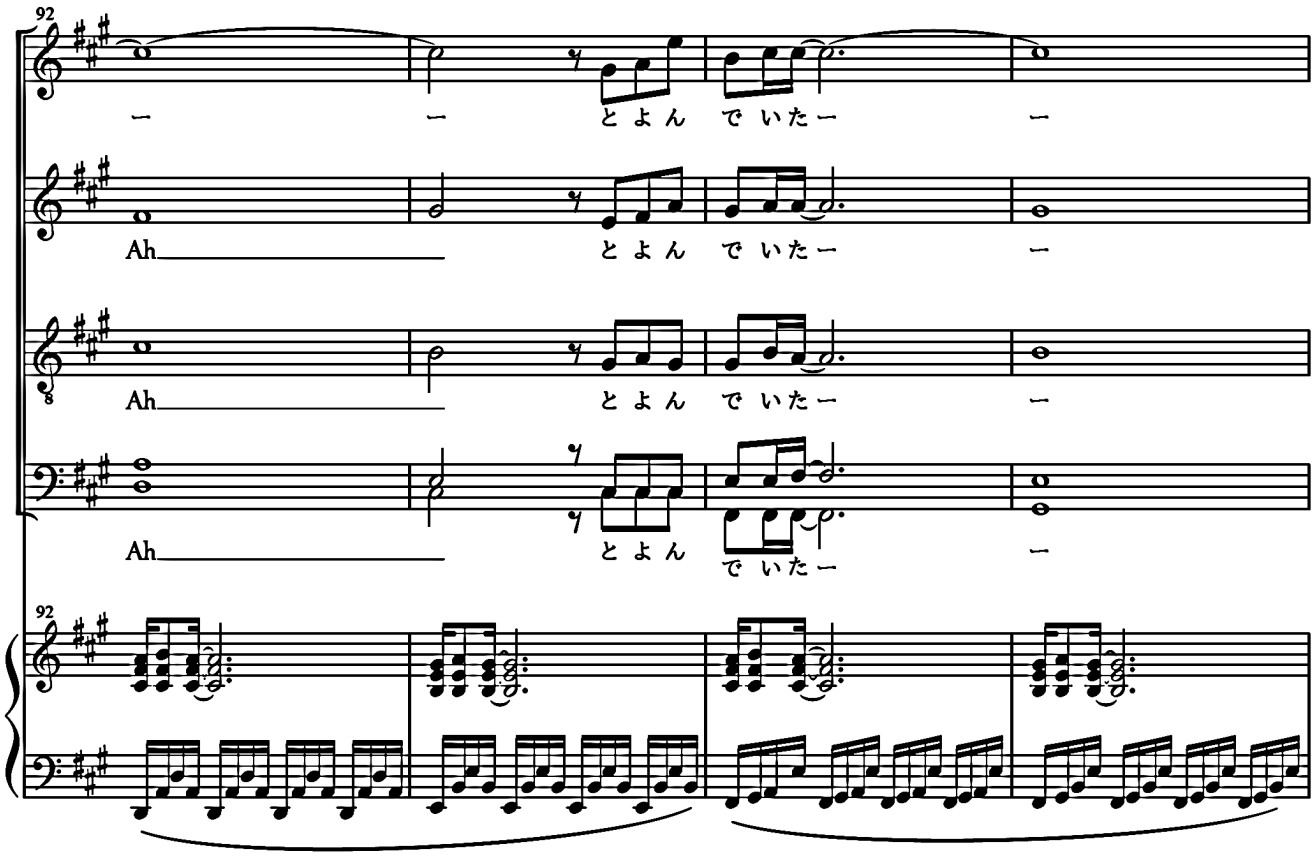

72
たそのまちのーの たしかなーなまえを いーまはも
たそのまちのーの たしかなーなまえを いーまはも
たそのまちのーの たしかなーなまえを いーまはも
たそのまちのー ー たしかなーなまえを いーまはも
mp

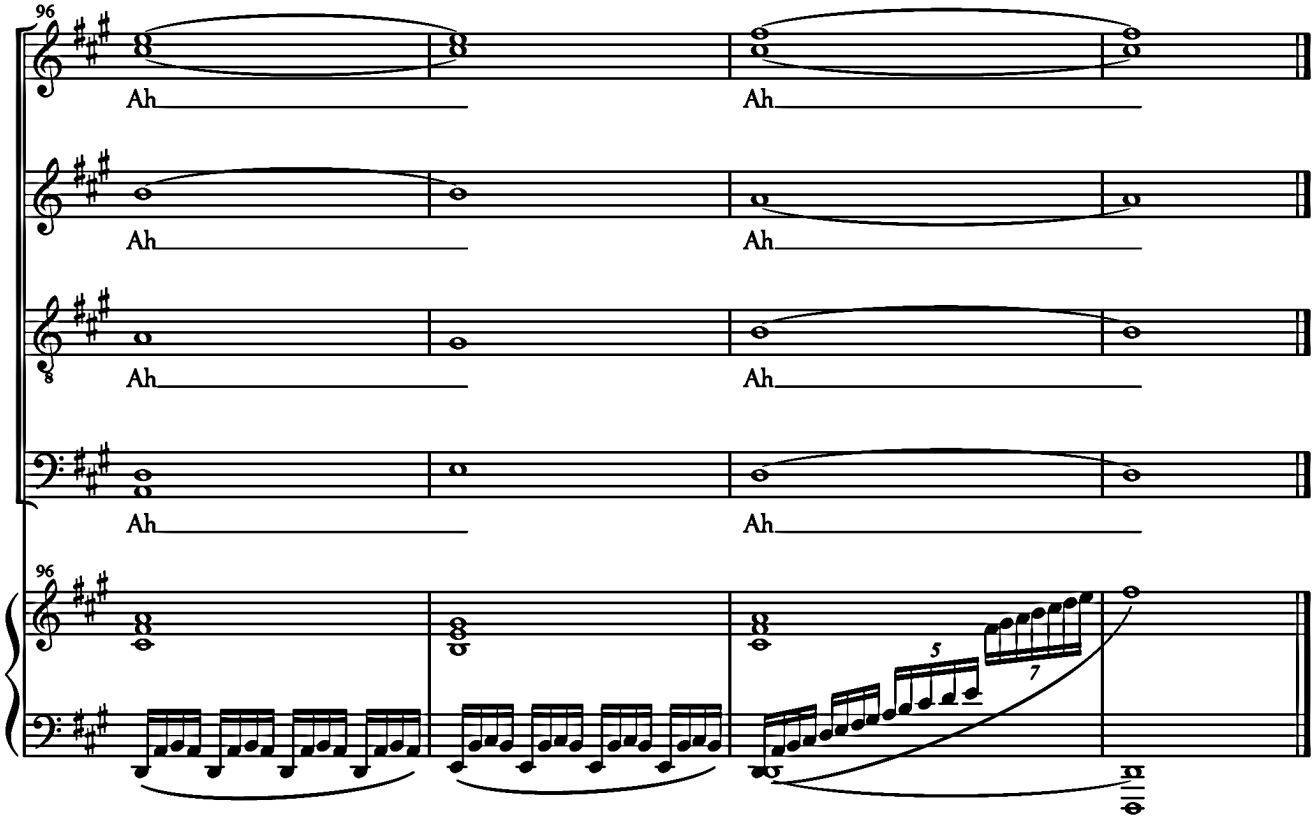

76
う ー だれも ー だれも ー おぼ
う ー だれも ー だれも ー おぼ
う ー ー だれも ー だれも ー おぼ
う ー ー だれも ー だれも ー おぼ
76


80
え ーていな い まち に すーむひと も たーびびと
え ーていな い まち に すーむひと も たーびびと
え ーていな い まち に すーむひと も たーびびと
え ーていな い まち に すーむひと も たーびびと
80


84
も ー あさ を なーくした そ のーまちの
も ー あさ を なーくした そ のーまちの
も ー あさ を なーくした そ のーまちの
も ー あさ を なーくした そ のーまちの


88
こと を ー "よ あ け の まち"ー ー
こと を ー "よ あ け の まち"ー ー
こと を ー "よ あ け の まち"ー ー
こと を ー "よ あ け の まち"ー ー


92
ー ー とよん でいたー ー
Ah とよん でいたー ー
Ah とよん でいたー ー
Ah とよん でいたー ー

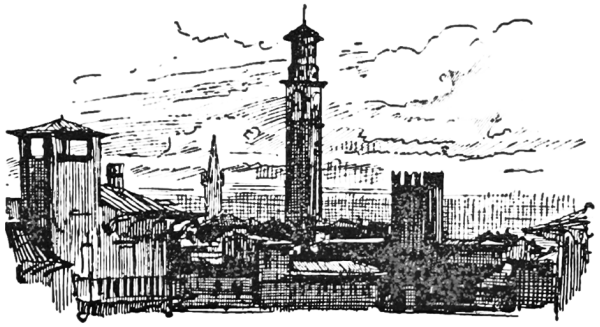

96
Ah Ah
Ah Ah
Ah Ah
Ah Ah

旅人

昔、一度だけ、父さんに連れられてこの街にやって来た事がある。もう二十年も前の話だ。子供時分の記憶だが、今でもうっすらと思い出す。一日中、夜の闇と原色の喧噪に覆われた街。熱く活気に満ちたその街は、きらきら輝く宝箱のように、幼い僕の目にまぶしく映った。目抜き通りを照らす、店の灯りはやさしく―

（白む空に朝を思い
駆け寄った窓の外
背伸びをしても
光は見えない

静かに息を止めたように
仰ぎ倒れた空は
明るさを失い
また夜闇に飲まれる）



―終業の鐘が鳴り渡り、目抜き通りは工場帰りの男たちや連れ立った女たちで賑わいだす。通りに面したどの店からも、陽気な笑い声と音楽が絶えない。二十年前と変わらない街の光景だ。

僕がここ数日行きつけている店は、労働者がよく集まる歓楽街の一角にあった。そろそろ馴染みの連中が来るころだ。カウンターで店主と世間話をしている間に、だいぶとお客さんが増えた。今月の納期がどうだの、この間別れた女がどうだの、隣の工場の新人がどうだの…それぞれのテーブルに話題が尽きるはことない。

この街の人々は殊更に明るい。闊達な気質とでも言うのだろうか、皆おおらかだ。年中のっぺりとした暗闇に包まれているわりには、退廃的で陰鬱なイメージはこの街のどこにも見当たらない。人々は己の仕事に誇りをもっていた。始業の鐘から終業の鐘まできっかし、汗をかいて働く。一日の終わりには仲間たちと、家族と、今日の労働を互いにねぎらいあう。

街から出て行く人が少ないというのも頷ける。ここには、幸福な生活があった。慎ましくも幸せな日々だ。この街にさえいれば、その機会は存分に与えられる。この閉ざされた城壁の中で。

ただ、朝だけが来ないのだ。いくら待っても日を重ねても、果たして朝が来ることはない。街の人にとってみれば、それはどうだっていいことなのかもしれない。朝が来ようが来まいが、彼らの生活には、何ら関係のないことなのだから。だが、それが僕には、なんだか妙に思えてならないのだ。

（暗い路地に火花は踊り
いくつもの煙突が
夜空に赤く
燦然と立ち尽くす

その足元で
明けない夜は
美しく恐ろしい夜明けの繻子を
一瞬翻して笑う）

遠くで鐘が鳴っている。また、一日がはじまろうとしていた。眠たい目をこすりながら、僕は窓の外を見やった。空が円い。街に蓋をするように広がる空は、じょじょに白みはじめていた。また始まる今日の日に、こうして朝は来ないのだ。

丸ノ内ノイ

♩= 108 ♫=♪

Piano

mp

6

Soprano

mp

む か し い ち ど

Alto

mp

む か し い ち ど

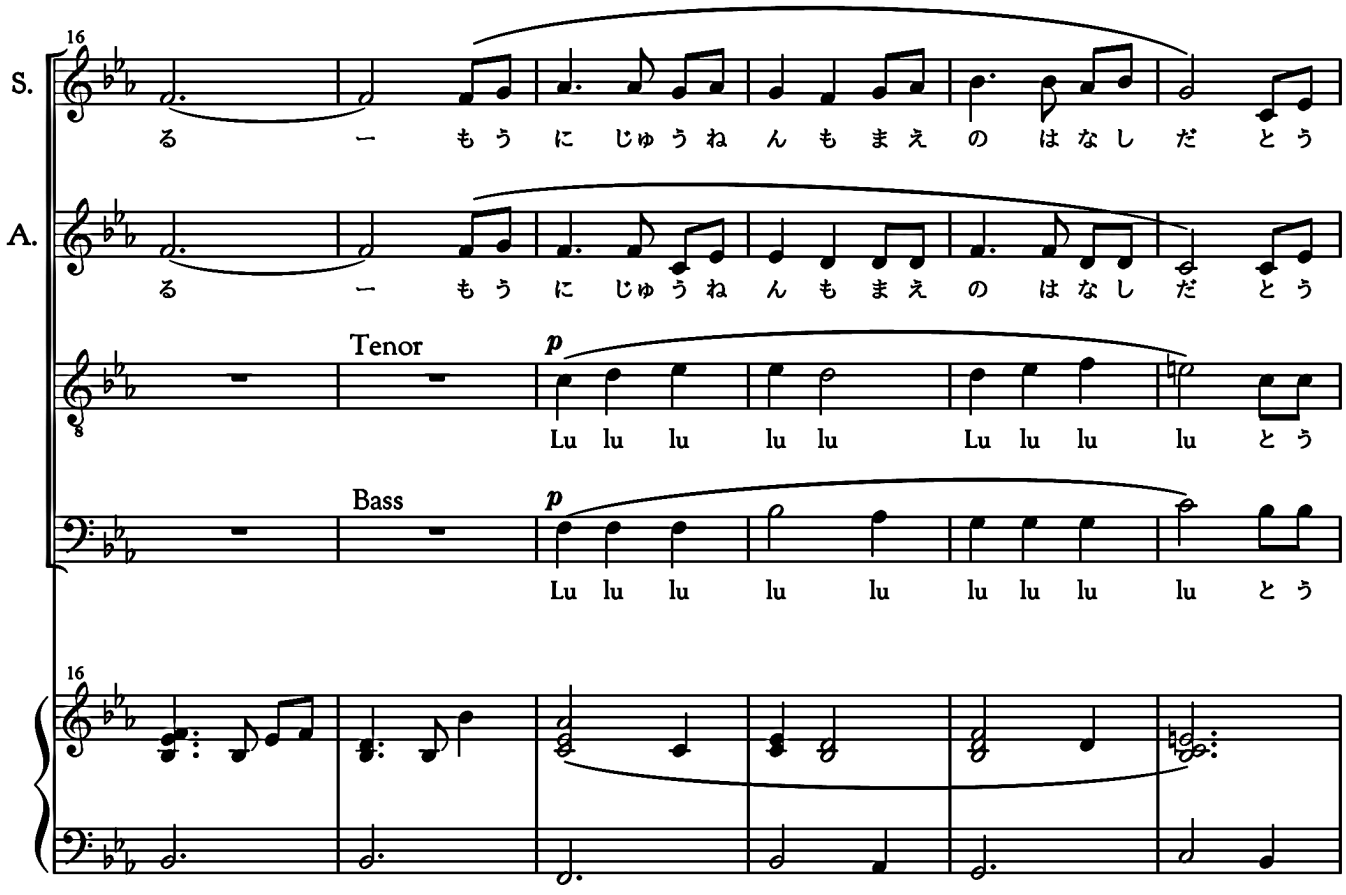
6

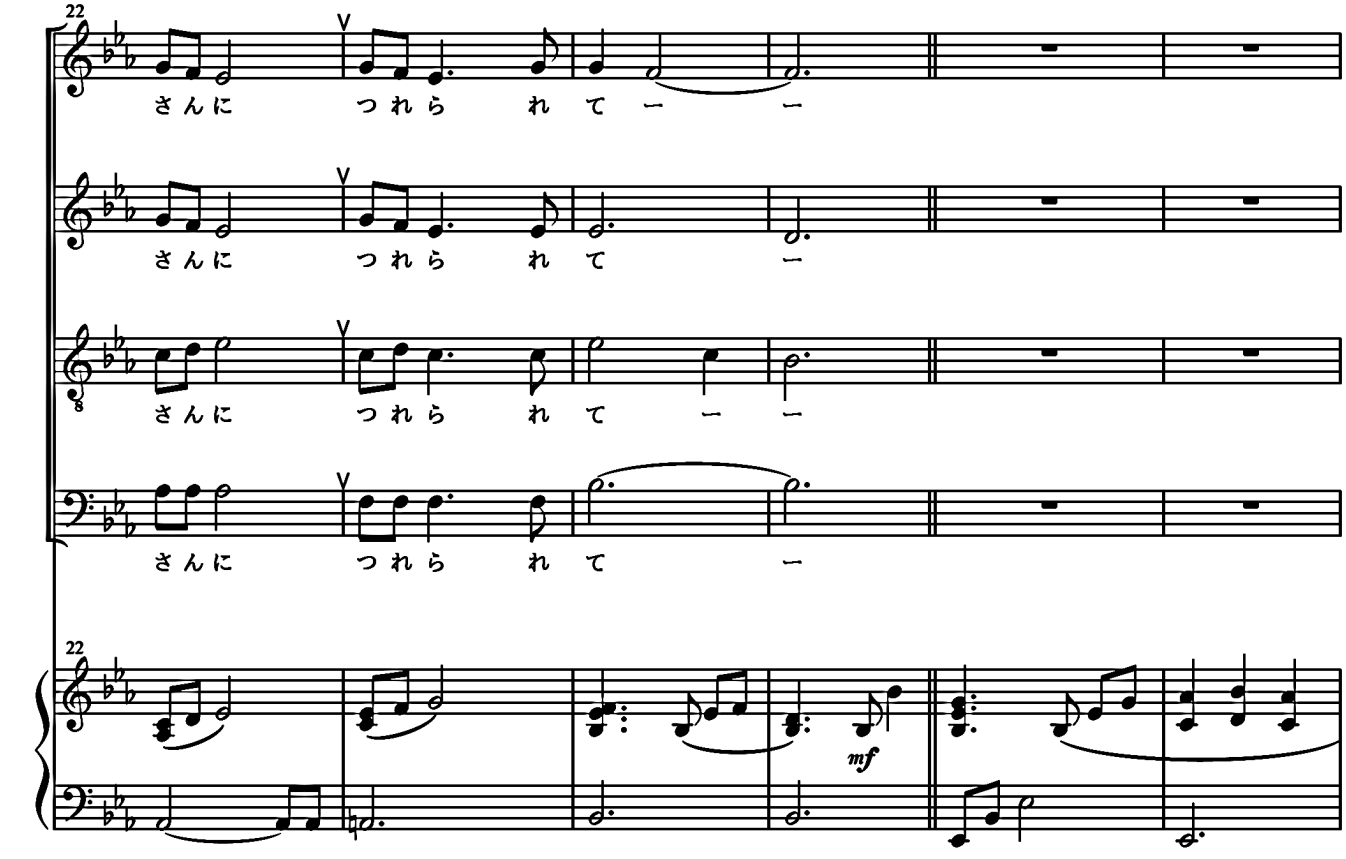
11

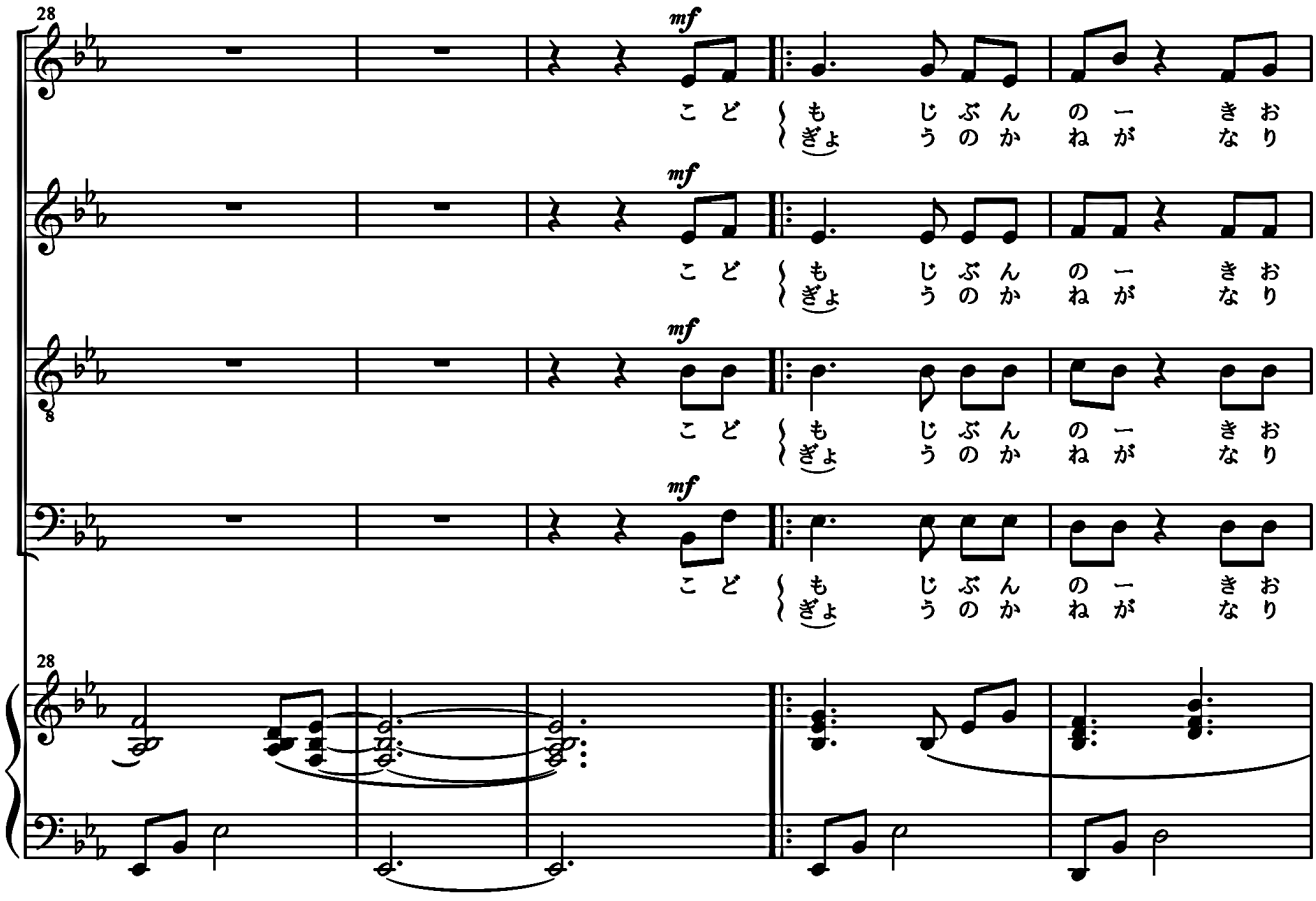
だ け こ の ま ち に やっ て き た こ とが ー ー あ

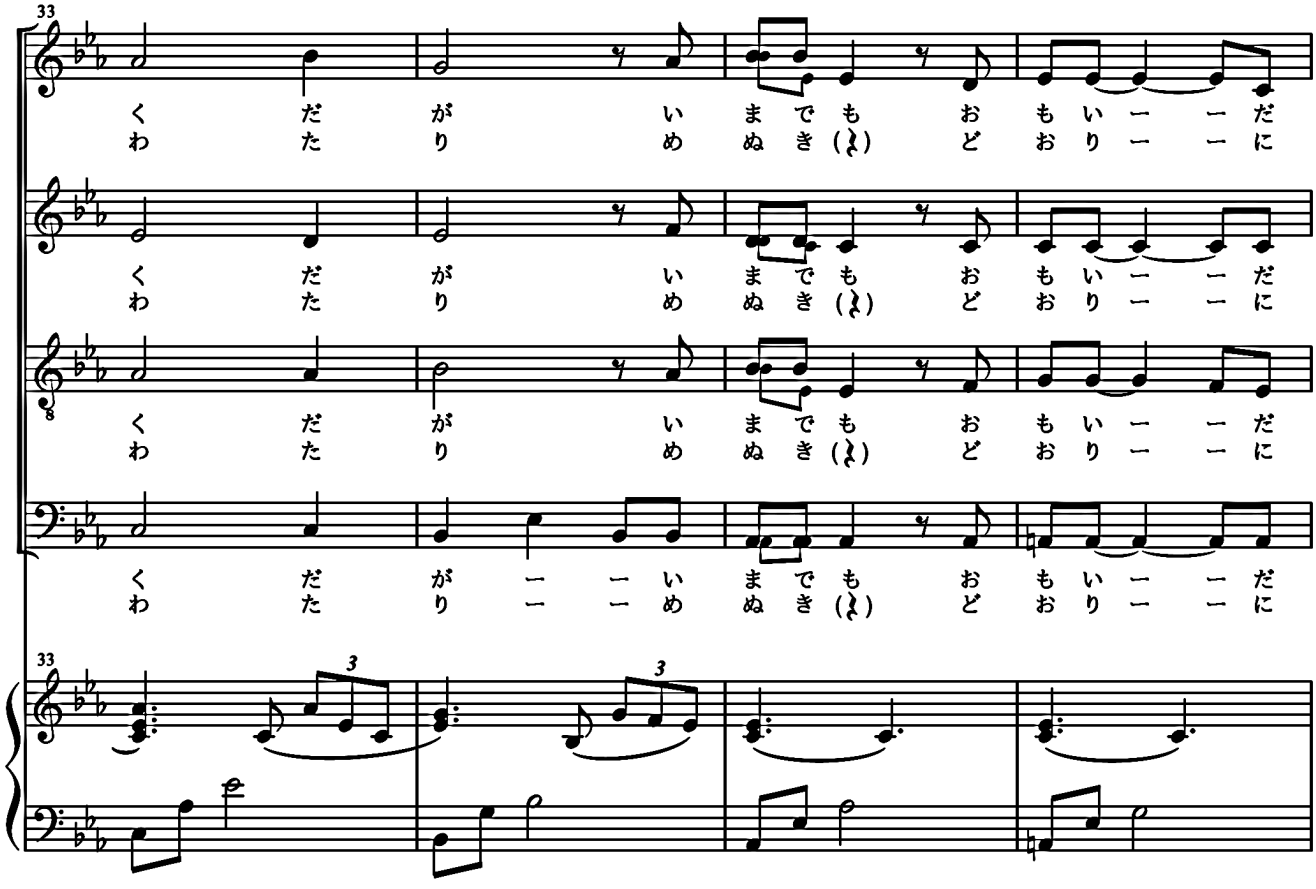
だ け こ の ま ち に やっ て き た こ とが ー ー あ

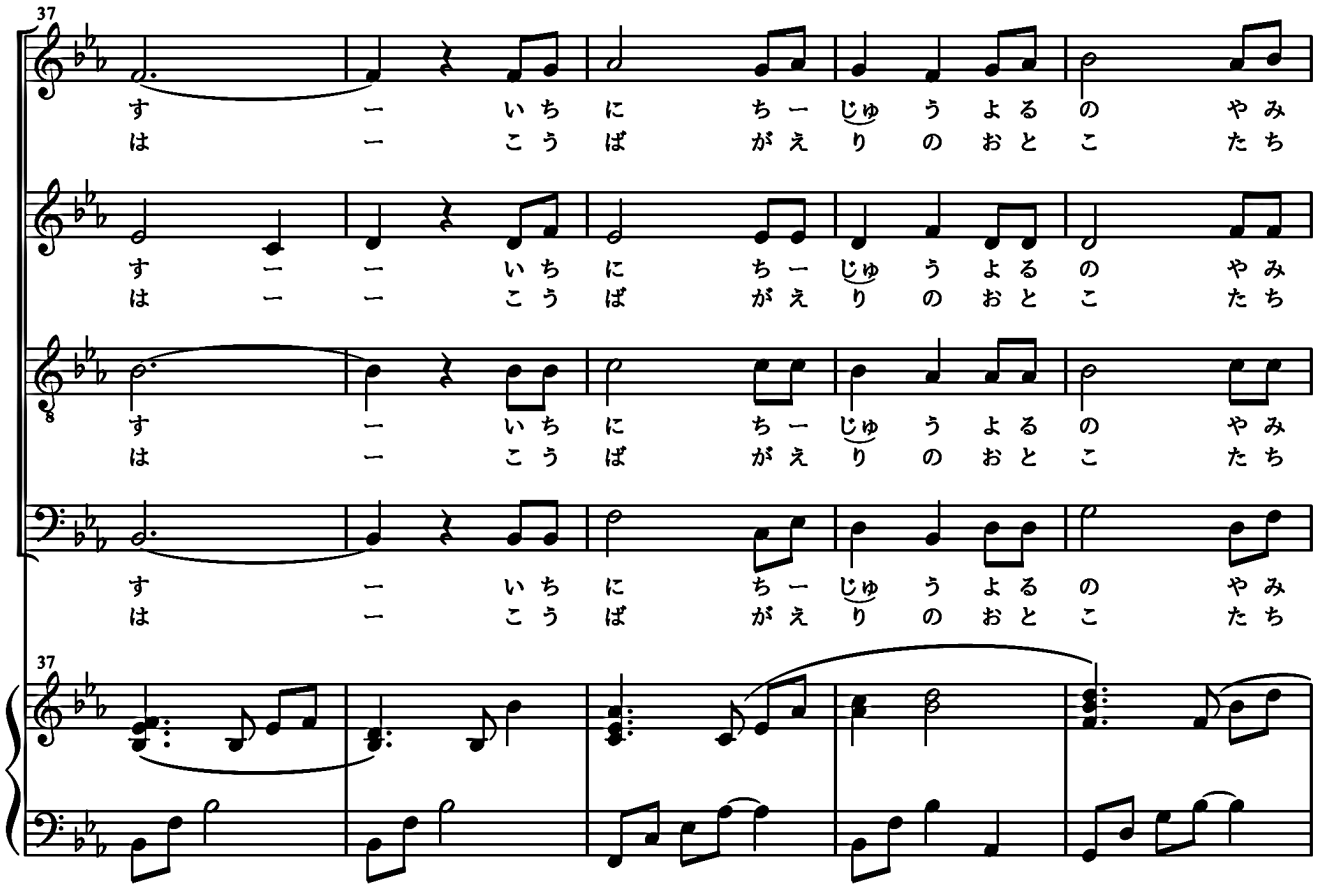
11

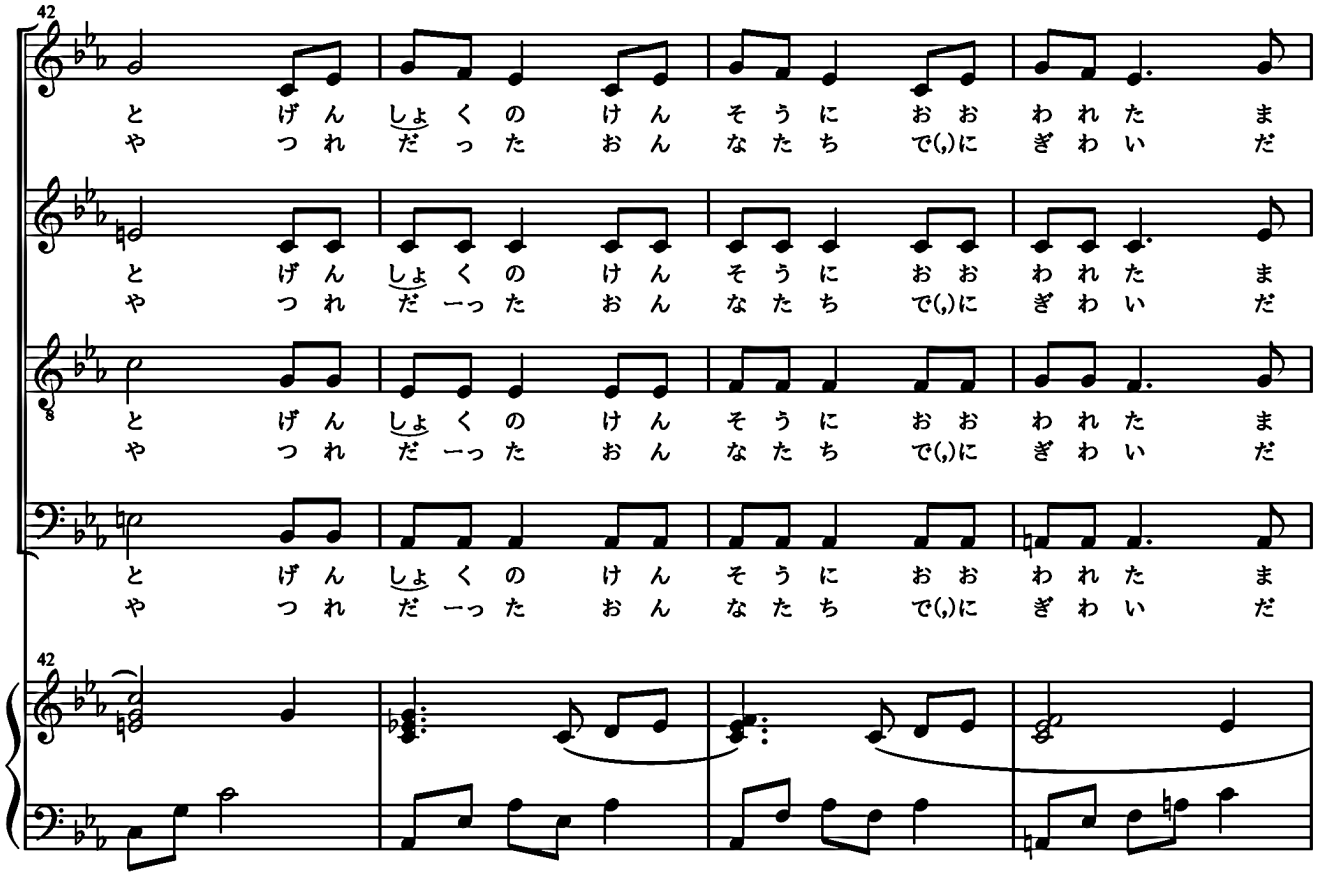

16
S.
る ー もう に じゅうね んも まえ の はなし だ とう
A.
る ー もう に じゅうね んも まえ の はなし だ とう
Tenor
p
Lu lu lu lu lu Lu lu lu lu とう
Bass
p
Lu lu lu lu lu lu lu lu lu とう
16


22
さんに つれら れて ー ー
さんに つれら れて ー
さんに つれら れて ー ー
さんに つれら れて ー
22
mf


28
mf
こど も じぶんの ー きお
ぎょ うのか ねが なり
こど も じぶんの ー きお
ぎょ うのか ねが なり
こど も じぶんの ー きお
ぎょ うのか ねが なり
こど も じぶんの ー きお
ぎょ うのか ねが なり


33
くだ がい までも おもい ー ー だ
わた り め ぬき (ぬ) ど おり ー ー に
くだ がい までも おもい ー ー だ
わた り め ぬき (ぬ) ど おり ー ー に
くだ がい までも おもい ー ー だ
わた り め ぬき (ぬ) ど おり ー ー に
くだ がー ー いまでも おもい ー ー だ
わた りー ー めぬき (ぬ) ど おり ー ー に
3
3


37
す ー いち に ち ー じゅ う よ る の や み
は ー こう ば が え り の お と こ た ち
す ー ー いち に ち ー じゅ う よ る の や み
は ー ー こう ば が え り の お と こ た ち
す ー いち に ち ー じゅ う よ る の や み
は ー こう ば が え り の お と こ た ち
す ー いち に ち ー じゅ う よ る の や み
は ー こう ば が え り の お と こ た ち
37


42
と げ ん しょ く の け ん そ う に お お わ れ た ま
や つ れ だ っ た お ん な た ち で(,)に ぎ わ い だ
と げ ん しょ く の け ん そ う に お お わ れ た ま
や つ れ だ ーっ た お ん な た ち で(,)に ぎ わ い だ
と げ ん しょ く の け ん そ う に お お わ れ た ま
や つ れ だ ーっ た お ん な た ち で(,)に ぎ わ い だ
と げ ん しょ く の け ん そ う に お お わ れ た ま
や つ れ だ ーっ た お ん な た ち で(,)に ぎ わ い だ
42

46

ち す

U

ち す あ つ く と お り か っ に き に め み ち ん し た そ の ま ど の み ち せ

ち す

U

ち す

U

き よ

46

51

legato

き ら き ら か が や く た か ら ー ば こ の よ(う) に
よ う き な お ん が く と わ ら い ー ご え で あ ふ れ

legato

は き ら か が や く ー ー た か ら ー ば こ の よ(う) に
も Hum___ お ん が く と ー ー わ ら い ー ご え で あ ふ れ

legato

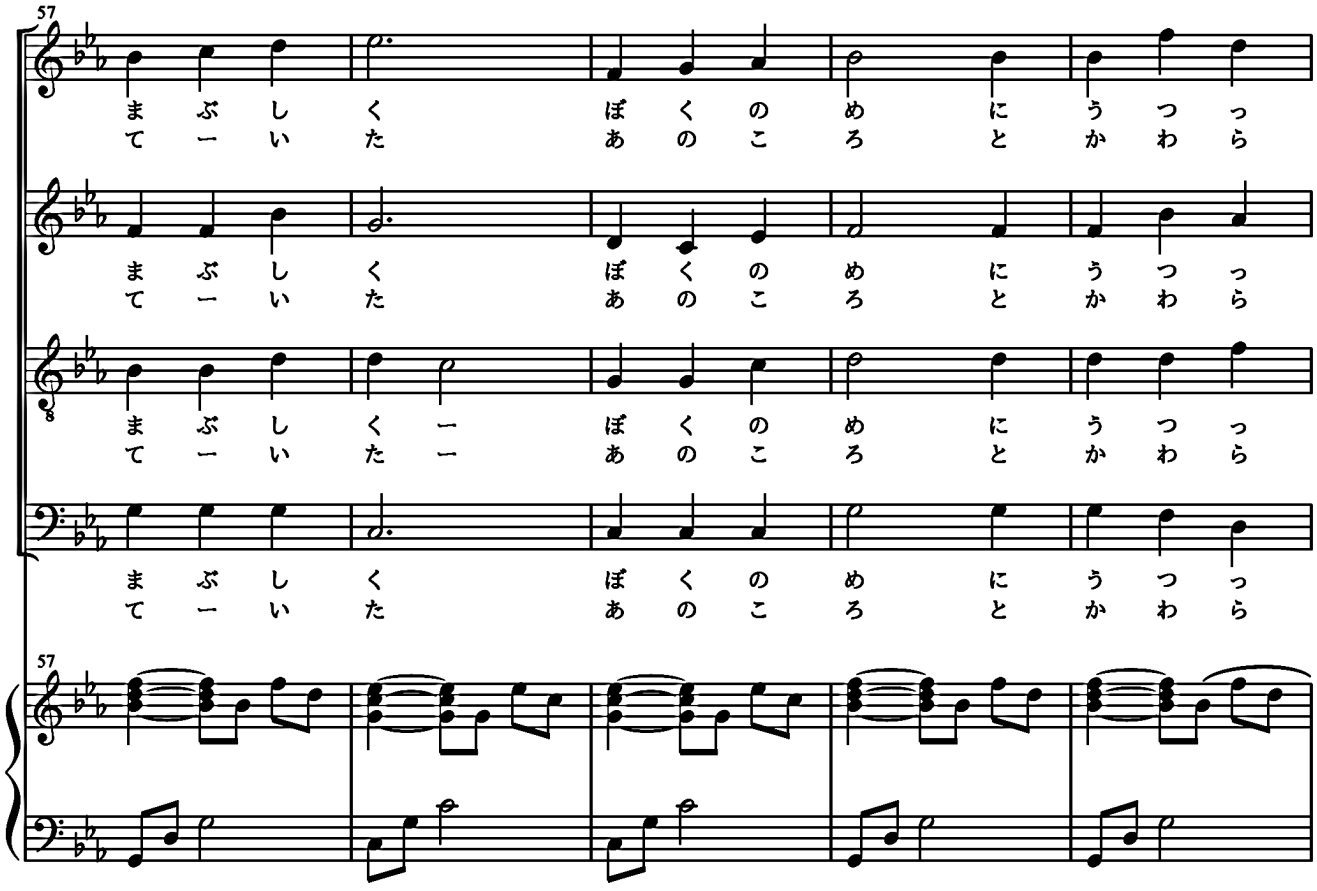
_ き ら か が や く た か ら ー ば こ の よ(う) に
Hum___ お ん が く と わ ら い ー ご え で あ ふ れ

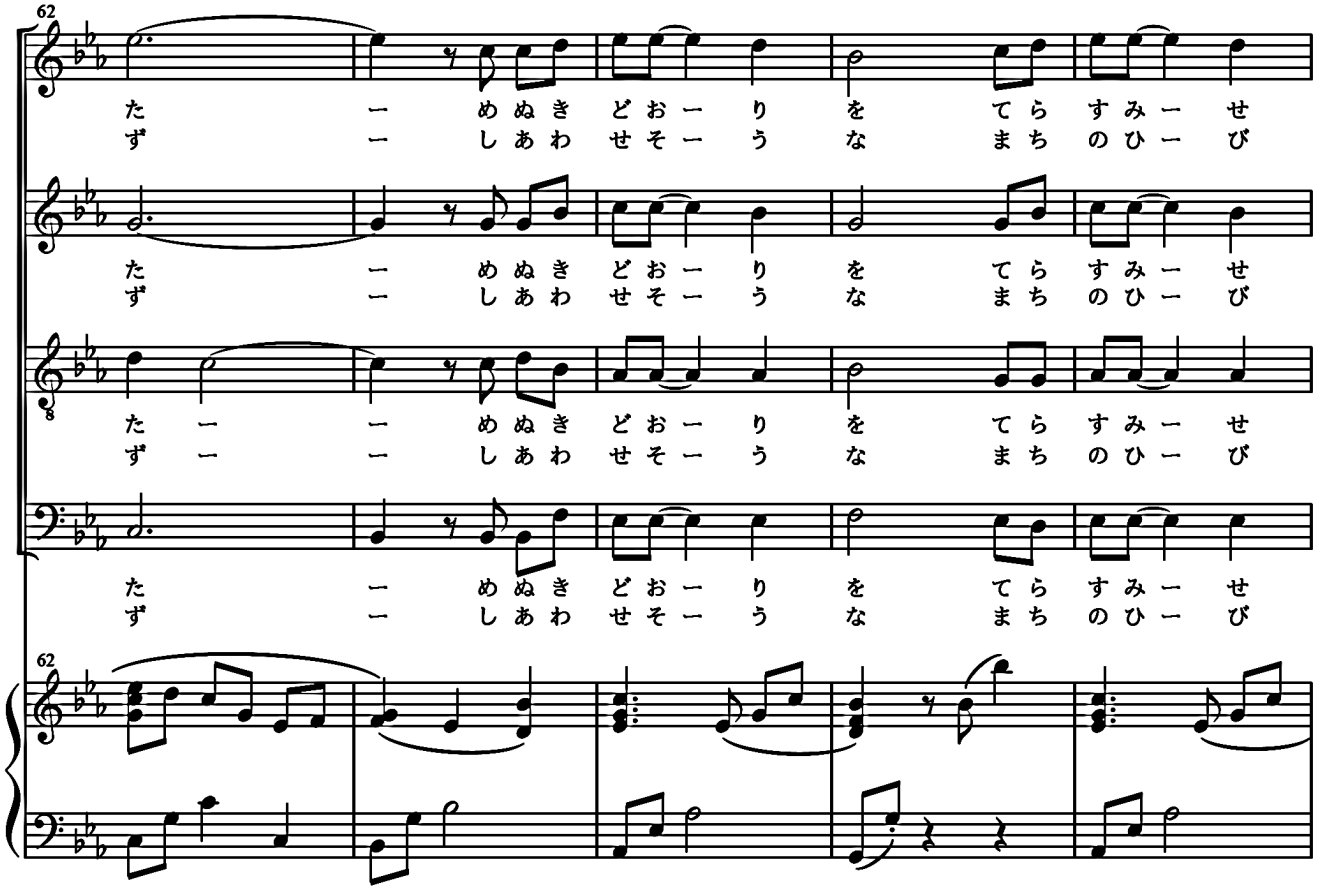
legato

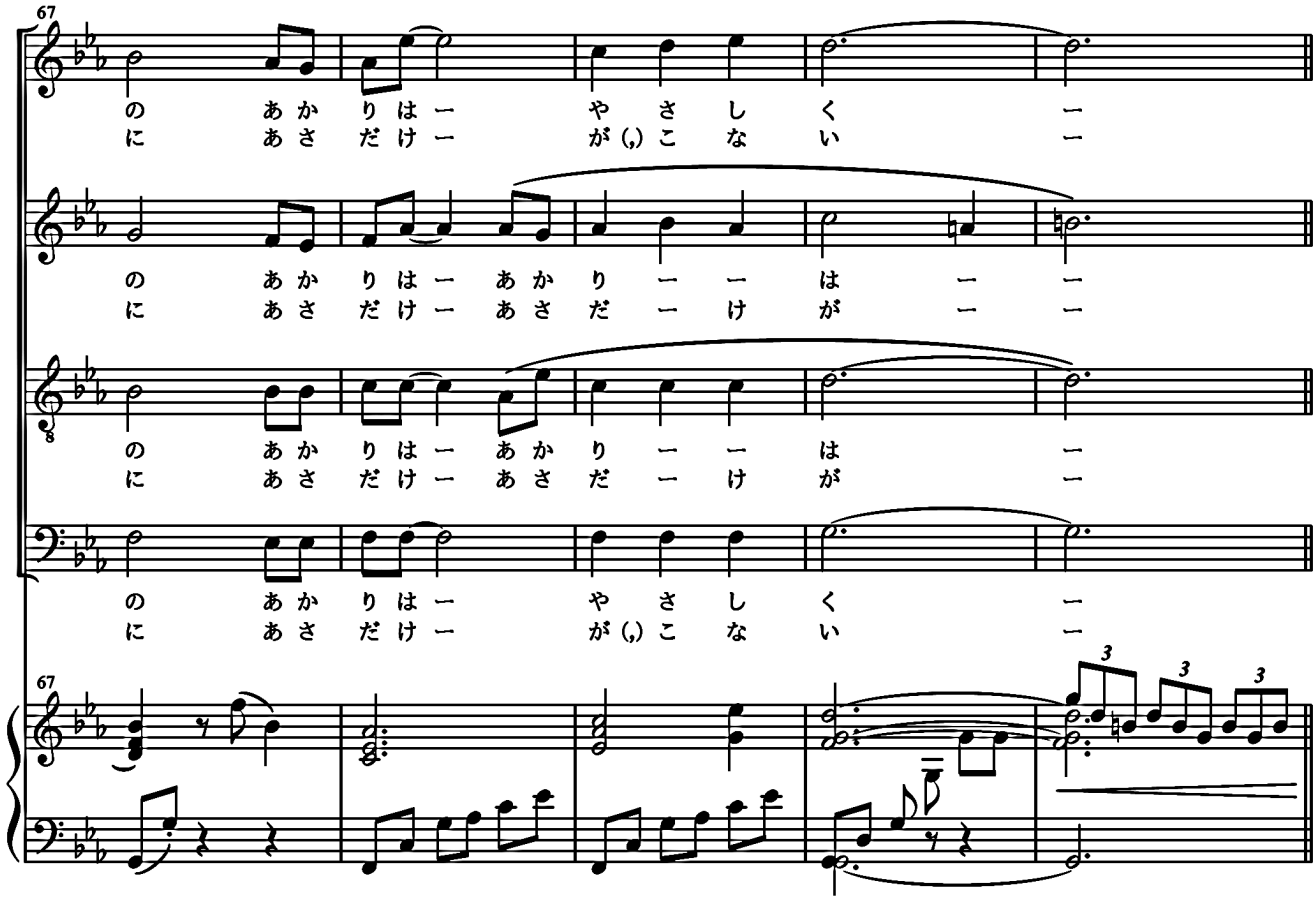
ら ー き ら か が や く た か ら ば ー こ の よ(う) に
う ー き な お ん が く と わ ら い ご ー え で あ ふ れ

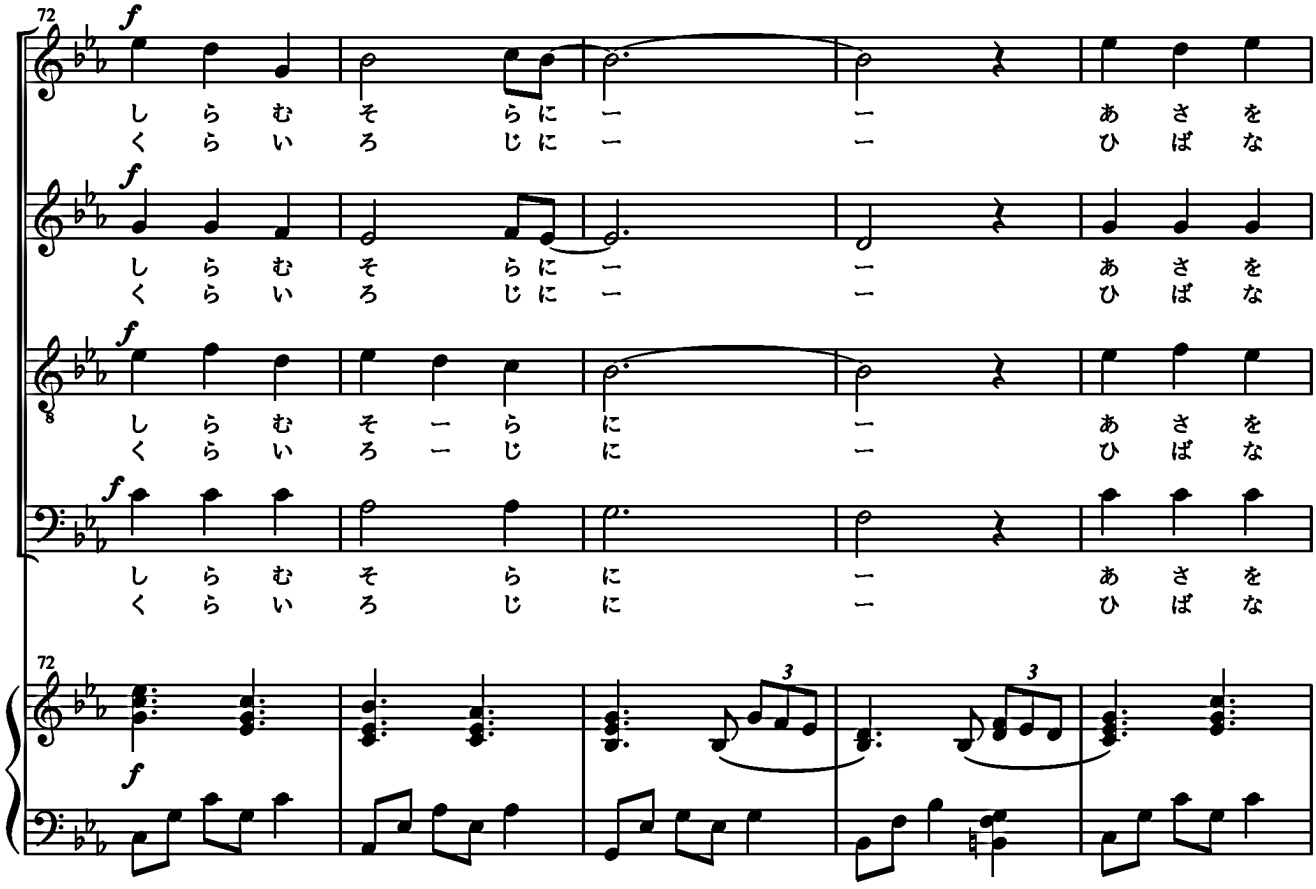
51

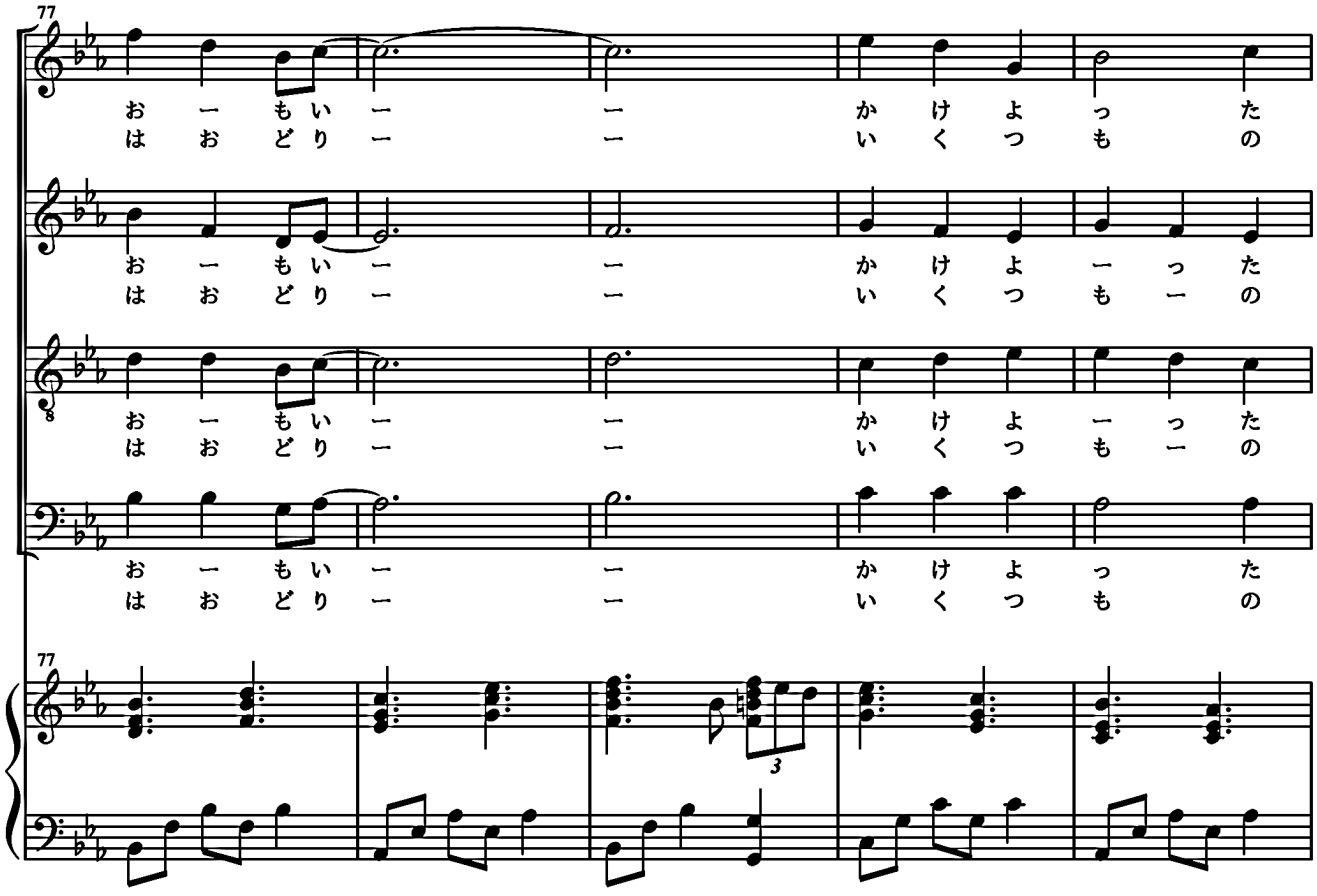
legato

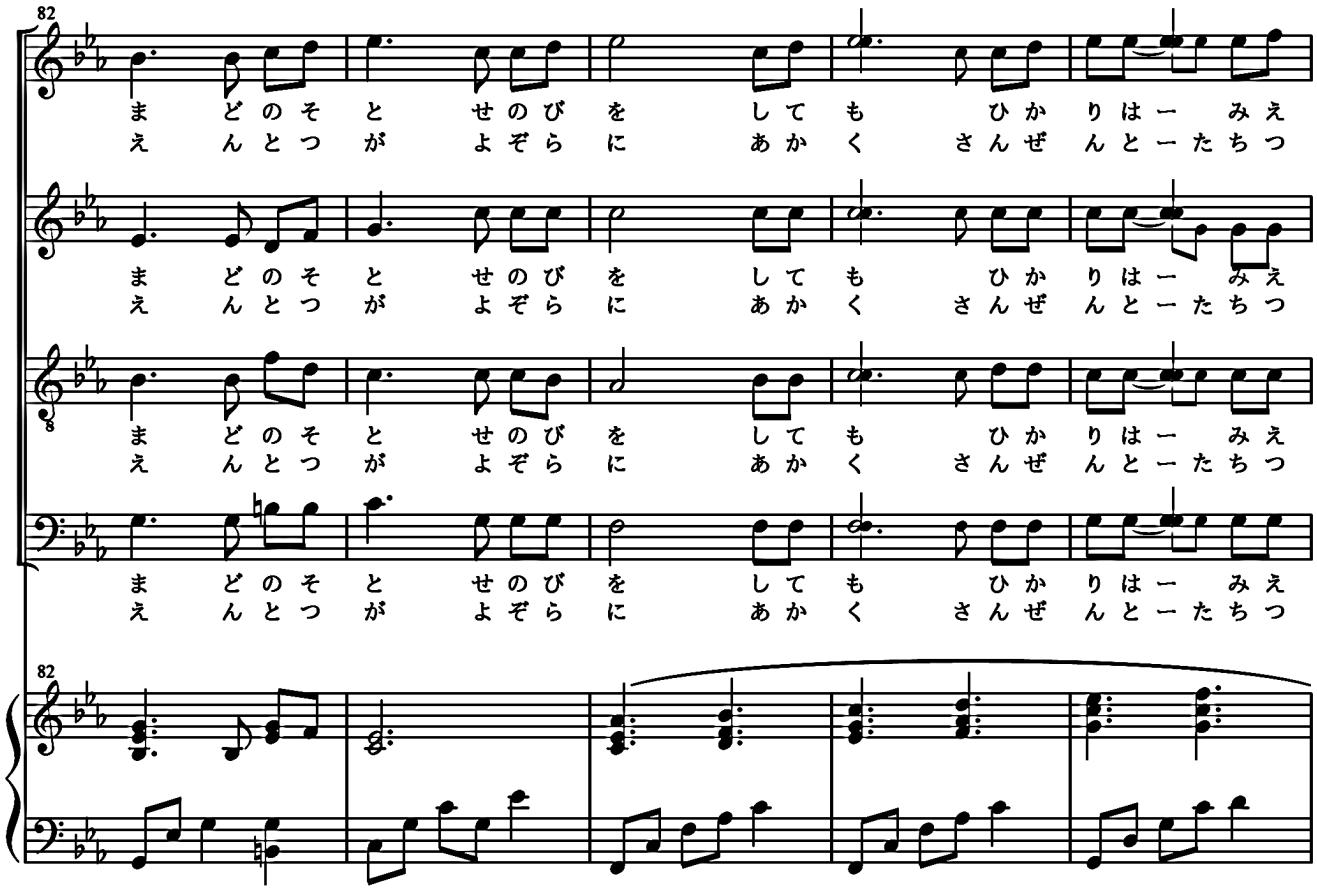

57
まぶしく ぼくのめにうつっ
てーいた あのころとかわら
まぶしく ぼくのめにうつっ
てーいた あのころとかわら
まぶしくー ぼくのめにうつっ
てーいたー あのころとかわら
まぶしく ぼくのめにうつっ
てーいた あのころとかわら
57

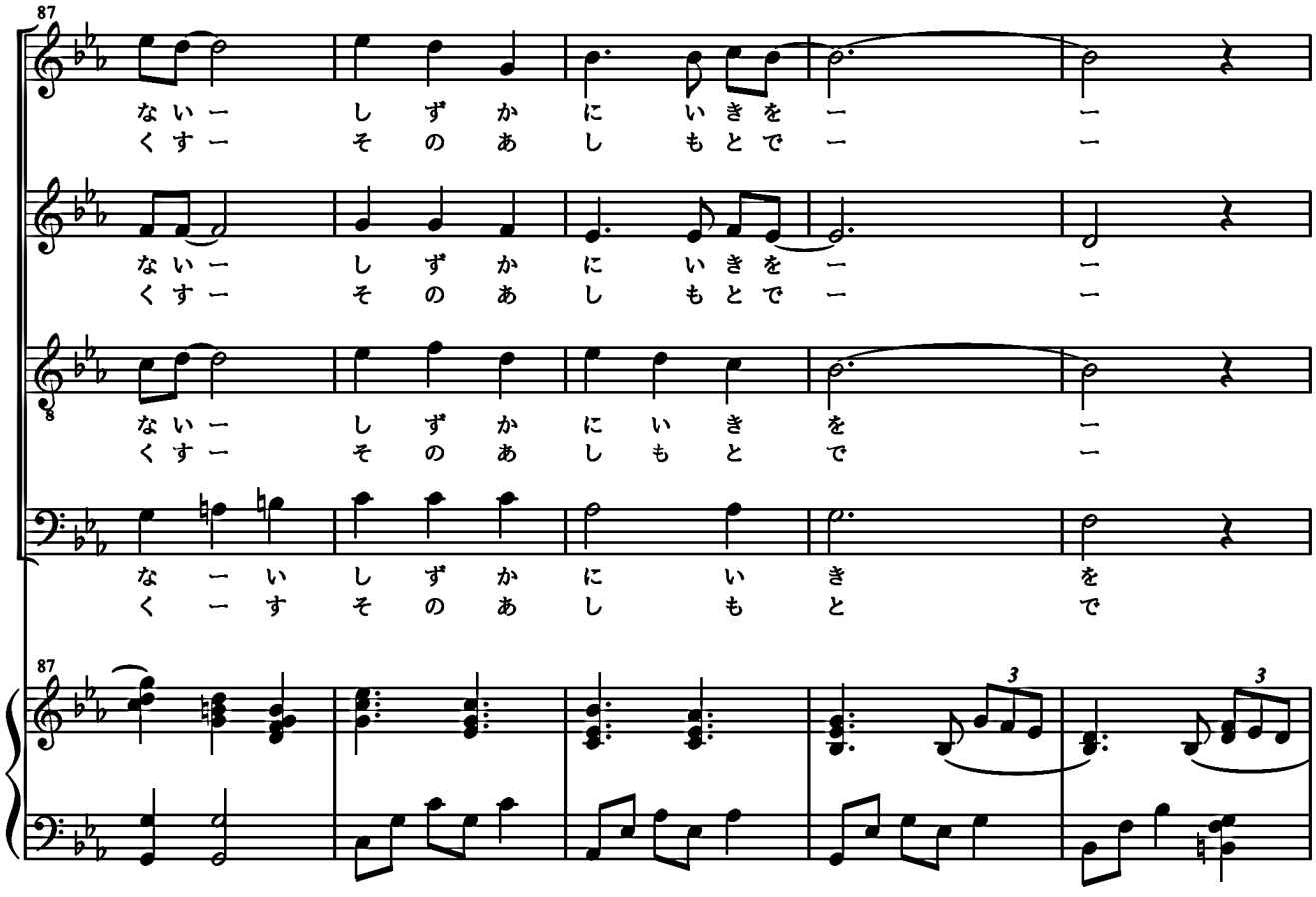

62
たーめぬきどおーりをてらすみーせ
ずーしあわせそーうなまちのひーび
たーめぬきどおーりをてらすみーせ
ずーしあわせそーうなまちのひーび
たーーめぬきどおーりをてらすみーせ
ずーーしあわせそーうなまちのひーび
たーめぬきどおーりをてらすみーせ
ずーしあわせそーうなまちのひーび
62

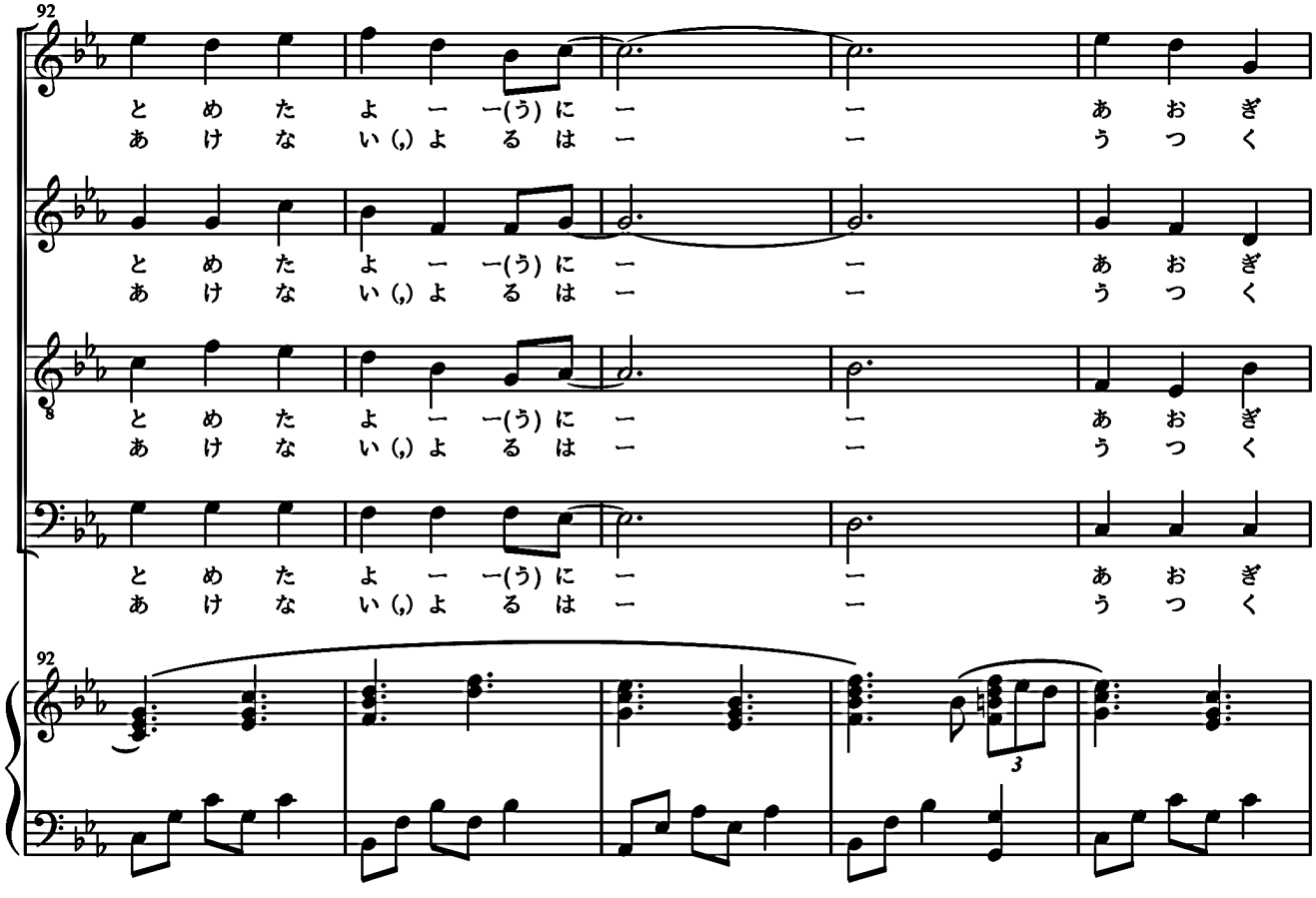

67
の あかりは ー やさしく ー
に あさだけ ー が(,)こない ー
の あかりは ー あかり ー ー は ー ー
に あさだけ ー あさだ ー け が ー ー
の あかりは ー あかり ー ー は ー
に あさだけ ー あさだ ー け が ー
の あかりは ー やさしく ー
に あさだけ ー が(,)こない ー
67

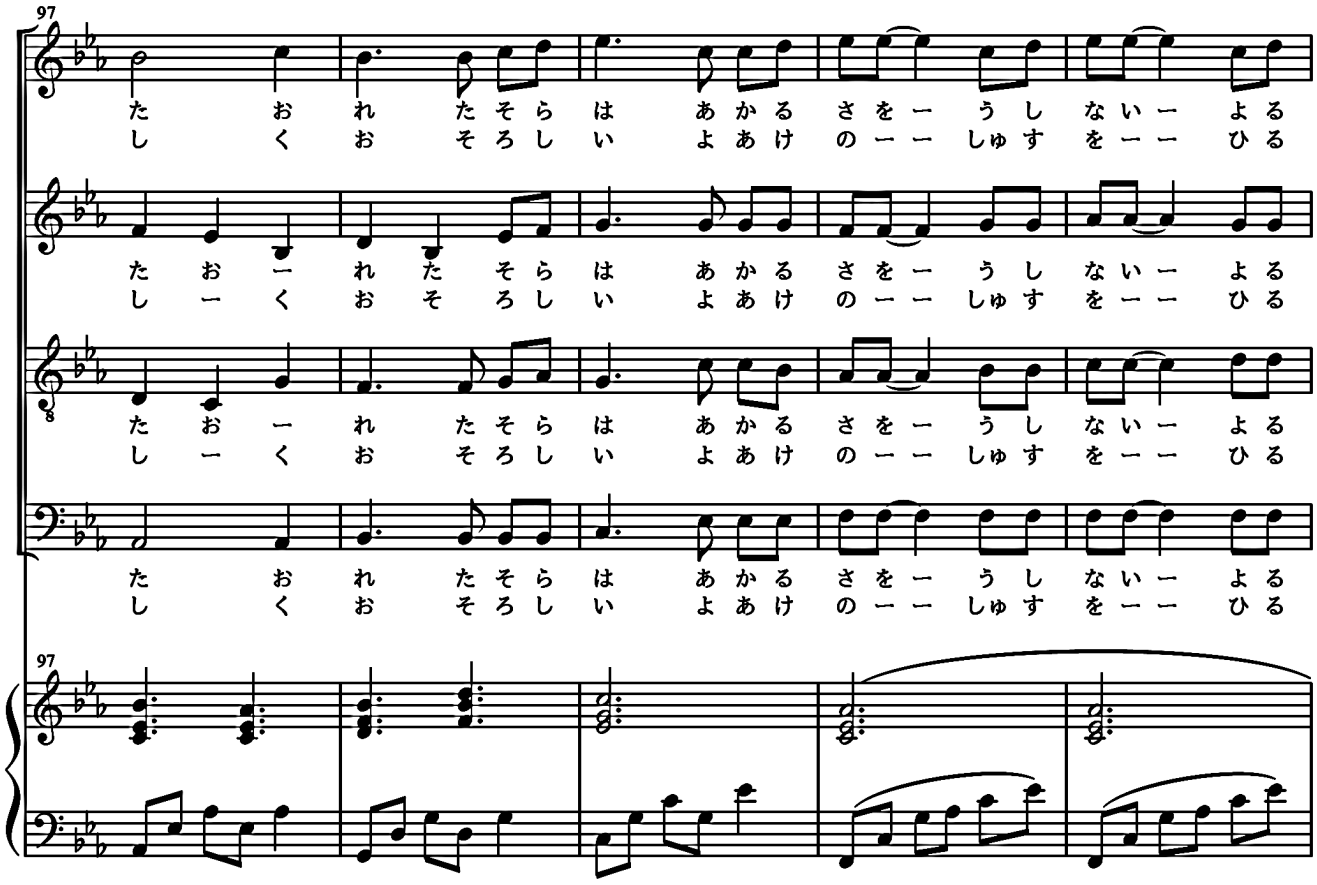

72
f
しらむそらに ー ー あさを
くらいろじに ー ー ひばな
しらむそらに ー ー あさを
くらいろじに ー ー ひばな
しらむそ ー らに ー あさを
くらいろ ー じに ー ひばな
しらむそらに ー あさを
くらいろじに ー ひばな
72

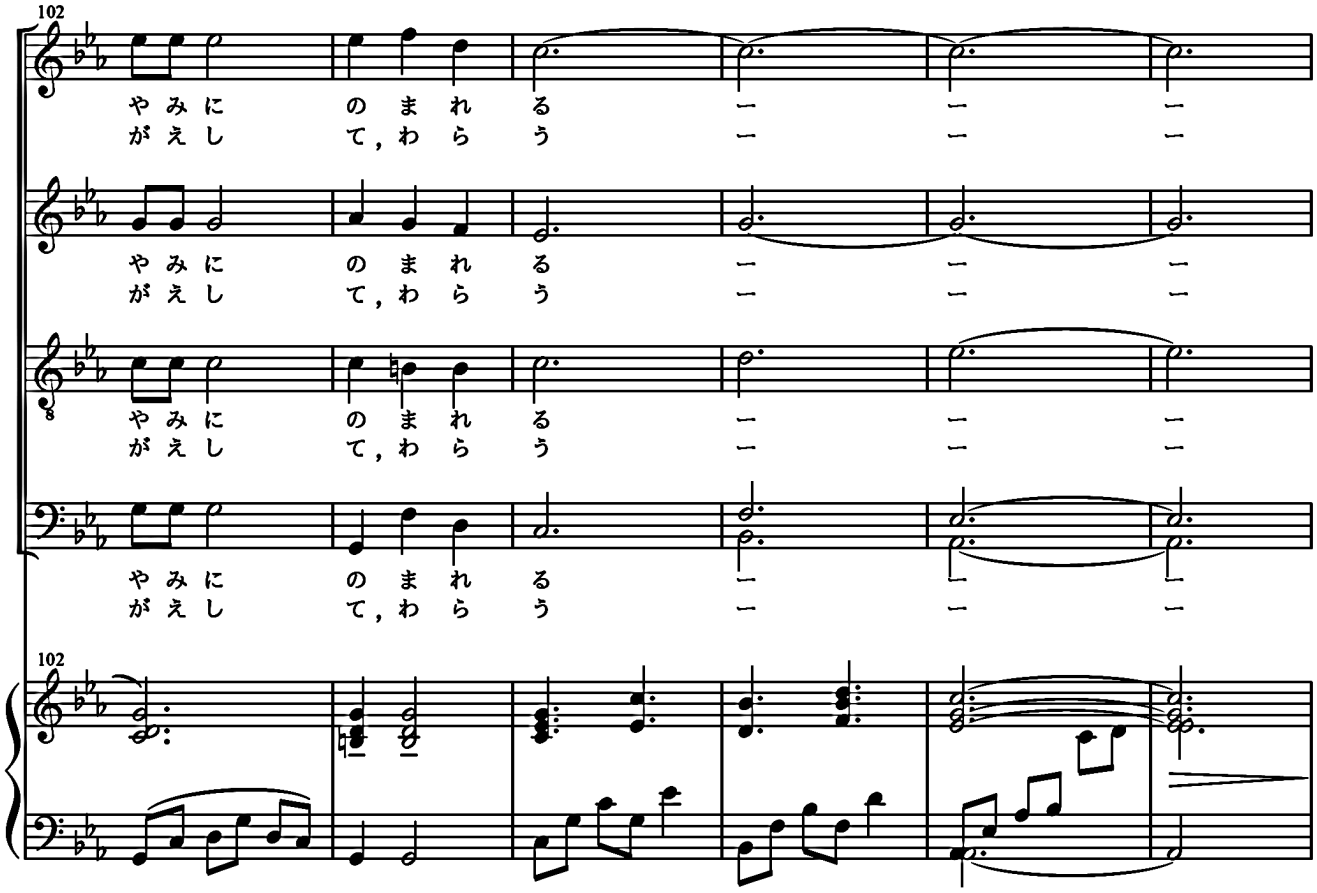

77
おーもいーーかけよったはおどりーーいくつもの
おーもいーーかけよーったはおどりーーいくつもーの
おーもいーーかけよーったはおどりーーいくつもーの
おーもいーーかけよったはおどりーーいくつもの
77

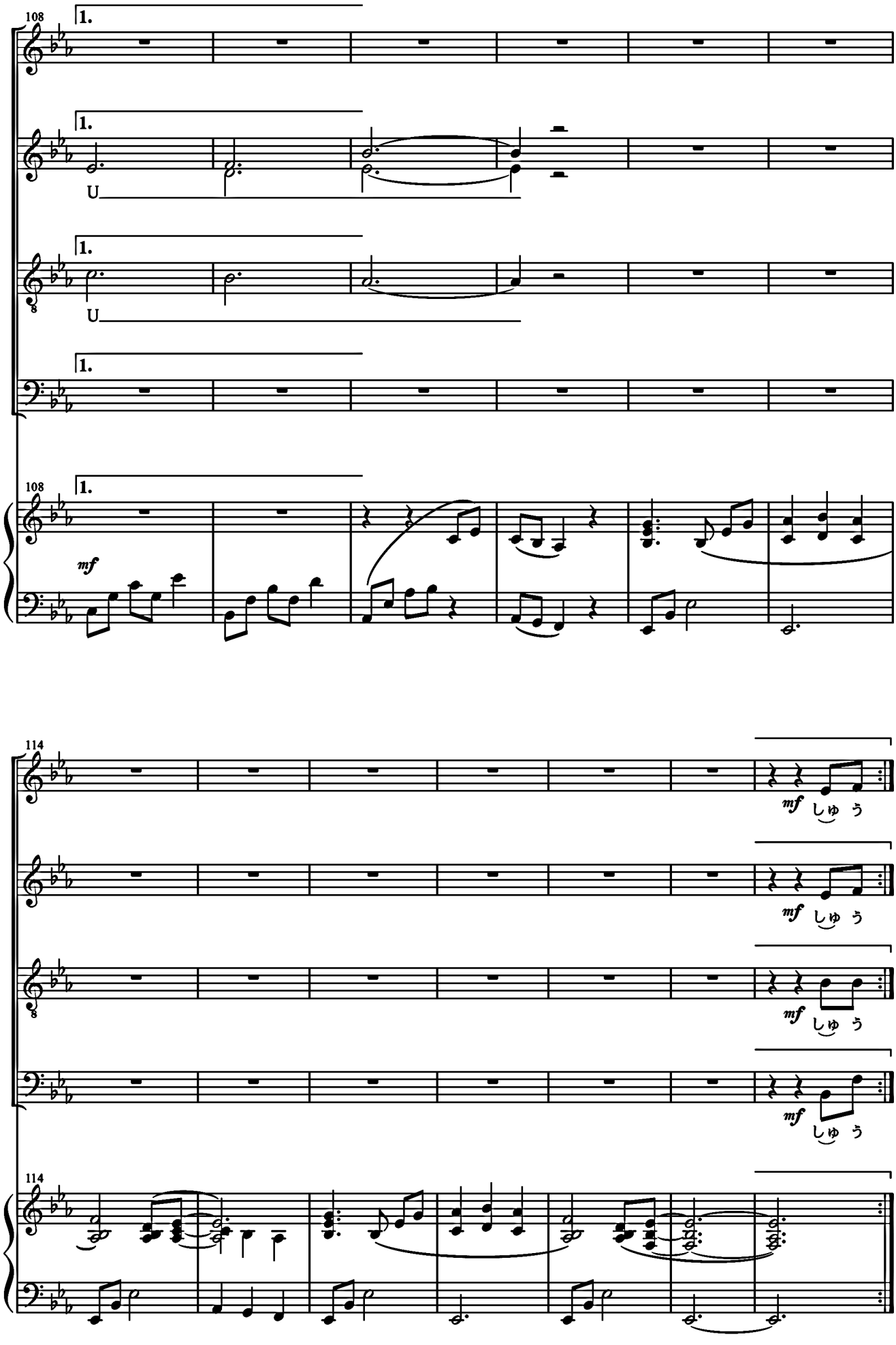

82
まどのそとせのびをしてもひかりはーみえ
えんとつがよぞらにあかくさんぜんとーたちつ
まどのそとせのびをしてもひかりはーみえ
えんとつがよぞらにあかくさんぜんとーたちつ
まどのそとせのびをしてもひかりはーみえ
えんとつがよぞらにあかくさんぜんとーたちつ
まどのそとせのびをしてもひかりはーみえ
えんとつがよぞらにあかくさんぜんとーたちつ
82

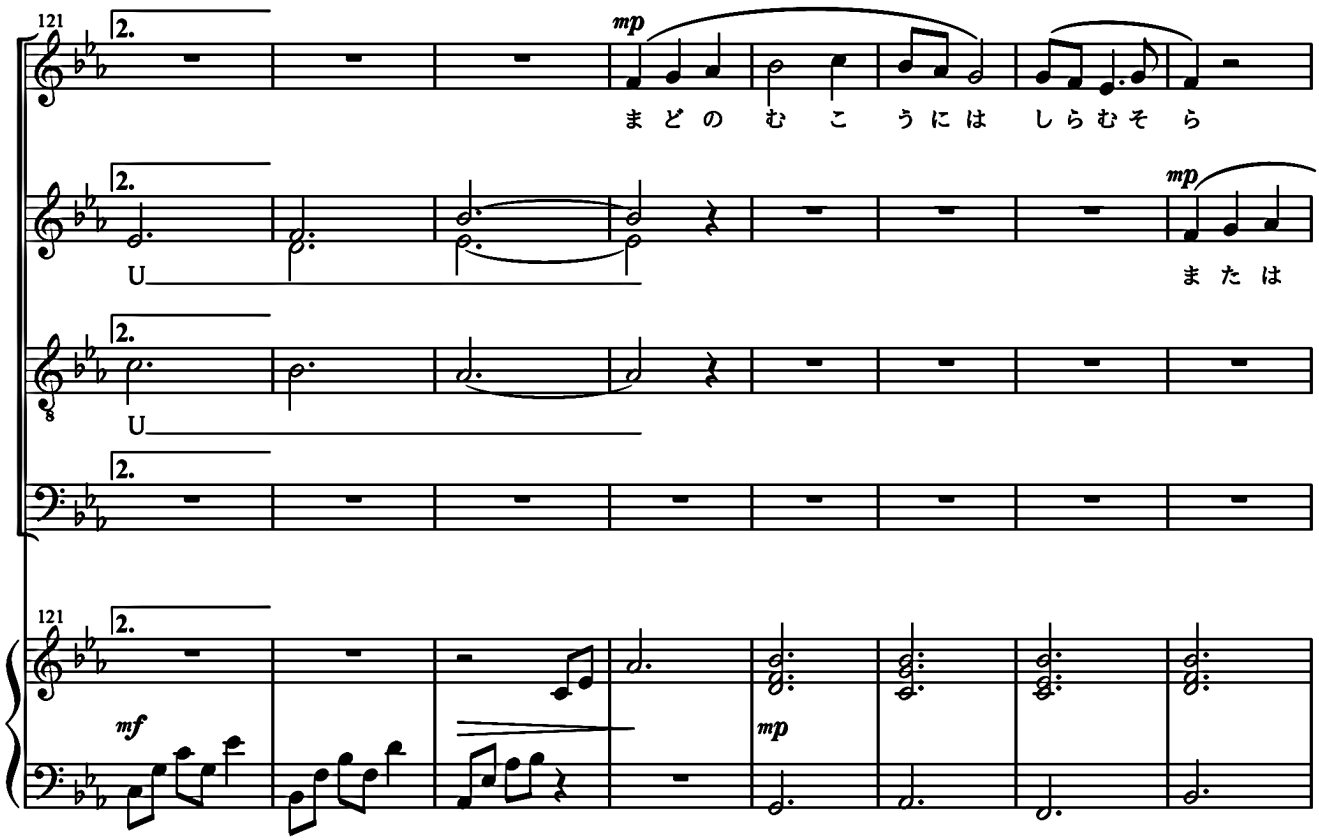

87
ない しずかに いきを
くす そのあしもとで
ない しずかに いきを
くす そのあしもとで
ない しずかに いきを
くす そのあしもとで
ない しずかに いきを
くす そのあしもとで
87

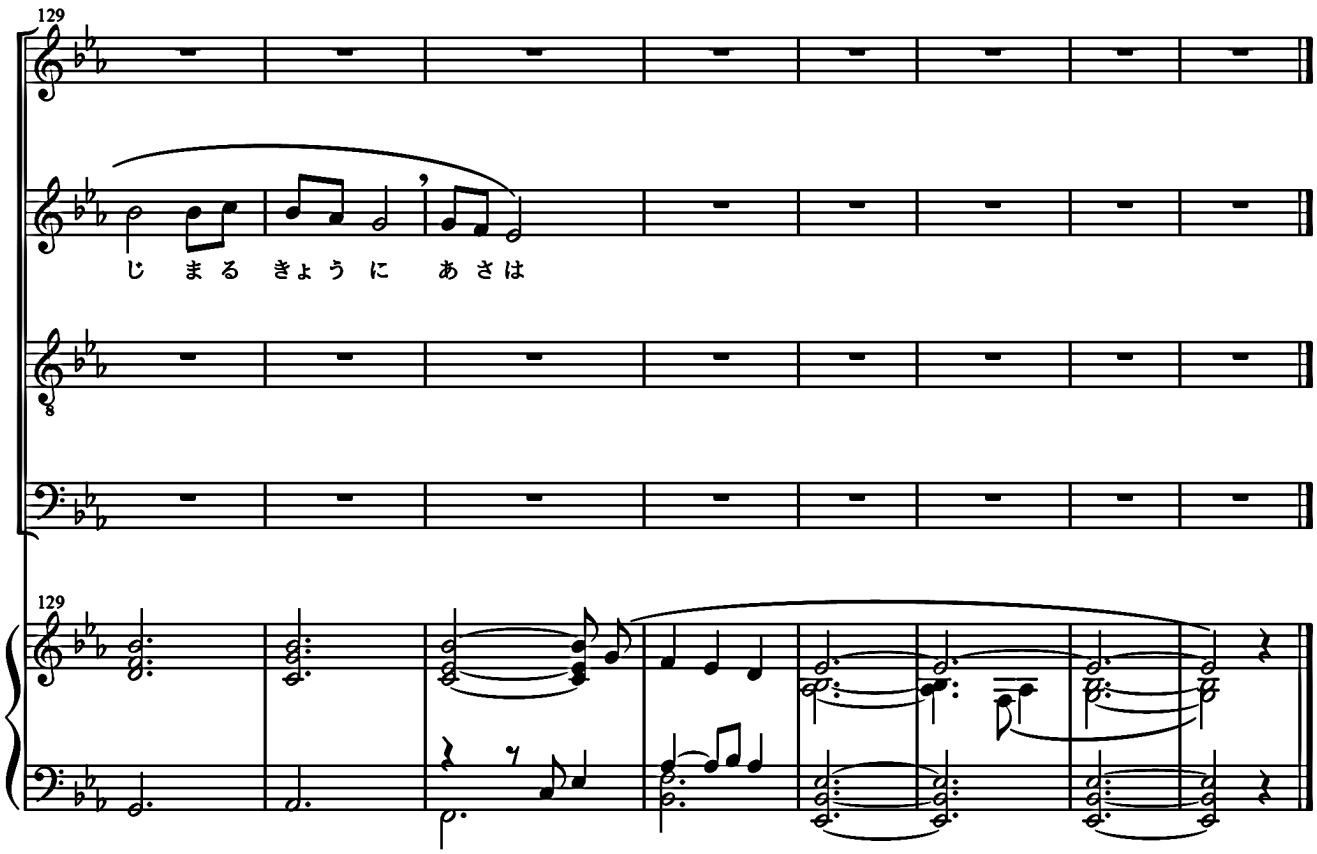

92
とめたよー(う)にー あおぎ
あけない(,)よるはー うつく
とめたよー(う)にー あおぎ
あけない(,)よるはー うつく
とめたよー(う)にー あおぎ
あけない(,)よるはー うつく
とめたよー(う)にー あおぎ
あけない(,)よるはー うつく
92


97
たおれたそらはあかるさをーうしないーよる
しくおそろしいよあけのーーしゅすをーーひる
たおーれたそらはあかるさをーうしないーよる
しーくおそろしいよあけのーーしゅすをーーひる
たおーれたそらはあかるさをーうしないーよる
しーくおそろしいよあけのーーしゅすをーーひる
たおれたそらはあかるさをーうしないーよる
しくおそろしいよあけのーーしゅすをーーひる
97


102
やみにのまれるーーー
がえして，わらうーーー
やみにのまれるーーー
がえして，わらうーーー
やみにのまれるーーー
がえして，わらうーーー
やみにのまれるーーー
がえして，わらうーーー
102


108
1.
U
U
mf
114
mf しゅ う
mf しゅ う
mf しゅ う
mf しゅ う


121
2.
mp
まどのむこうには しらむそら
U
mp
または
U
mf
mp


129
じまる きょうに あさは

Vefles Degnikes

―街に伝わる祈歌―

＜大意＞

約束をしましょう
私たちが五番目に貴いと思うものを
あなたへ捧げることを
そしてあなたはもたらすでしょう
私たちに限りない
繁栄と安寧の礎を

この一面の緑の中に
あなたによって治むる
永遠の王国は栄え
あまねく大地を照らす灯が
私たちを導くでしょう

讃うべきはあなたの威光
この世に夜明けをもたらさんとする
大いなる力のもとにこそ

丸ノ内ノイ

♩=52

Soprano

Mezzo-Soprano

O, Ys a - - - mis u, kay -

Alto

O, Ys a -

Tenor

O, Ys

Baritone

O, Ys

Bass

Ys

7

Ys a - mis u,

-ies, kay - - - - - ies

-mis u, ka - yies u, kay - ies u

a - - - mis u, kay - - - - ies

a - mis u, kay - ies, kay -

a - - - mis u, kay - ies u

13

u re - ga - ssas o - nom i - - - - nem na -

u re - ga - ssas o - nom, o - nom i - - - - nem na -

re - ga - ssas o - nom i - o - ttat i -

u re - ga - ssas o - nom

-ies u re - ga - ssas o - - - nom i -

re - - - ga - - - ssas o - nom, o -

19

-bog, i - - - o - ttat i - nem na -

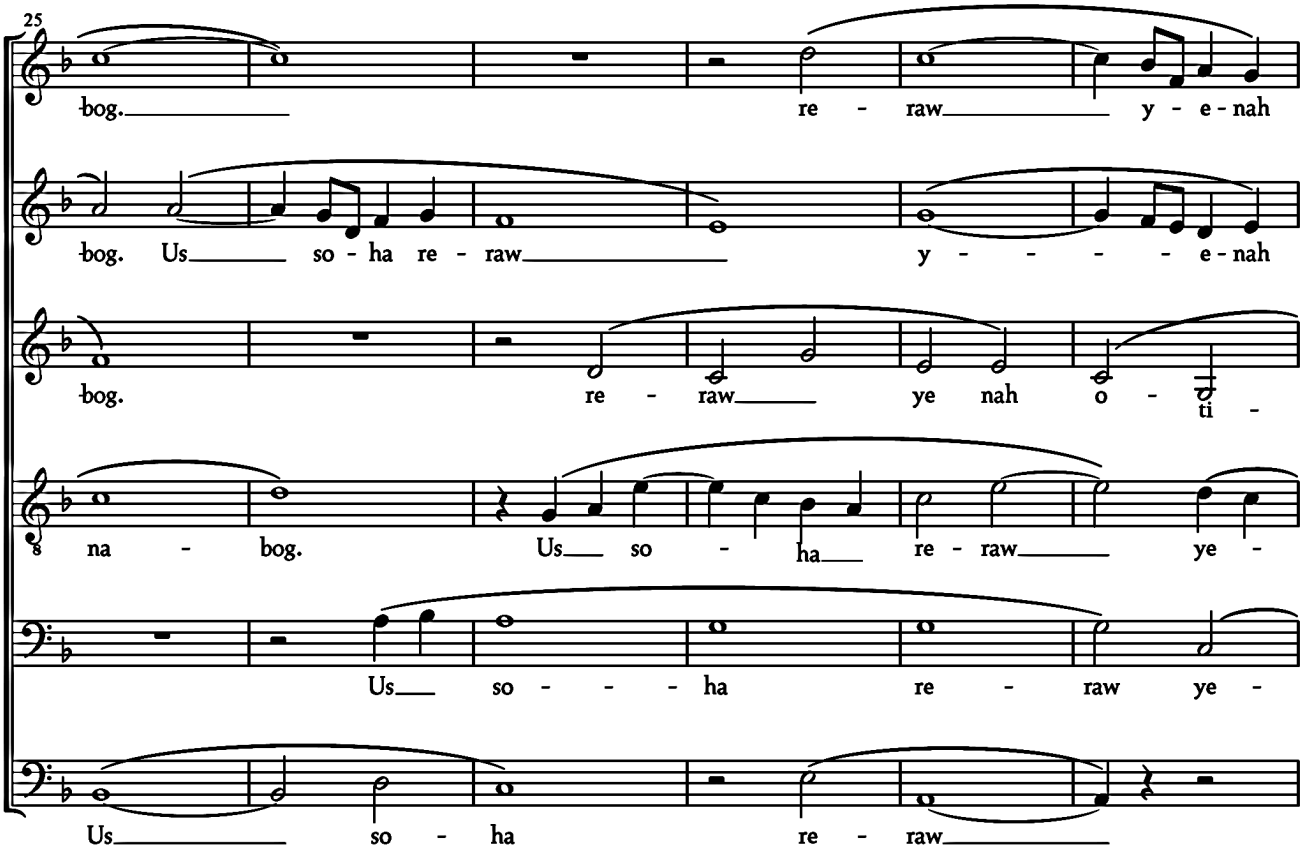
-bog, i - - - o - ttat i - nem na -

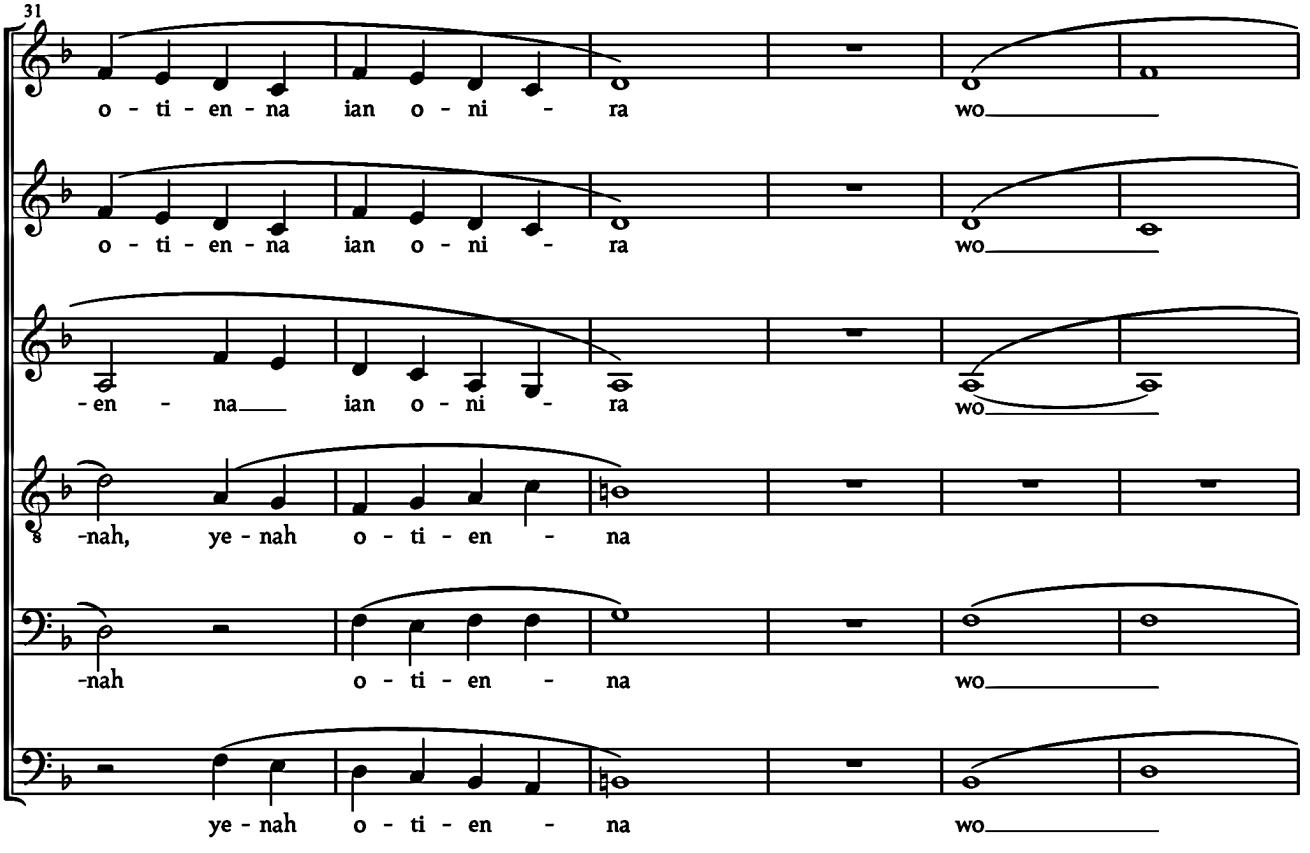
nem na - bog, i - nem, i - nem na -

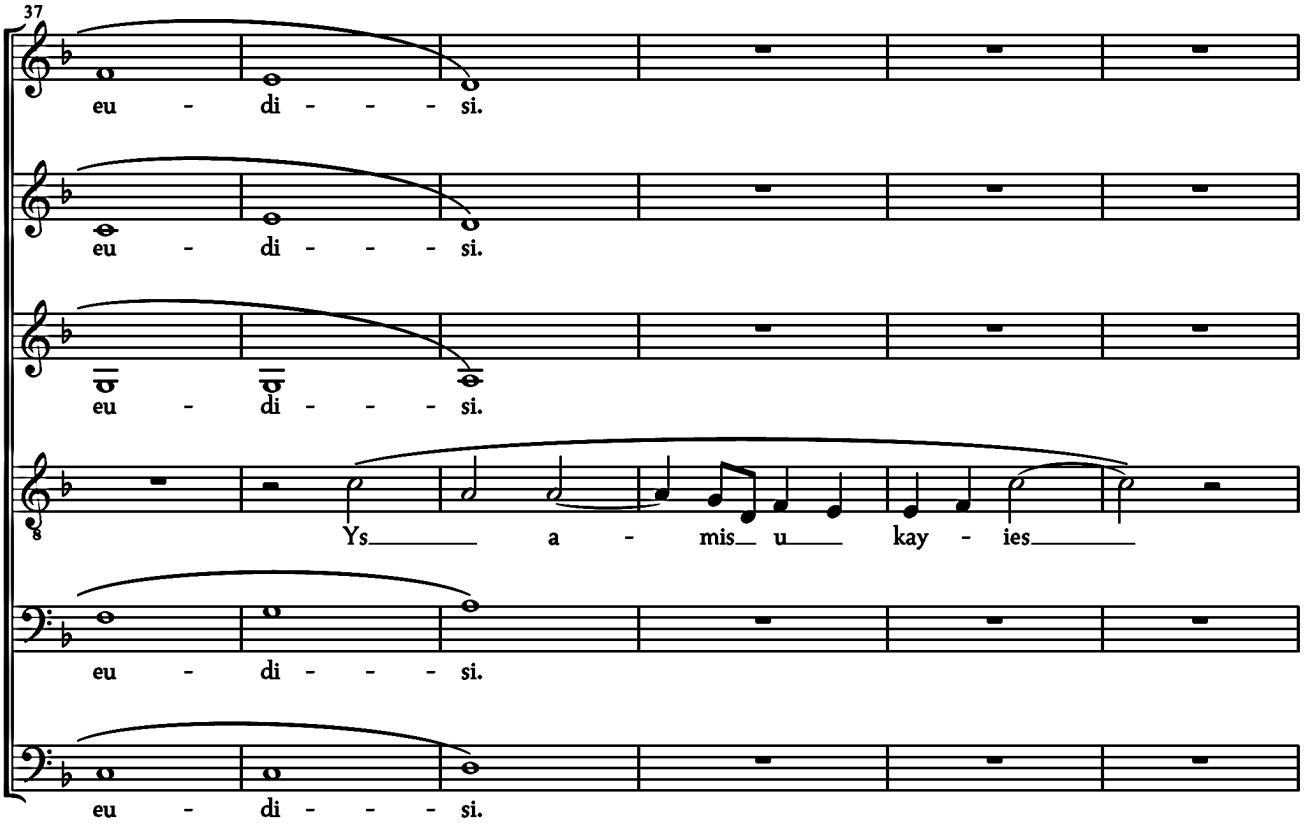
i - o - ttat i - nem na - bog, i - - nem

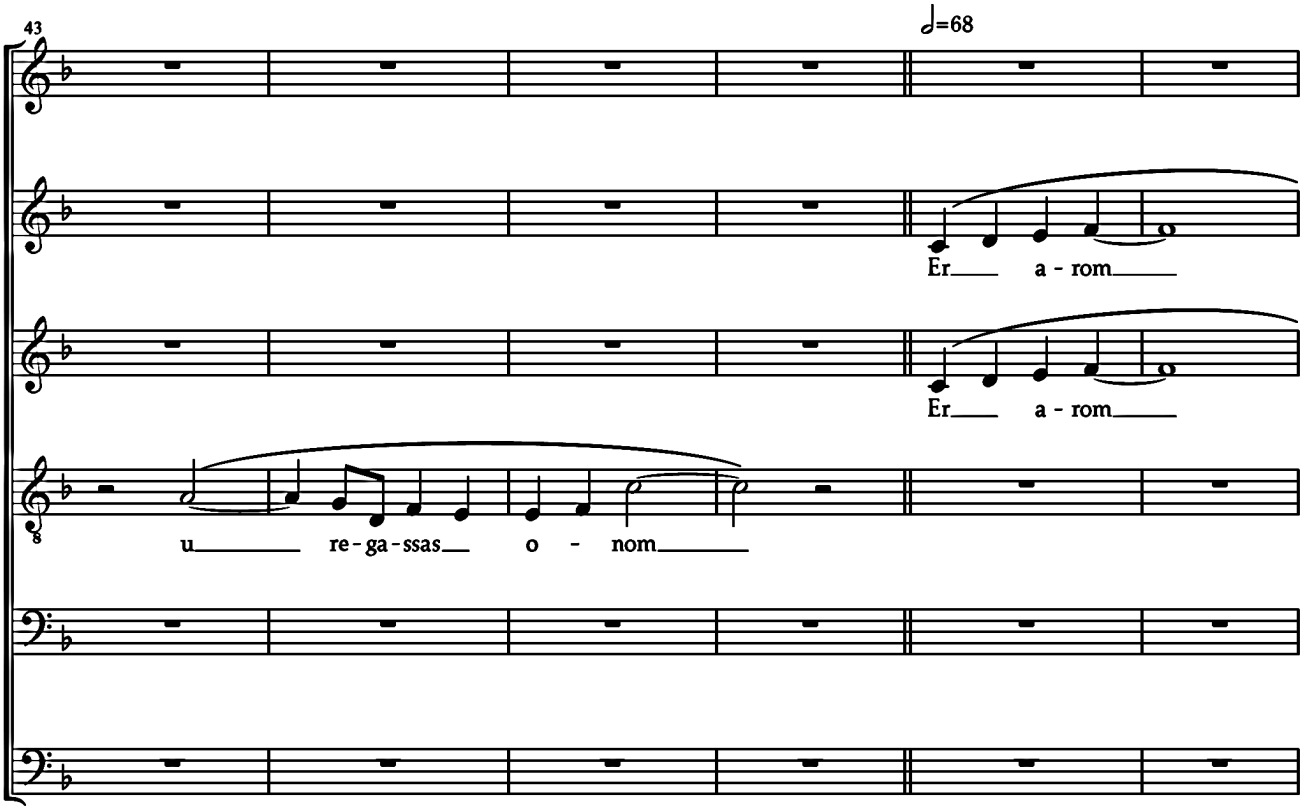
-o - - - ttat i - - nem na - - bog.

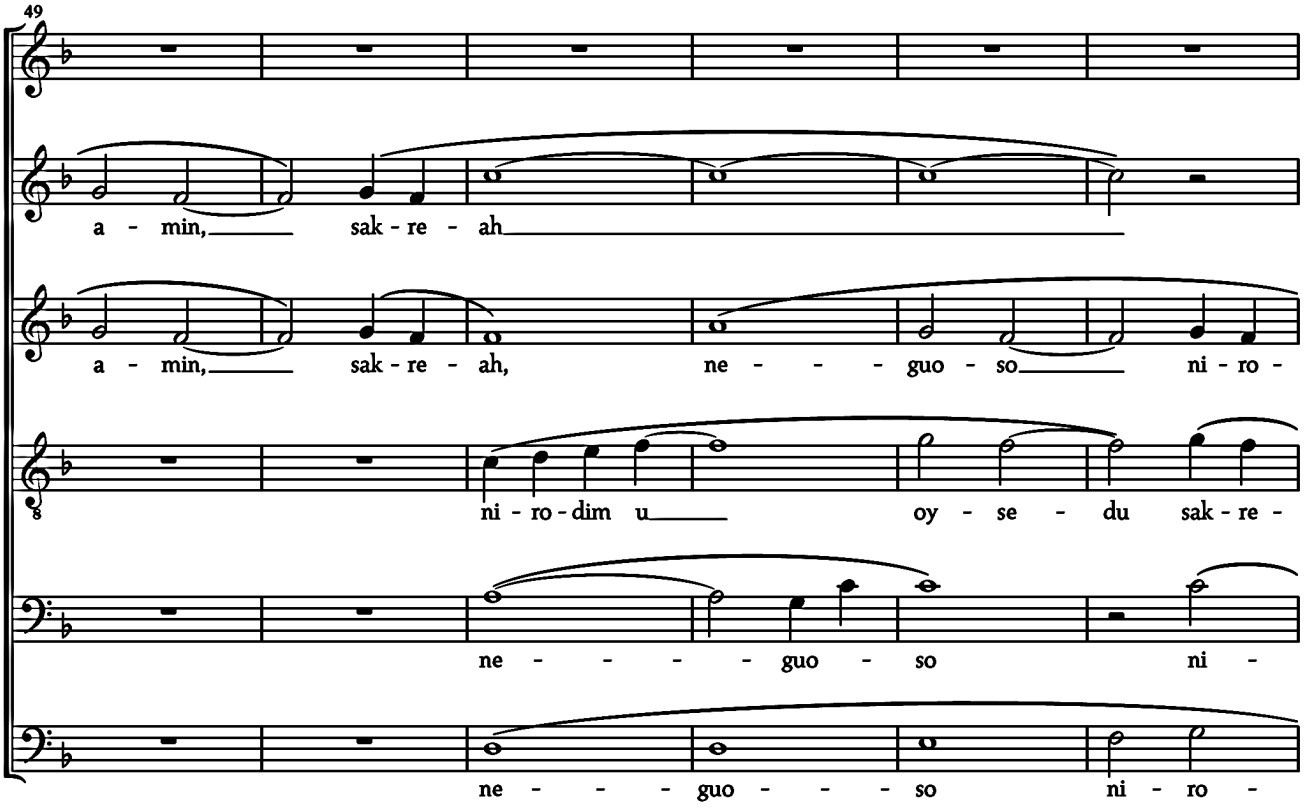
nom i - o - ttat i - nem na - - bog.

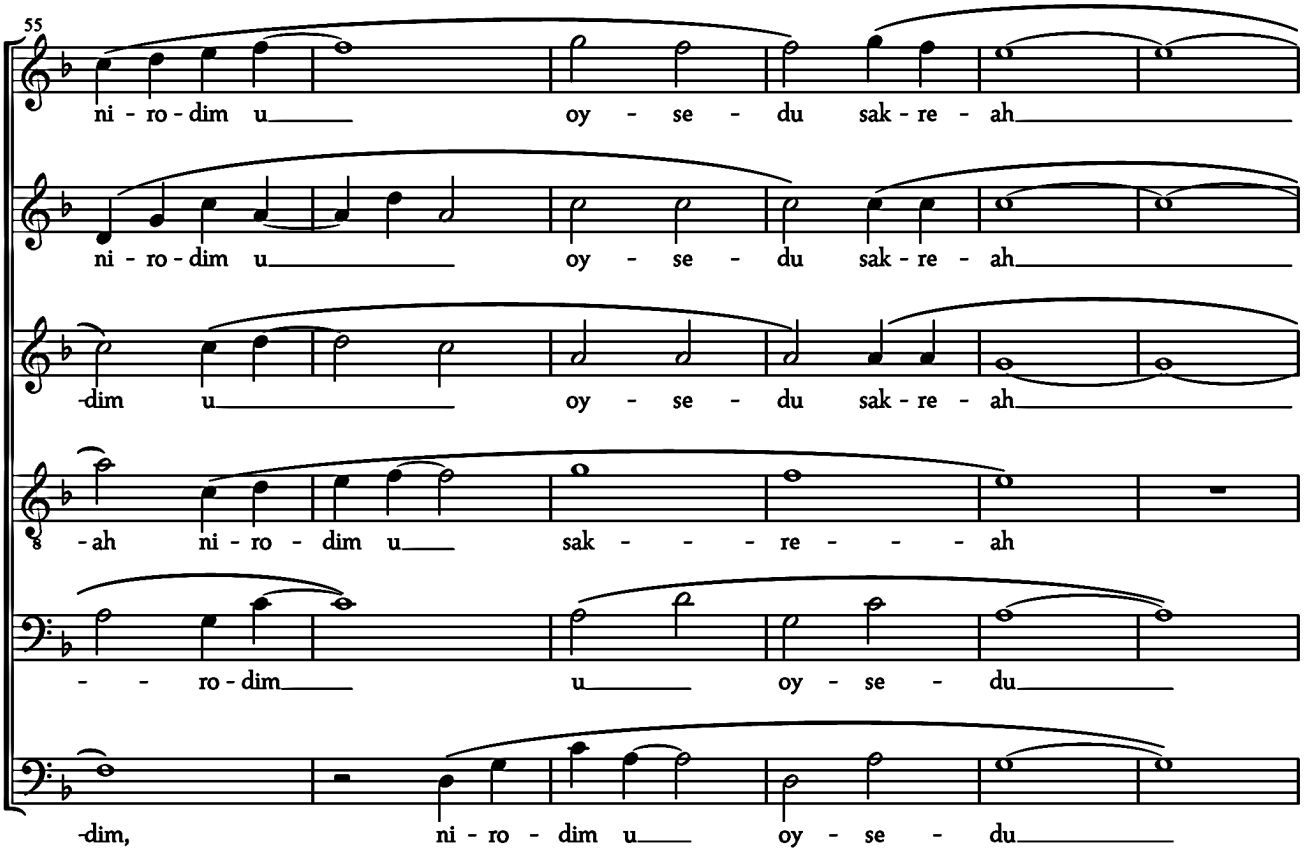

25
bog. re - raw y - e - nah
bog. Us so - ha re - raw y - - - - e - nah
bog. re - raw ye nah o - ti -
na - bog. Us so - ha re - raw ye -
Us so - - - ha re - raw ye -
Us so - ha re - raw


31
o - ti - en - na ian o - ni - ra wo
o - ti - en - na ian o - ni - ra wo
- en - na ian o - ni - ra wo
-nah, ye - nah o - ti - en - na
-nah o - ti - en - na wo
ye - nah o - ti - en - na wo


37
eu - di - - - si.
eu - di - - - si.
eu - di - - - si.
Ys a - mis u kay - ies
eu - di - - - si.
eu - di - - - si.


43
♩=68
Er a - rom
Er a - rom
u re - ga - ssas o - nom


49
a - min, sak - re - ah
a - min, sak - re - ah, ne - - - guo - so ni - ro -
ni - ro - dim u oy - se - du sak - re -
ne - - - - guo - so ni -
ne - - - guo - - - so ni - ro -


55
ni - ro - dim u oy - se - du sak - re - ah
ni - ro - dim u oy - se - du sak - re - ah
-dim u oy - se - du sak - re - ah
-ah ni - ro - dim u sak - - - re - - - ah
- - ro - dim u oy - se - du
-dim, ni - ro - dim u oy - se - du

61

Vef - - - - - les ru - noy

Vef - - - - les ru - noy no - gen

Vef - les ru - noy no - gen ik fog -

Vef - - - - - - les ru - noy

I - - - ri - yde ye - nah ot fo - me -

sak - re - - - - ah. Vef - les, I - - - ri - yde

61

67

no - - - gen, I - riyede ye -

ik fog - rant, Vef - les i - - - riyede ye -

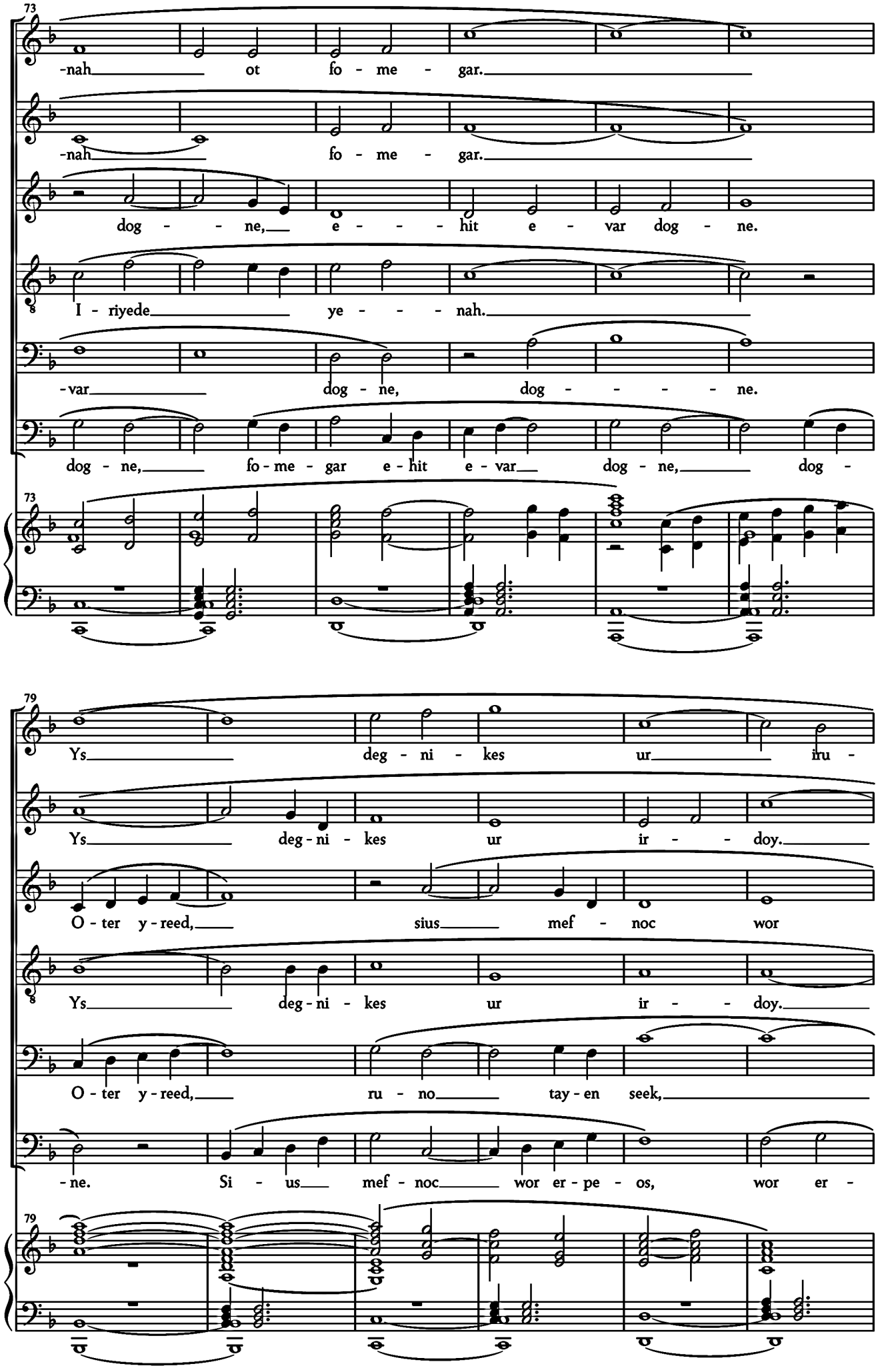
-rant, Vef - les i - riyde ot fo - - me - gar e - hit e - var

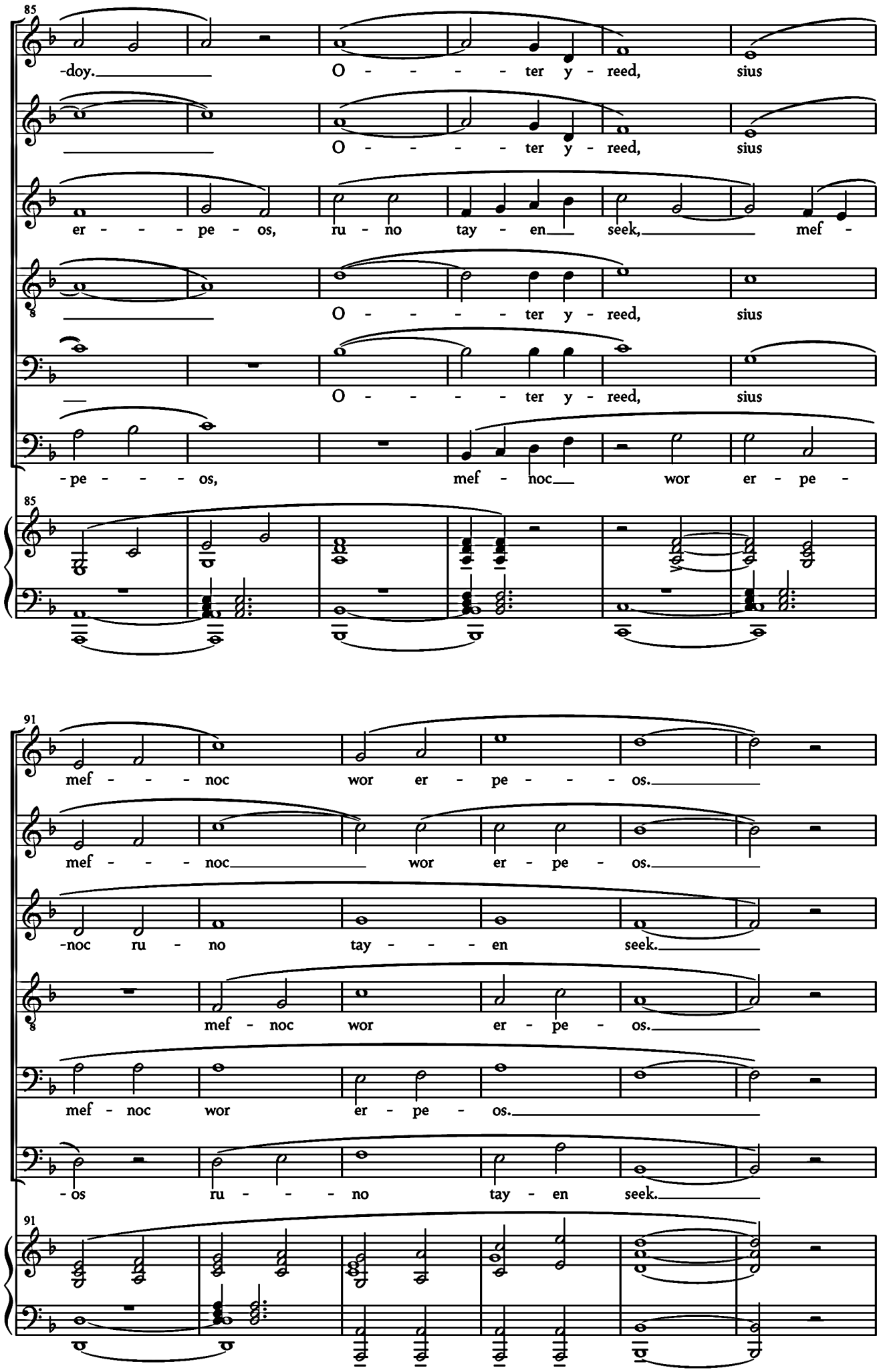
no - - - gen, ik fog - rant,

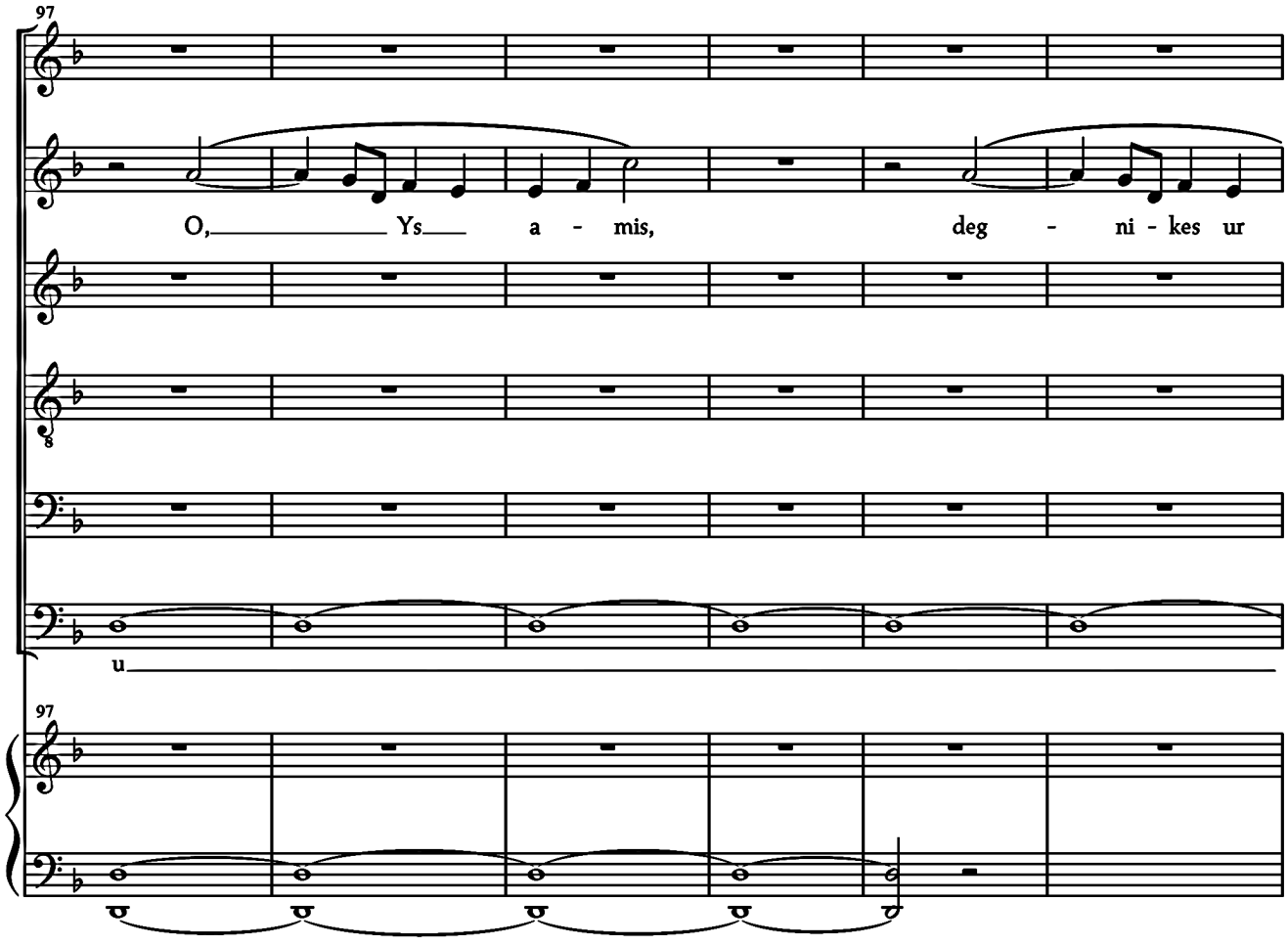
-gar e - - - - - hit e -

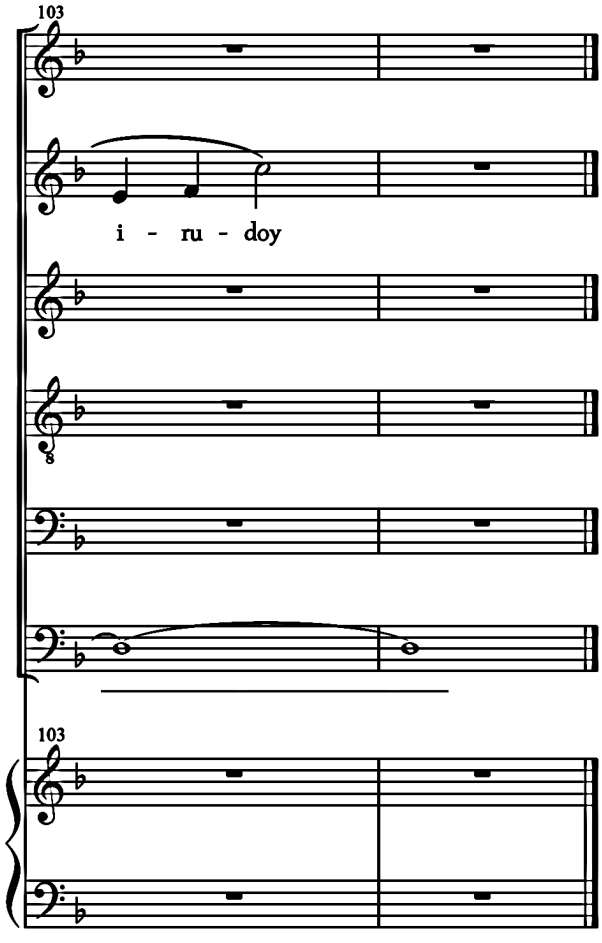
ye - nah ot fo - me - gar e - hit e - var

67


73
-nah ot fo - me - gar.
-nah fo - me - gar.
dog - - ne, e - - - hit e - var dog - ne.
I - riyede ye - - - nah.
-var dog - ne, dog - - - - - ne.
dog - ne, fo - me - gar e - hit e - var dog - ne, dog -
79
Ys deg - ni - kes ur iru -
Ys deg - ni - kes ur ir - - doy.
O - ter y - reed, sius mef - noc wor
Ys deg - ni - kes ur ir - - doy.
O - ter y - reed, ru - no tay - en seek,
- ne. Si - us mef - noc wor er - pe - os, wor er -


85
-doy. O - - - - ter y - reed, sius
O - - - - ter y - reed, sius
er - - - pe - os, ru - no tay - en seek, mef -
O - - - - ter y - reed, sius
O - - - - ter y - reed, sius
-pe - - - os, mef - noc wor er - pe -
91
mef - - - noc wor er - pe - - - os.
mef - - - noc wor er - pe - os.
-noc ru - no tay - - - en seek.
mef - noc wor er - pe - os.
mef - noc wor er - pe - os.
-os ru - - - no tay - en seek.


97
O, Ys a - mis, deg - ni - kes ur
u
97


103
i - ru - doy
103

少年

＜かつて少年だった＞

裏通りの小さな古書屋
そこで出会った少年は
まだ見たことのない
街の外の世界に憧れていた

揺れるランタンの灯りの下
僕は少年と話しながら
今までの旅のことを
ひとつひとつ思い出していた

――あれはどんな歌だったか
飲みほしたグラスの向こう
父さんは僕に背を向け
壇上の歌い手を見つめていた

（降り積もっていく新しい景色は
どこまでも広がるつぎはぎだらけの地図

次々に切り替わっていくどんなスライドも
僕は忘れたくなかった
だけど――）

＜少年は、夢みていた＞

（さよならを言おう。
たくさんの不条理に、明けることのない朝に、置き忘れた昨日の歌に。
バラードを歌っていた彼女はもういないし、
氷のすっかり融けてしまったスコッチももうない、
描きかけで切り取った粗描もなくなった。

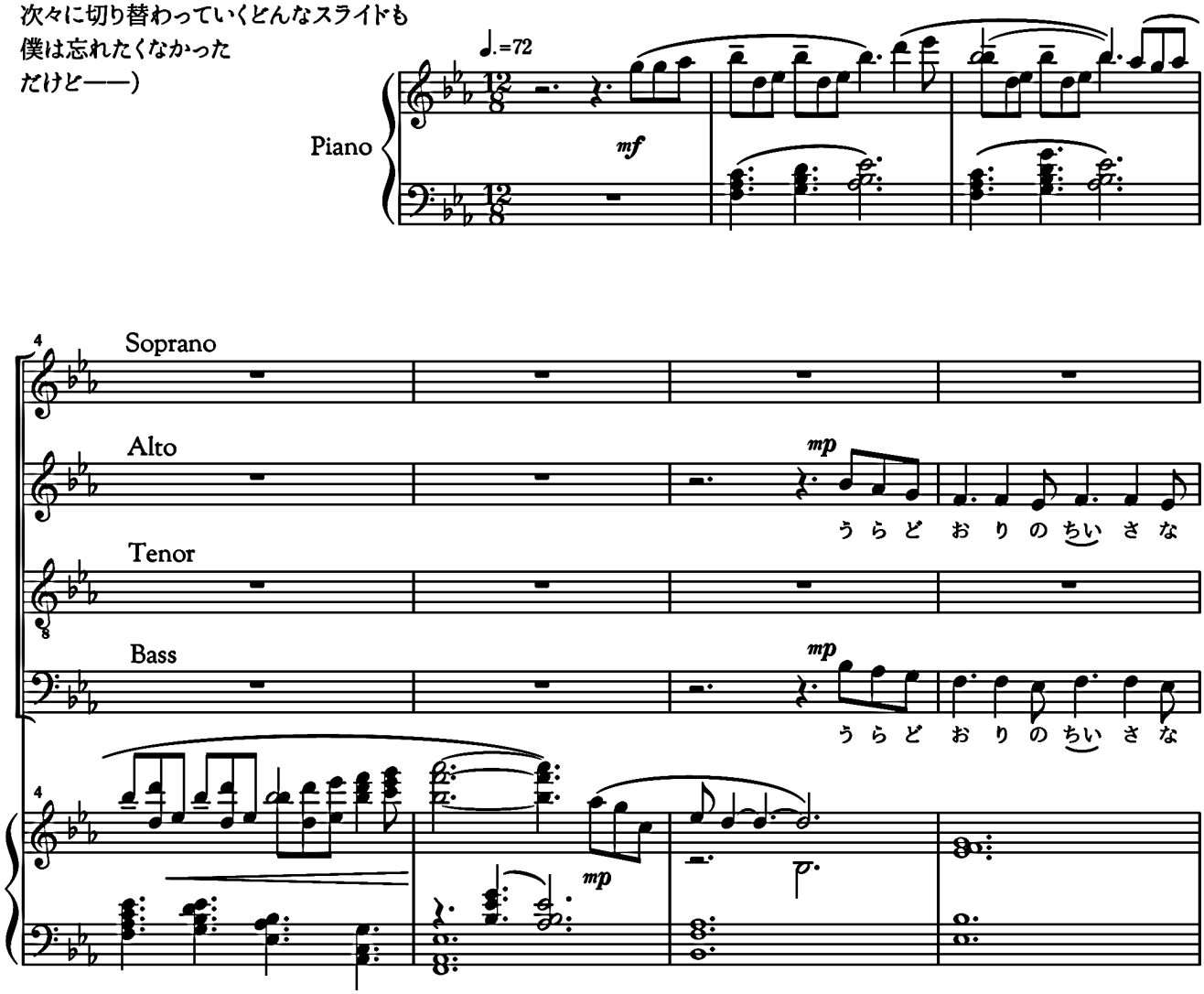
夜を越えて、辿りつく朝に寄せて。

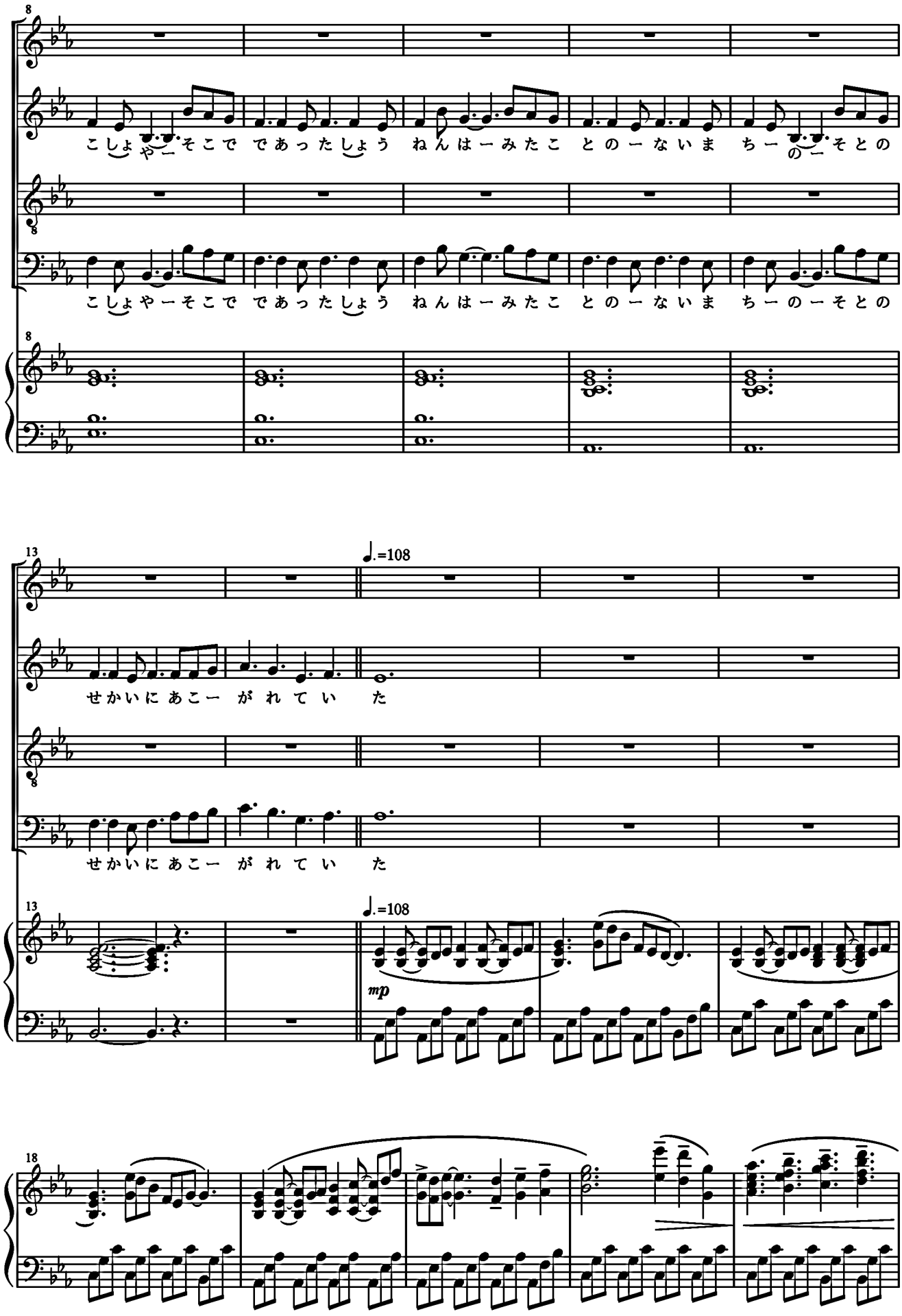
繁栄と栄華の城壁は高く歌う。
その歌声を止める手だては、年老いた隠者の杖か、
叫び立つ群衆の旗か、愚かな僕の失墜か）

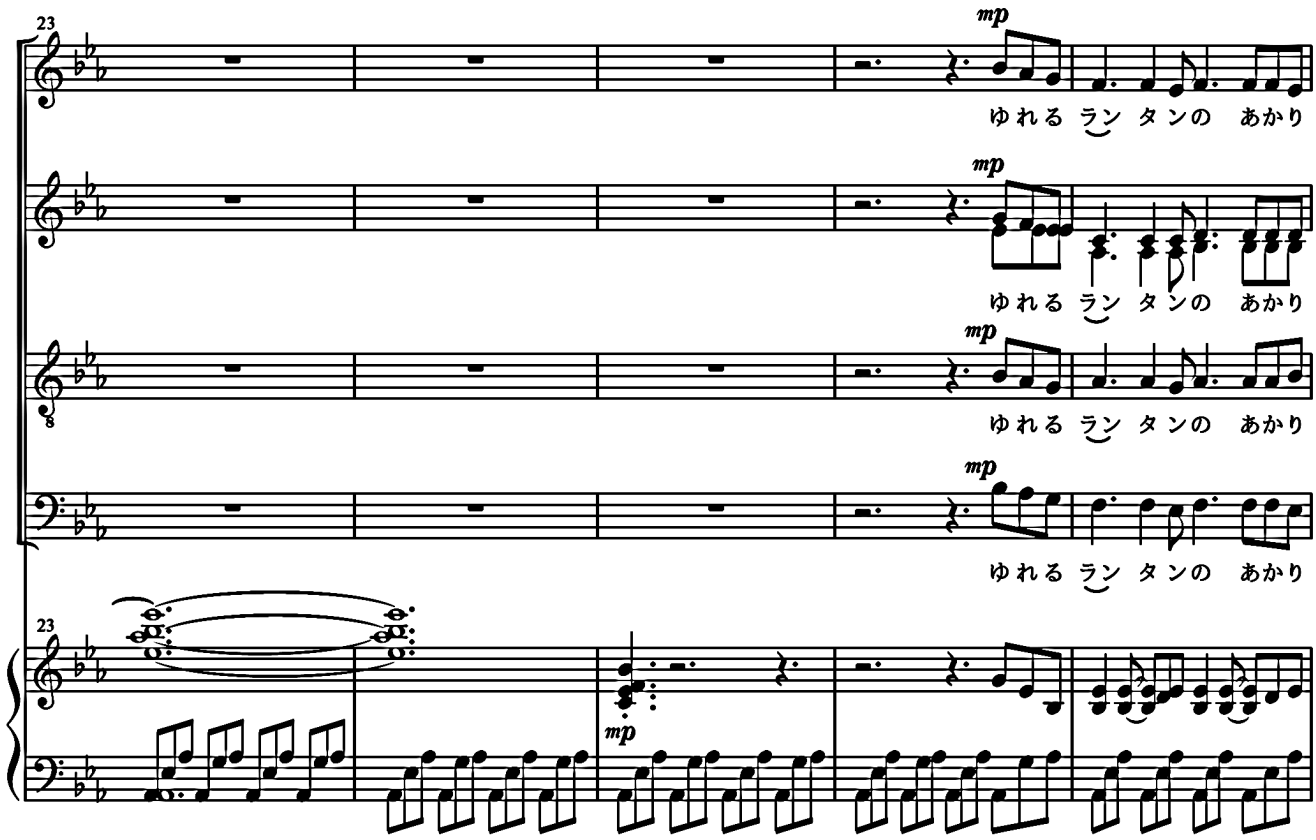
嘲笑う背中の影がやさしく僕を抱き寄せる
それを振り切れたのならば
僕は遠くへ行けるのだろうか

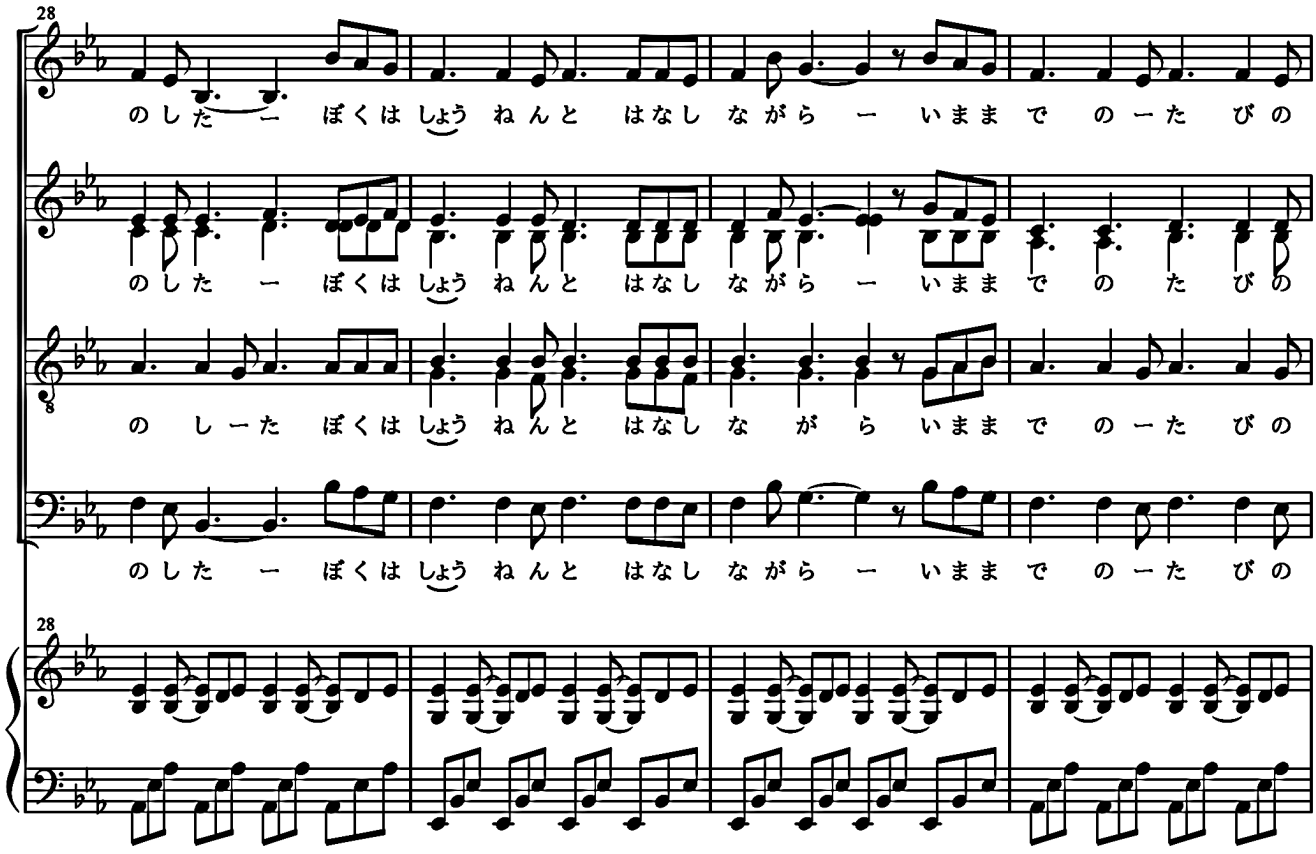
裏通りの小さな古書屋
そこで出会った旅人が聞かせてくれた
たくさんの景色を僕は探しに行くんだ

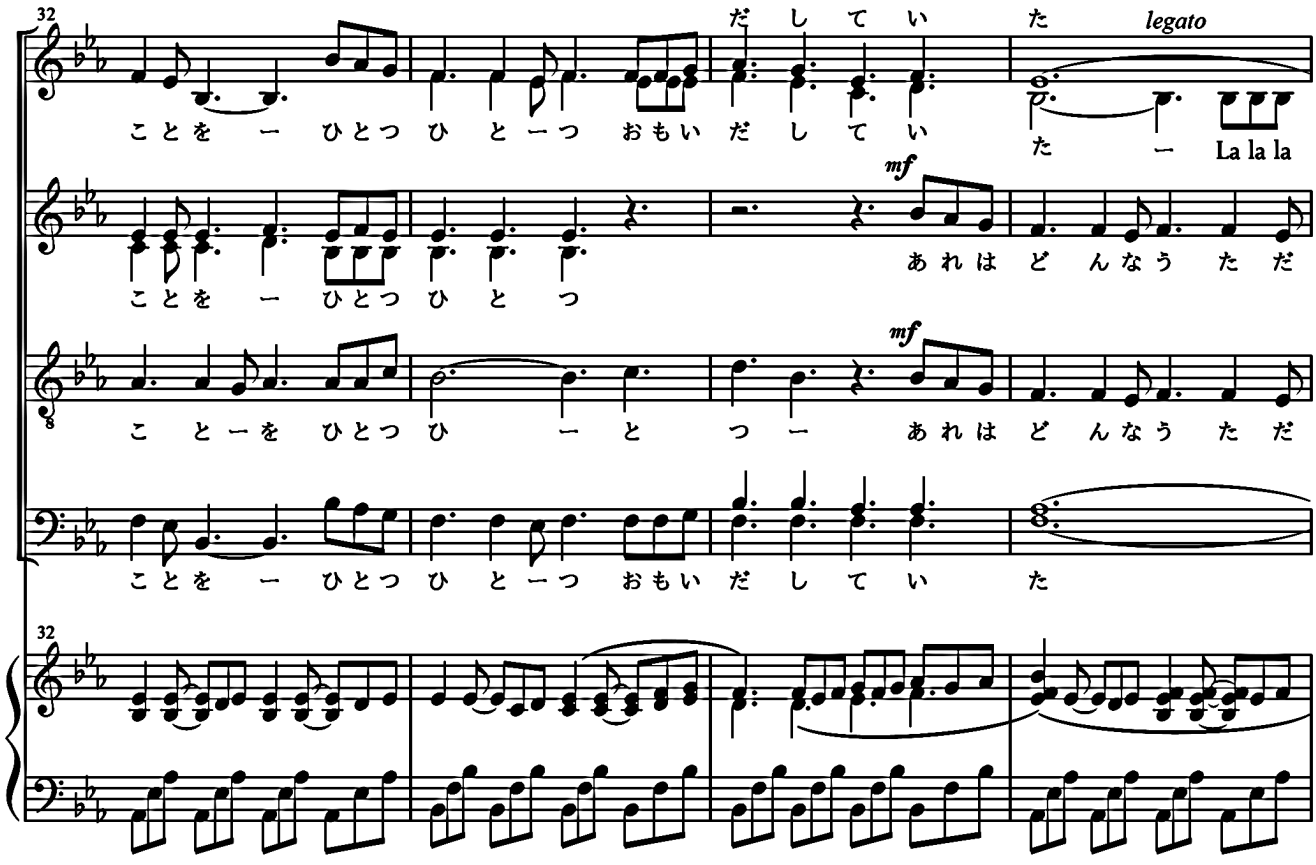
丸ノ内ノイ

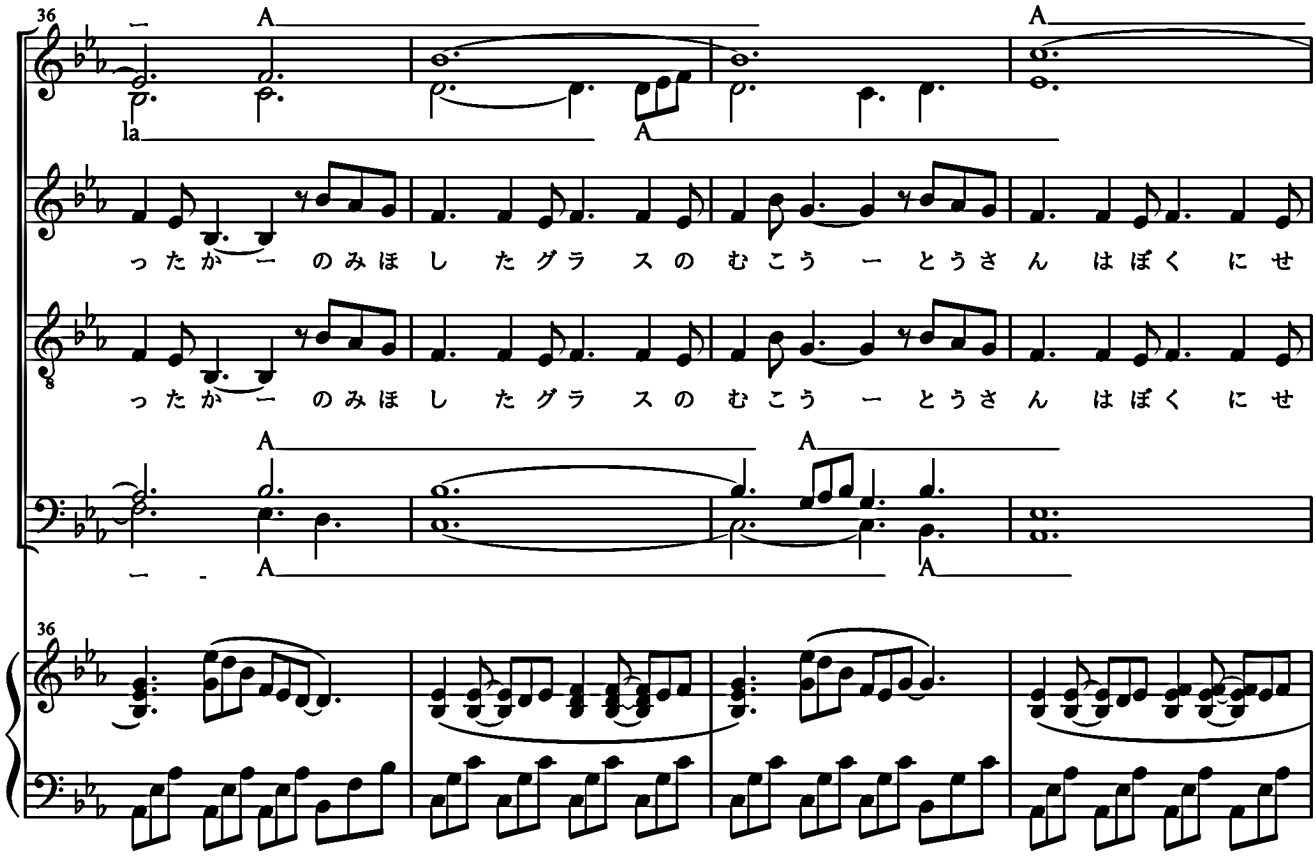


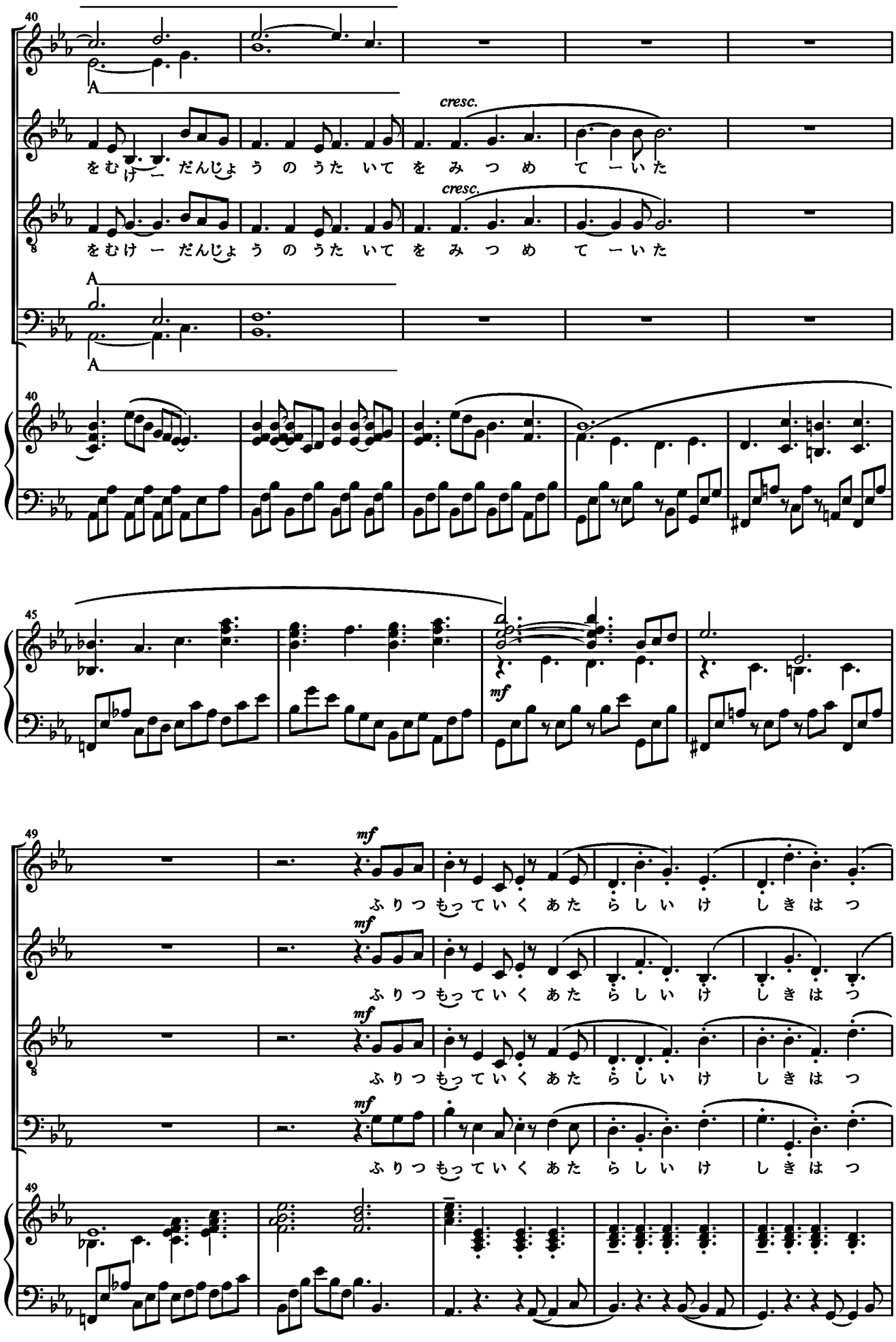

8
こしょやーそこで であったしょう ねんはーみたこ とのーないま ちーのーそとの
こしょやーそこで であったしょう ねんはーみたこ とのーないま ちーのーそとの
13
♩.=108
せかいにあこー がれてい た
せかいにあこー がれてい た
mp
18

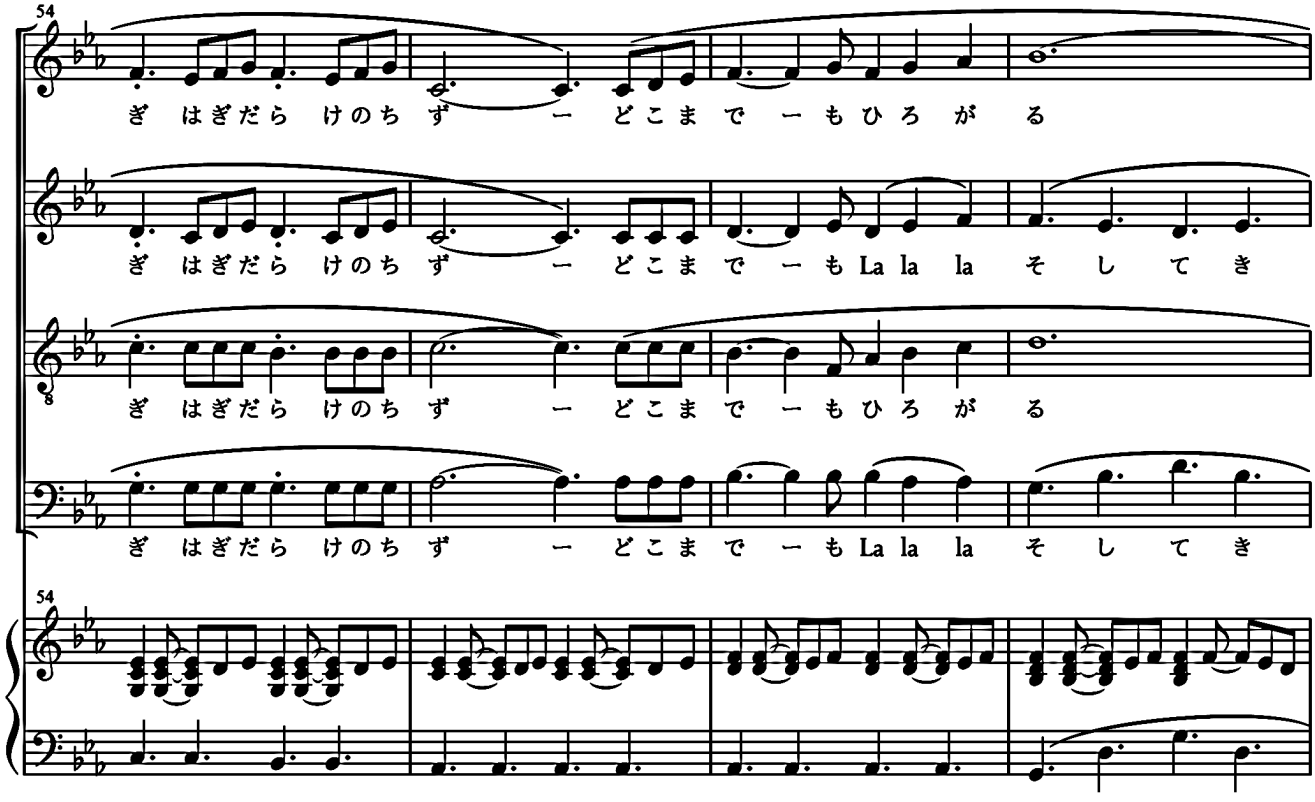

23
mp
ゆれる ラン タンの あかり
ゆれる ラン タンの あかり
ゆれる ラン タンの あかり
ゆれる ラン タンの あかり
mp

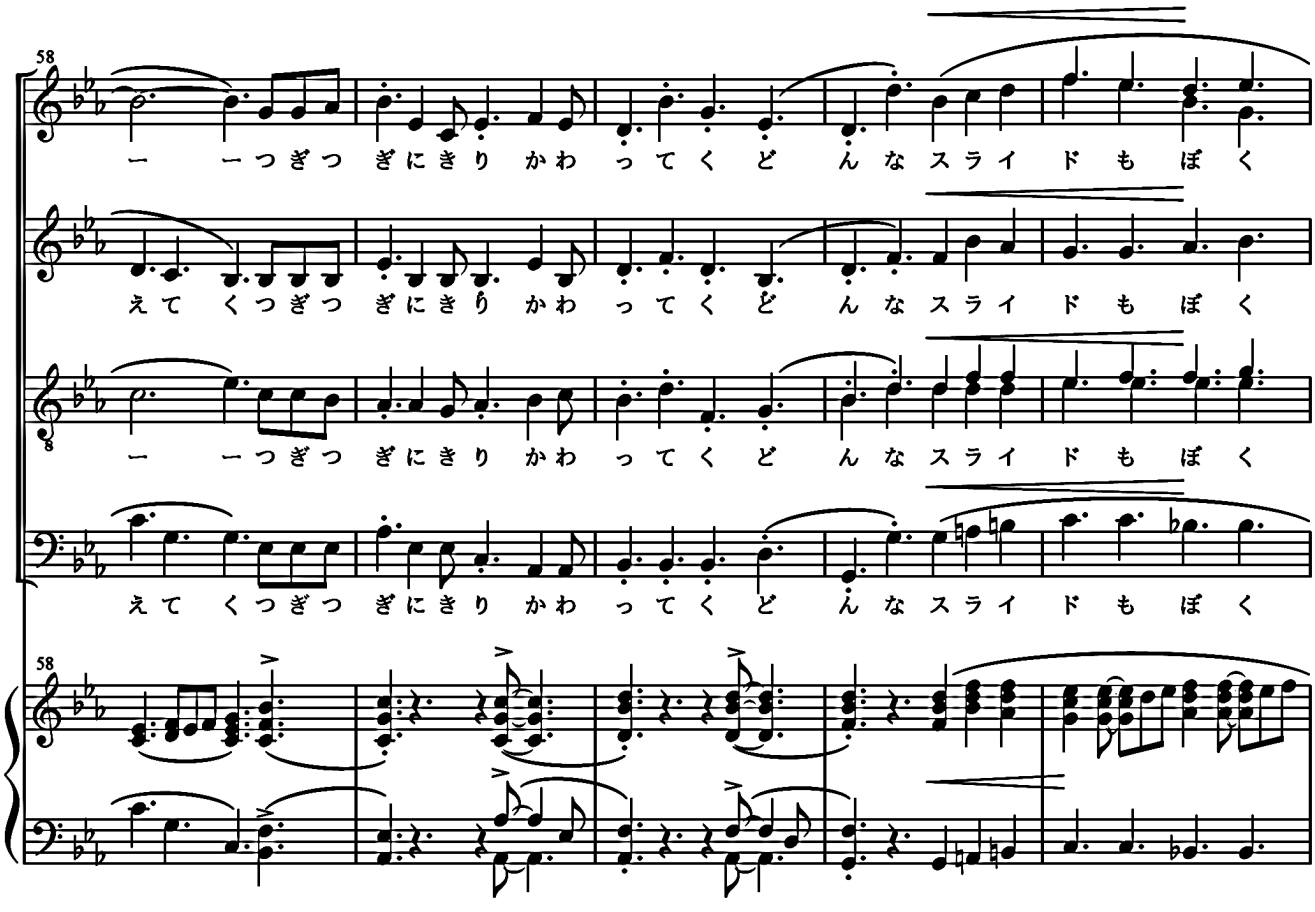

28
のした ー ぼくは しょう ねんと はなし ながら ー いままで の ー た びの
のした ー ぼくは しょう ねんと はなし ながら ー いままで の た びの
の しー た ぼくは しょう ねんと はなし な が ら いままで の ー た びの
のした ー ぼくは しょう ねんと はなし ながら ー いままで の ー た びの

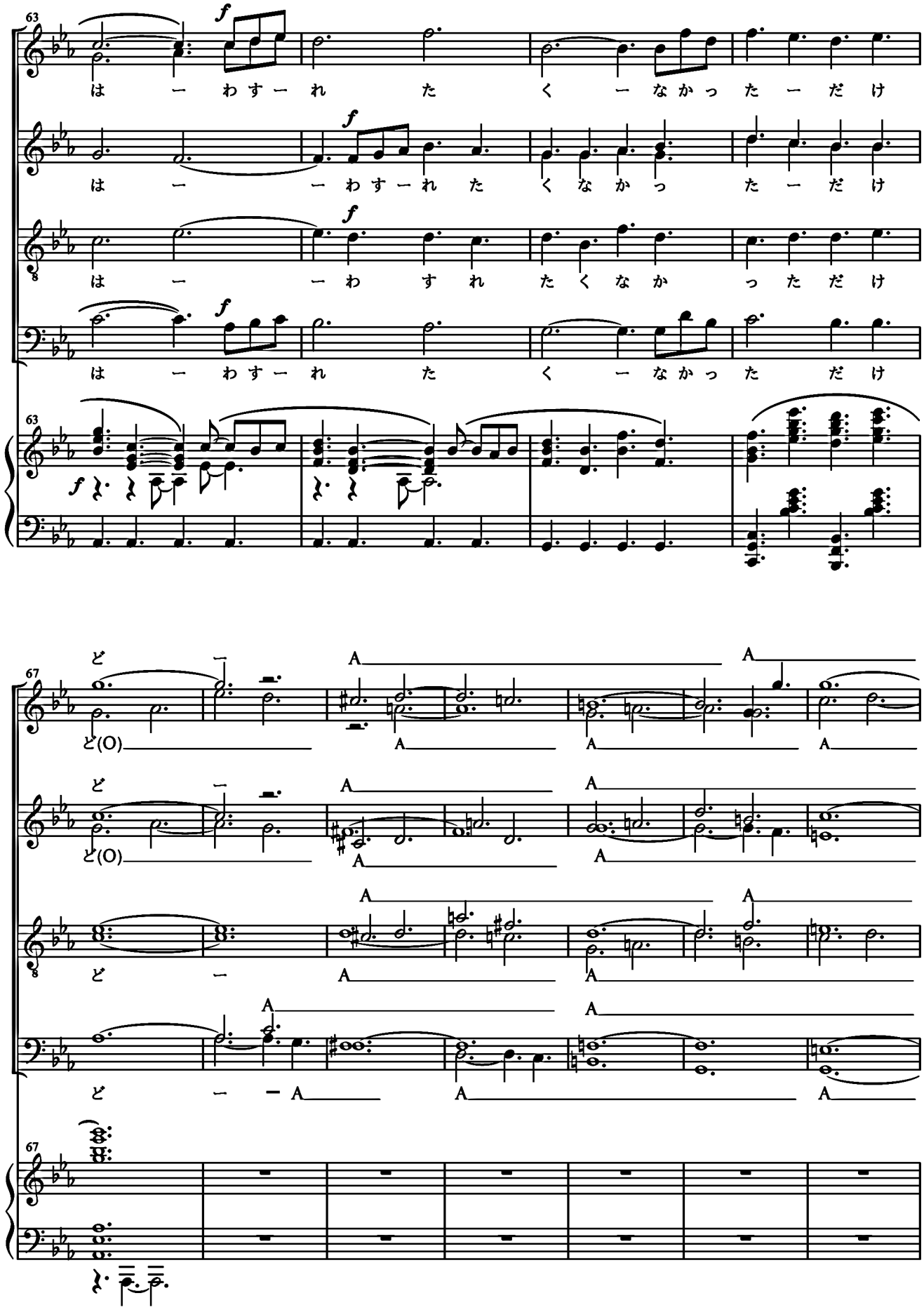

32
だしてい
た
legato
ことを ー ひとつ ひと ーつ おもい だ し て い
た ー La la la
mf
ことを ー ひとつ ひと つ
あれは どんなう た だ
mf
こと ーを ひとつ ひ ー と つ ー あれは どんなう た だ
ことを ー ひとつ ひと ーつ おもい だ し て い た
32

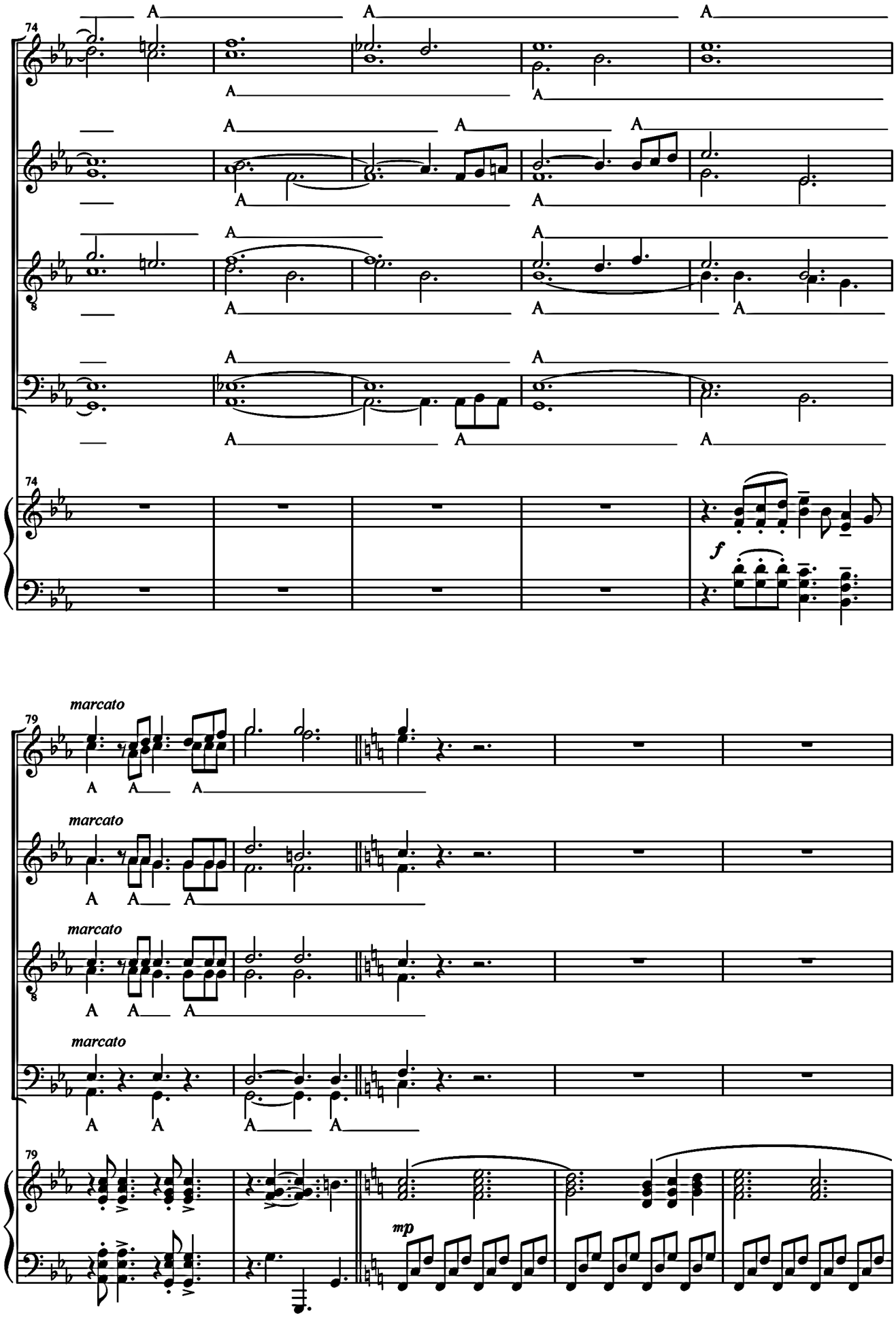

36
ー A
A
la A
ったか ー のみほ し たグラ スの むこう ー とうさん はぼく にせ
ったか ー のみほ し たグラ スの むこう ー とうさん はぼく にせ
A
A
ー A
A
36

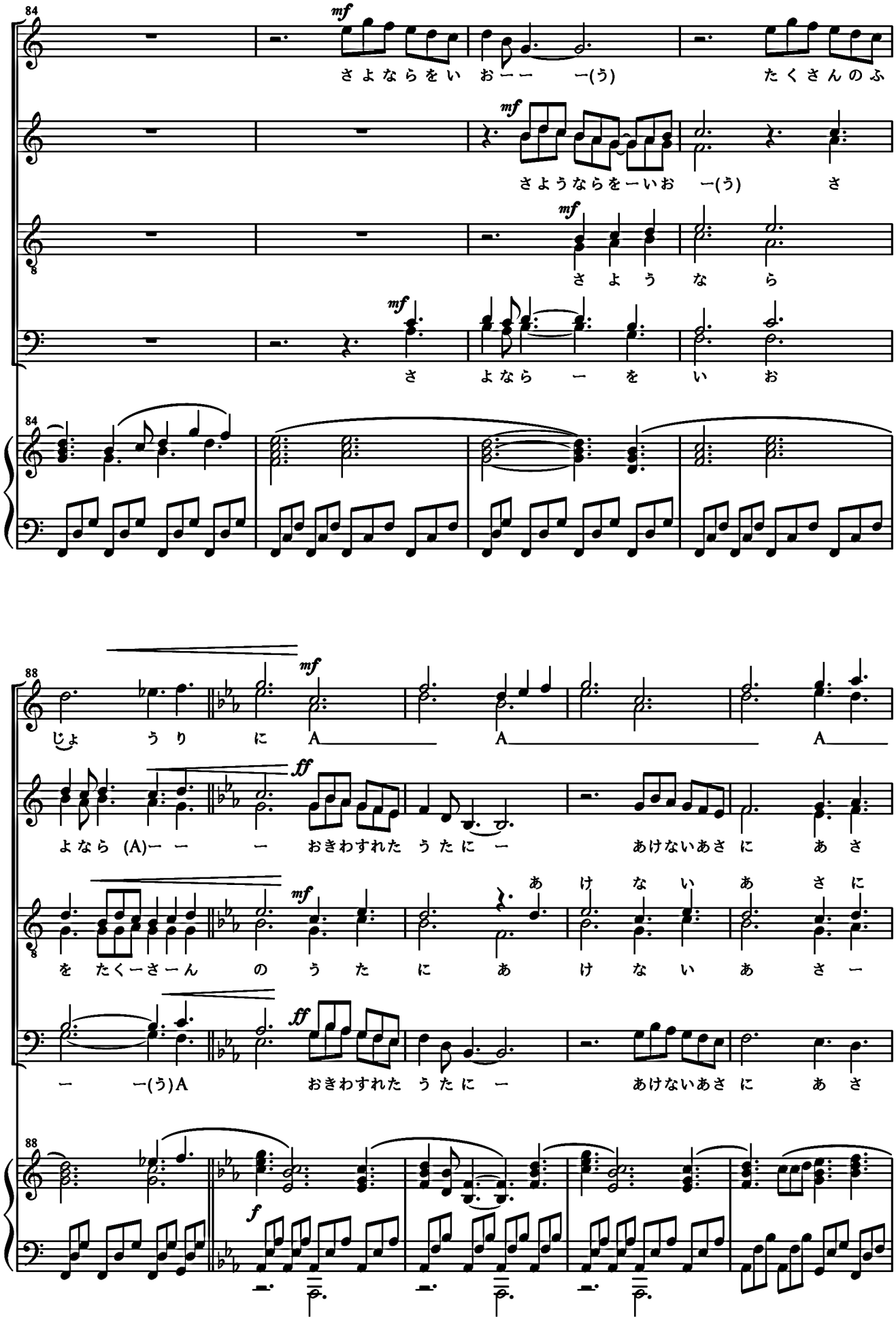

40
A
cresc.
をむけーだんじょうのうたいてをみつめてーいた
cresc.
をむけーだんじょうのうたいてをみつめてーいた
A
A
40
45
mf
49
mf
ふりつもっていくあたらしいけしきはつ
mf
ふりつもっていくあたらしいけしきはつ
mf
ふりつもっていくあたらしいけしきはつ
mf
ふりつもっていくあたらしいけしきはつ
49

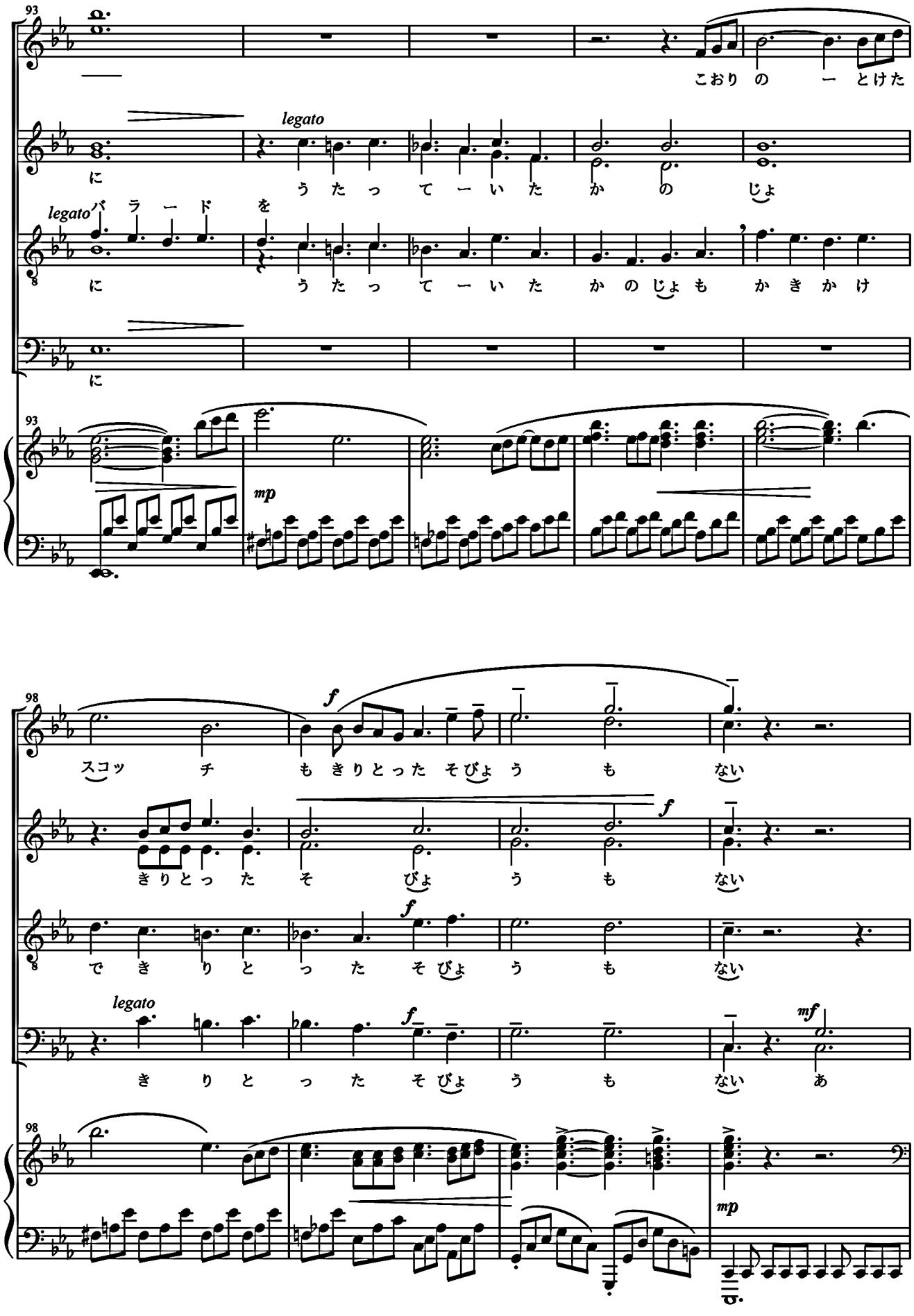

54
ぎ はぎだら けのち ず ー どこま で ー もひろ が る
ぎ はぎだら けのち ず ー どこま で ー もLa la la そ し て き
ぎ はぎだら けのち ず ー どこま で ー もひろ が る
ぎ はぎだら けのち ず ー どこま で ー もLa la la そ し て き
54

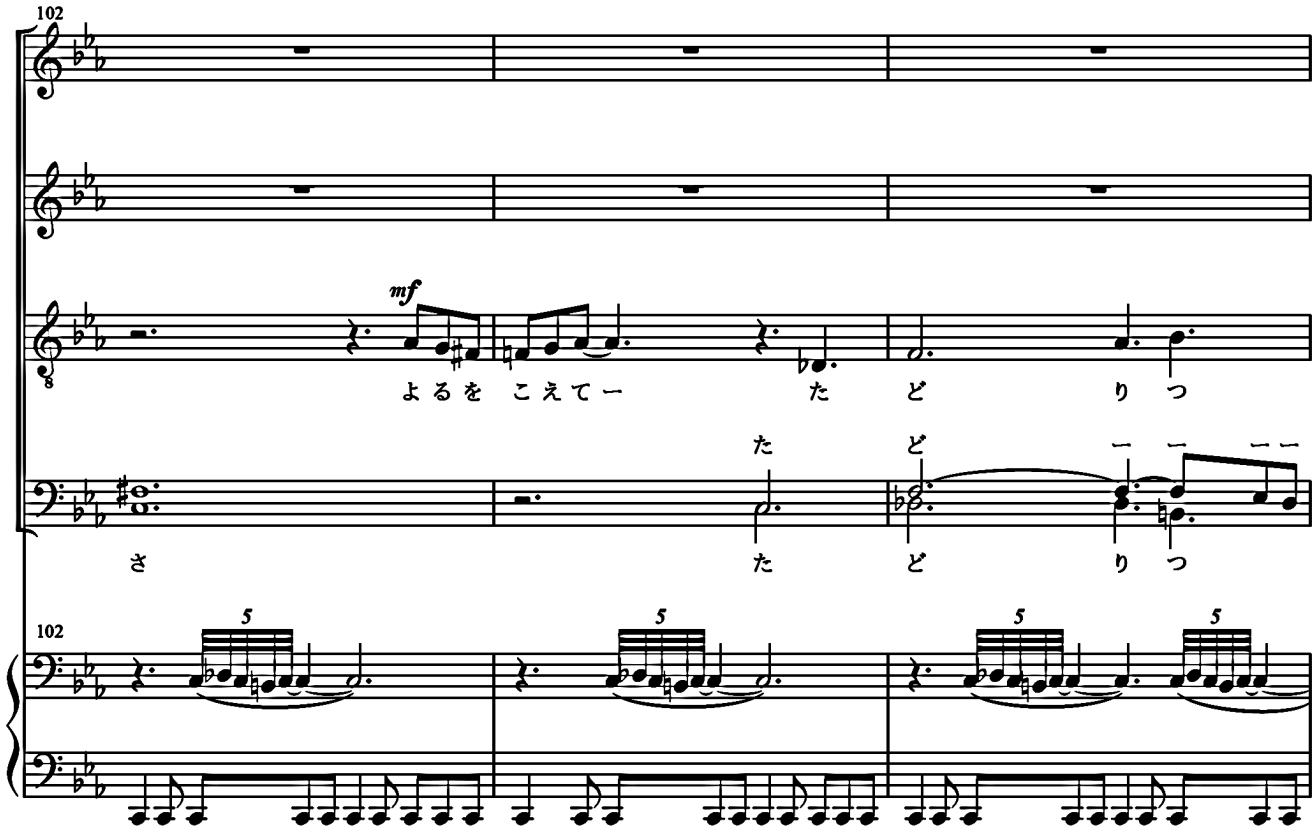

58
ー ーつぎつ ぎにきり かわ ってく ど んな スライ ド もぼ く
えて くつぎつ ぎにきり かわ ってく ど んな スライ ド もぼ く
ー ーつぎつ ぎにきり かわ ってく ど んな スライ ド もぼ く
えて くつぎつ ぎにきり かわ ってく ど んな スライ ド もぼ く
58

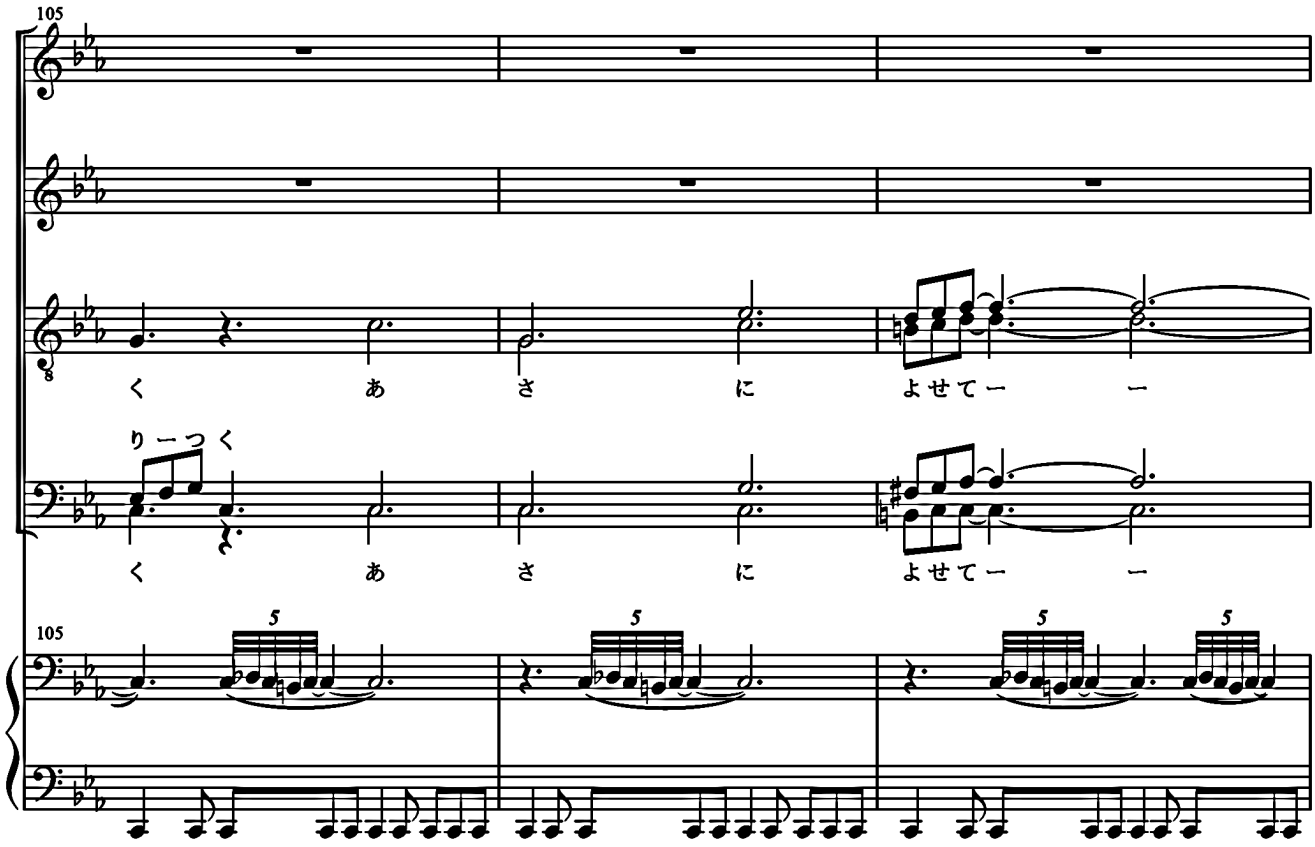

63
は ー わすー れ た く ー なかっ た ー だ け
は ー ー わすー れ た くなかっ た ー だ け
は ー ー わ す れ た くなか っ た だ け
は ー わすー れ た く ー なかっ た だ け
67
ど ー A A
ど(O) A A A
ど ー A A
ど ー ー A A A

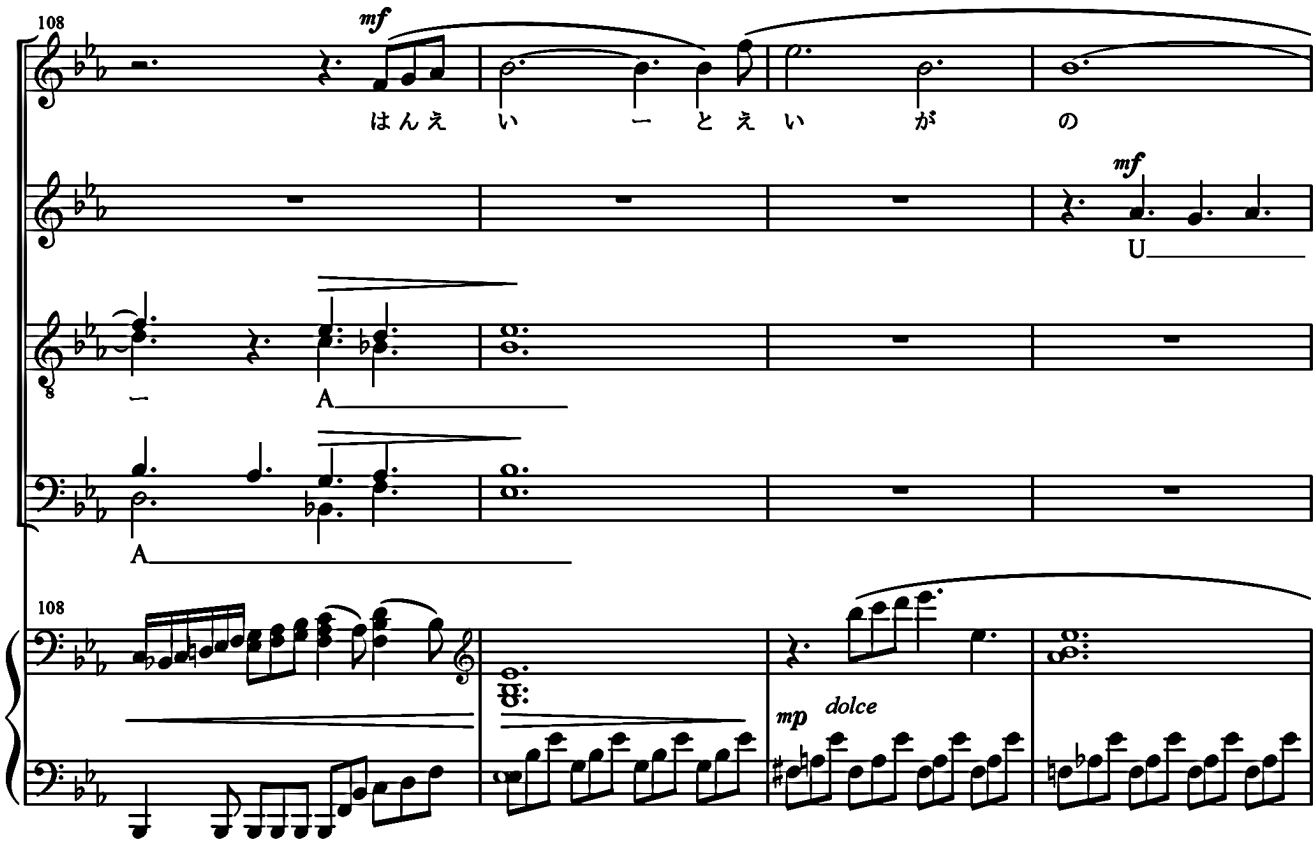

74
A
f
79
marcato
mp

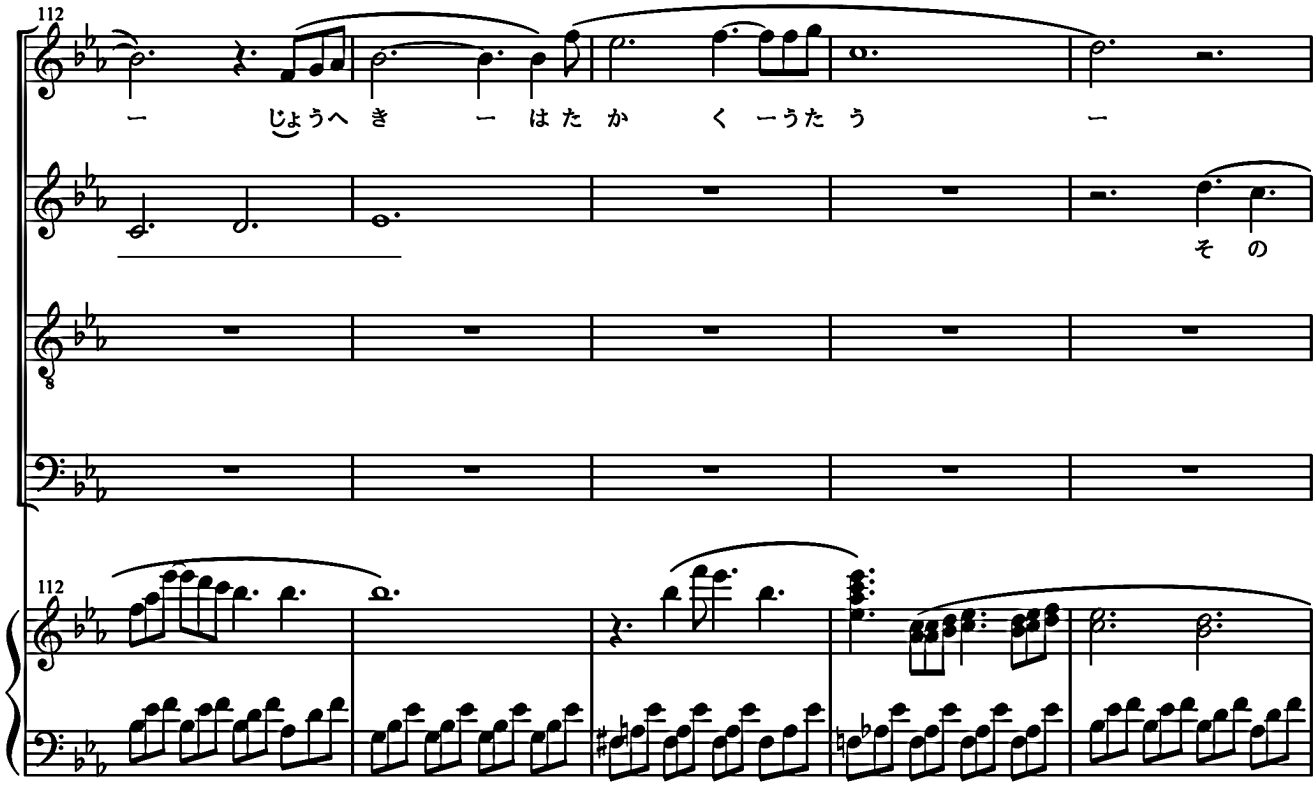

84
mf
さよならをい おーー ー(う) たくさんのふ
さようならをーいお ー(う) さ
さ よ う な ら
さ よなら ー を い お
88
じょ う り に A A A
よなら (A)ー ー ー おきわすれた うたに ー あけないあさ に あ さ
あ け な い あ さ に
を たくーさーん の う た に あ け な い あ さ ー
ー ー(う)A おきわすれた うたに ー あけないあさ に あ さ
ff
f


93
こおり の ー とけた
legato
に うたって ー いた か の じょ
legato バラード を
に うたって ー いた かのじょも かきかけ
に
mp
98
f
スコッ チ も きりとった そびょう も ない
きりとった そ びょう も ない
で きりとった そびょう も ない
legato
きりとった そびょう も ない
mf
あ
mp


102
mf
よるを こえてー た どり つ
た どー ー ー ー
さ た どり つ
102


105
く あ さ に よせてー ー
りーつく
く あ さ に よせてー ー
105


108
mf
はんえ い ー と え い が の
mf
U
ー
A
A
108
mp dolce


112
ー じょうへ き ー はた か く ーうた う ー
そ の
112

117

としお いたいんじゃの

うたごえを とめるてだては

てだては

117

122

つえかー おろかなー ーぼく のーー しっつ

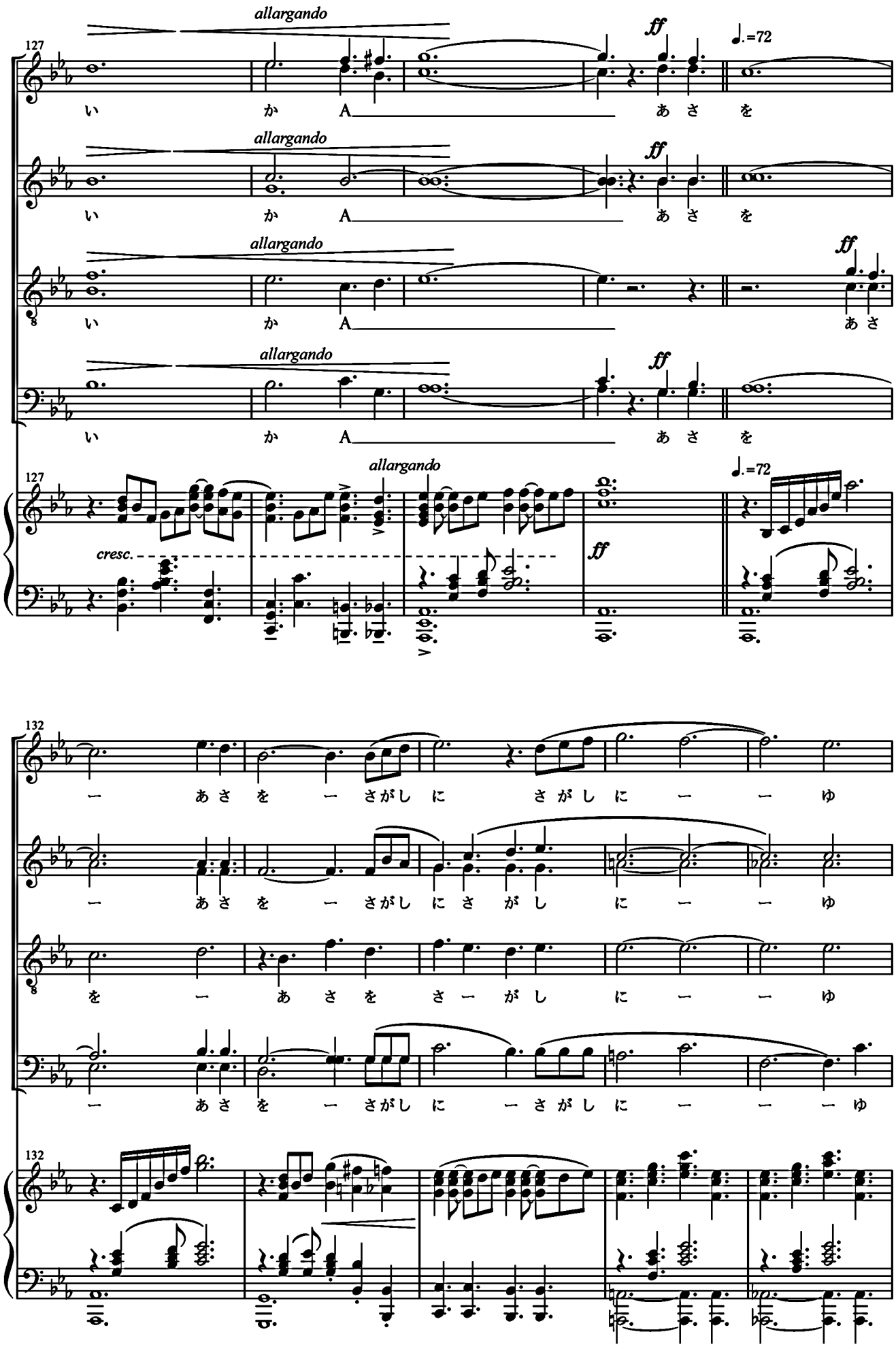
U おろかなー ーぼく のーー しっつ

さけび たつぐんしゅうの はたかー おろかなー ーぼく のーー しっつ

さけび たつぐんしゅうの はたかー おろかなー ーぼく のーー しっつ

122

mf marcato


127
allargando
ff
♩.=72
い か A あ さ を
cresc.
132
ー あ さ を ー さがし に さ が し に ー ー ゆ
を ー あ さ を さ ー が し に ー ー ゆ

♩.=108 Animato

137

く ー

mf

A

く ー あざわ ら うせな かの かげが ー やさし く ぼくを だき

く ー ー

f

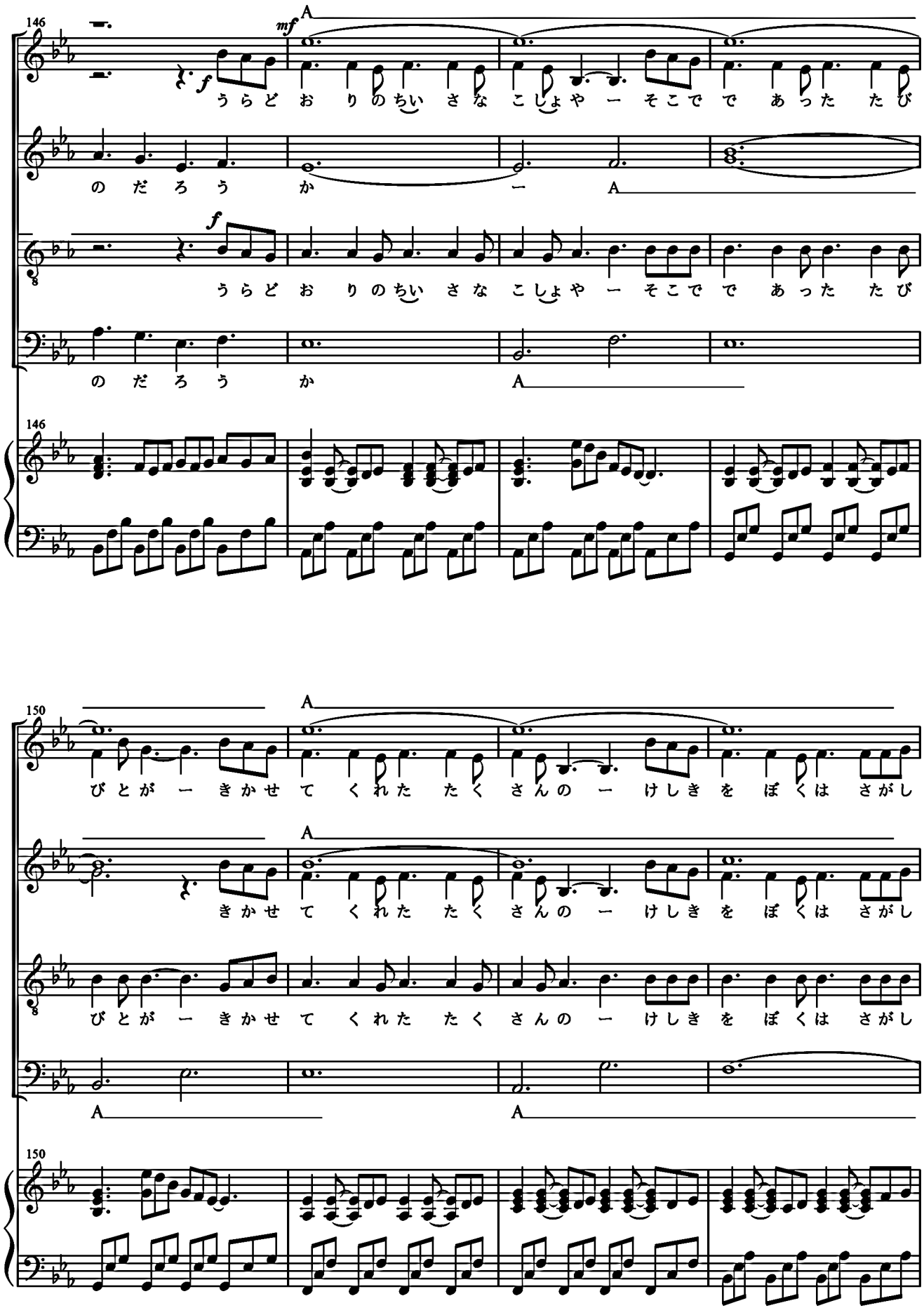
く ー あざわ ら うせな かの かげが ー やさし く ぼくを だき

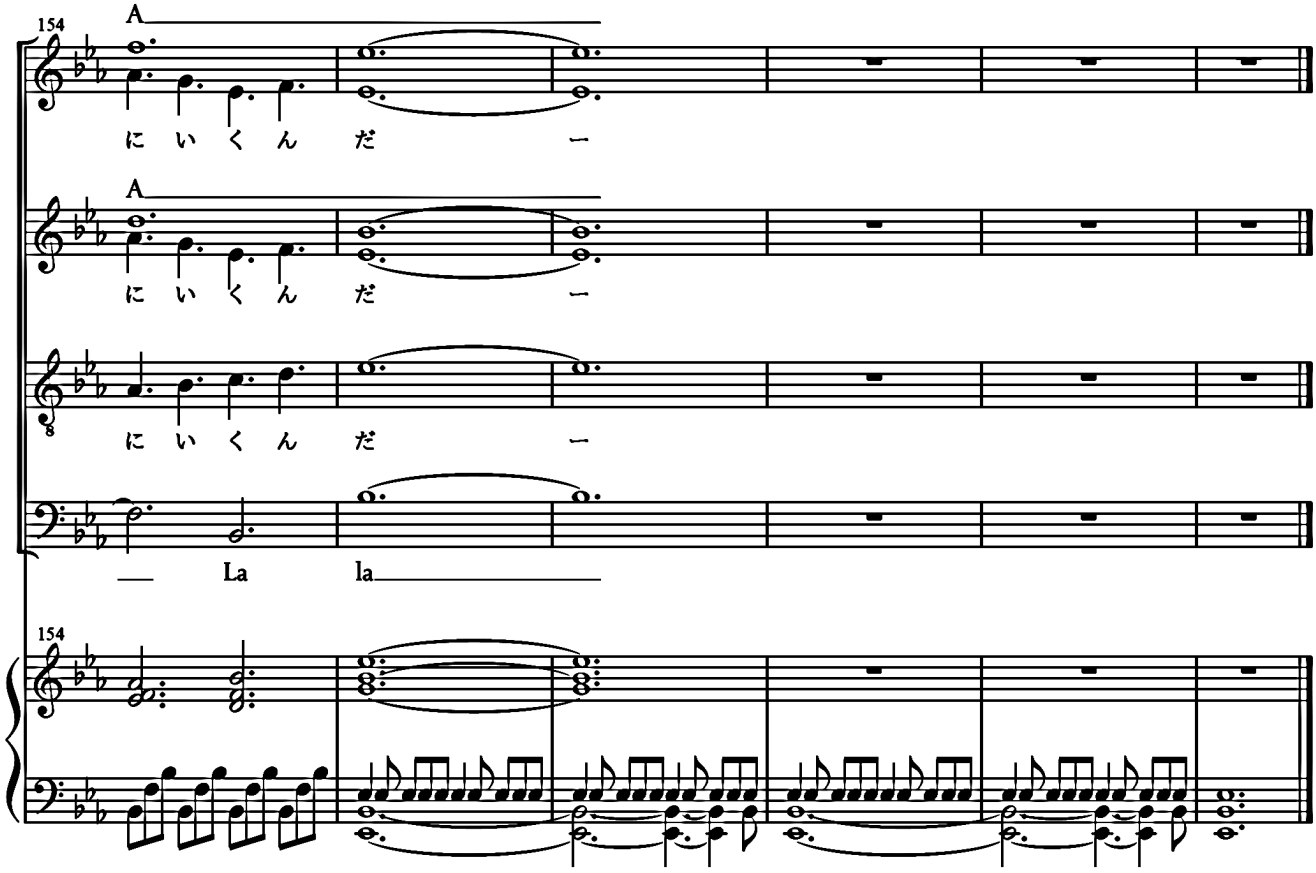
♩.=108 Animato

142

よせる ー それを ふ りきれ たの ならば ー ぼくは と おくへ いける

よせる ー それを ふ りきれ たの ならば ー ぼくは と おくへ いける


146
mf
A
f
うらどおりのちいさなこしょやーそこでであったたび
のだろうかー
A
f
うらどおりのちいさなこしょやーそこでであったたび
のだろうか
A
146
150
A
びとがーきかせてくれたたくさんのーけしきをぼくはさがし
A
きかせてくれたたくさんのーけしきをぼくはさがし
びとがーきかせてくれたたくさんのーけしきをぼくはさがし
A
A
150


154
A
に い く ん だ ー
A
に い く ん だ ー
に い く ん だ ー
La la
154

出立の朝

始日の鐘が鳴ると
一瞬 街は静かになる
その隙間を縫うように
僕たちは街を出た

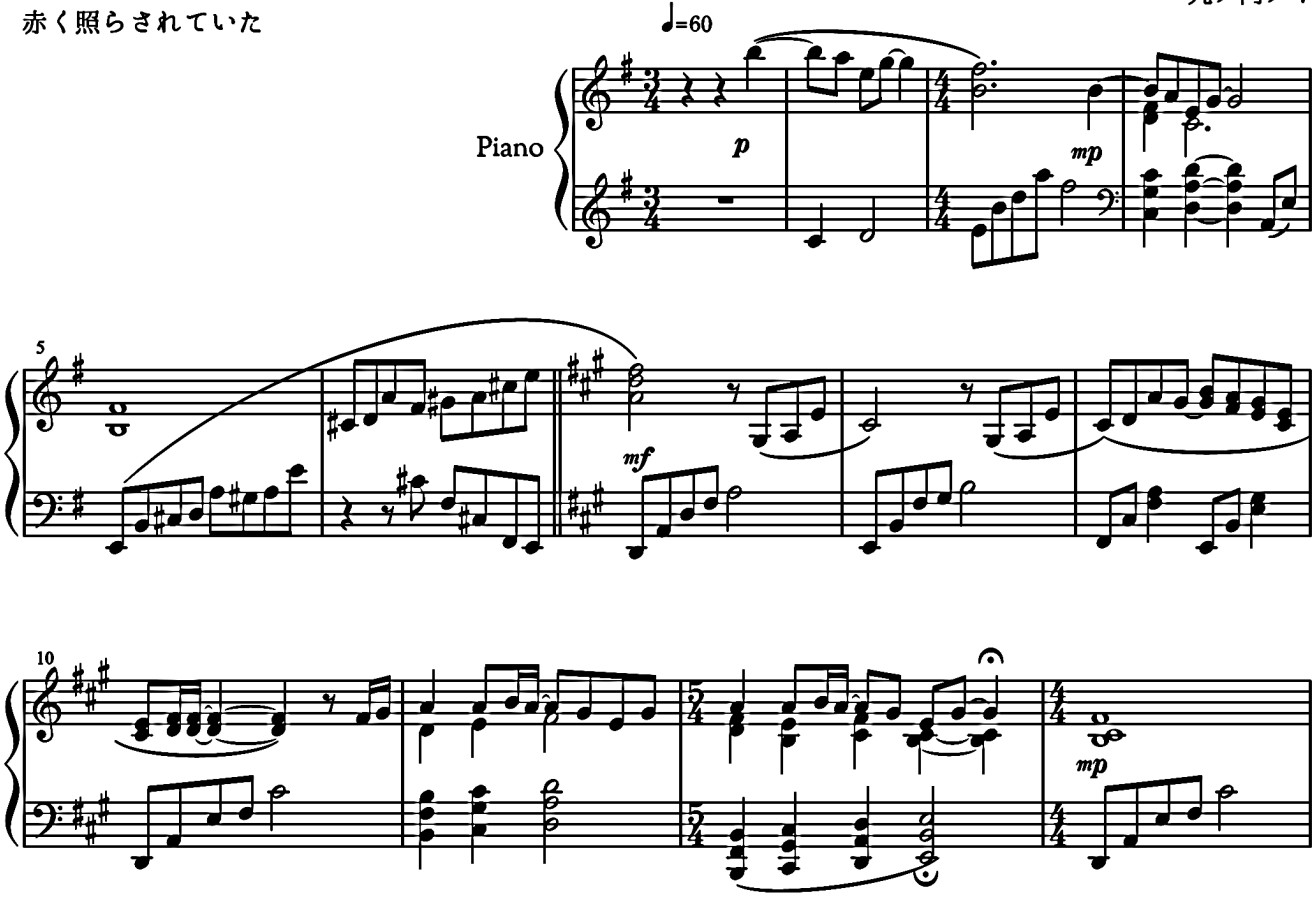
城壁の向こうには
さざめく緑の草原
遠く見渡した空に
明けの星が輝く

白む空は
星を吸い上げ
遠い地平に返す
歩き出した僕の昨日も
雲に　風に
押し流されていく

初めてみる夜明けに
少年は何を思うだろう

離れていく城壁は
赤く照らされていた

丸ノ内ノイ



14

Soprano *mp*

しじ つのかねーがなる と いっ

Alto *mp*

しじ つのかねーがなる と いっ

Tenor *mp*

しじ つのかねーがなる と いっ

Bass *mp*

しじ つのかねーがなる と いっ

14

19

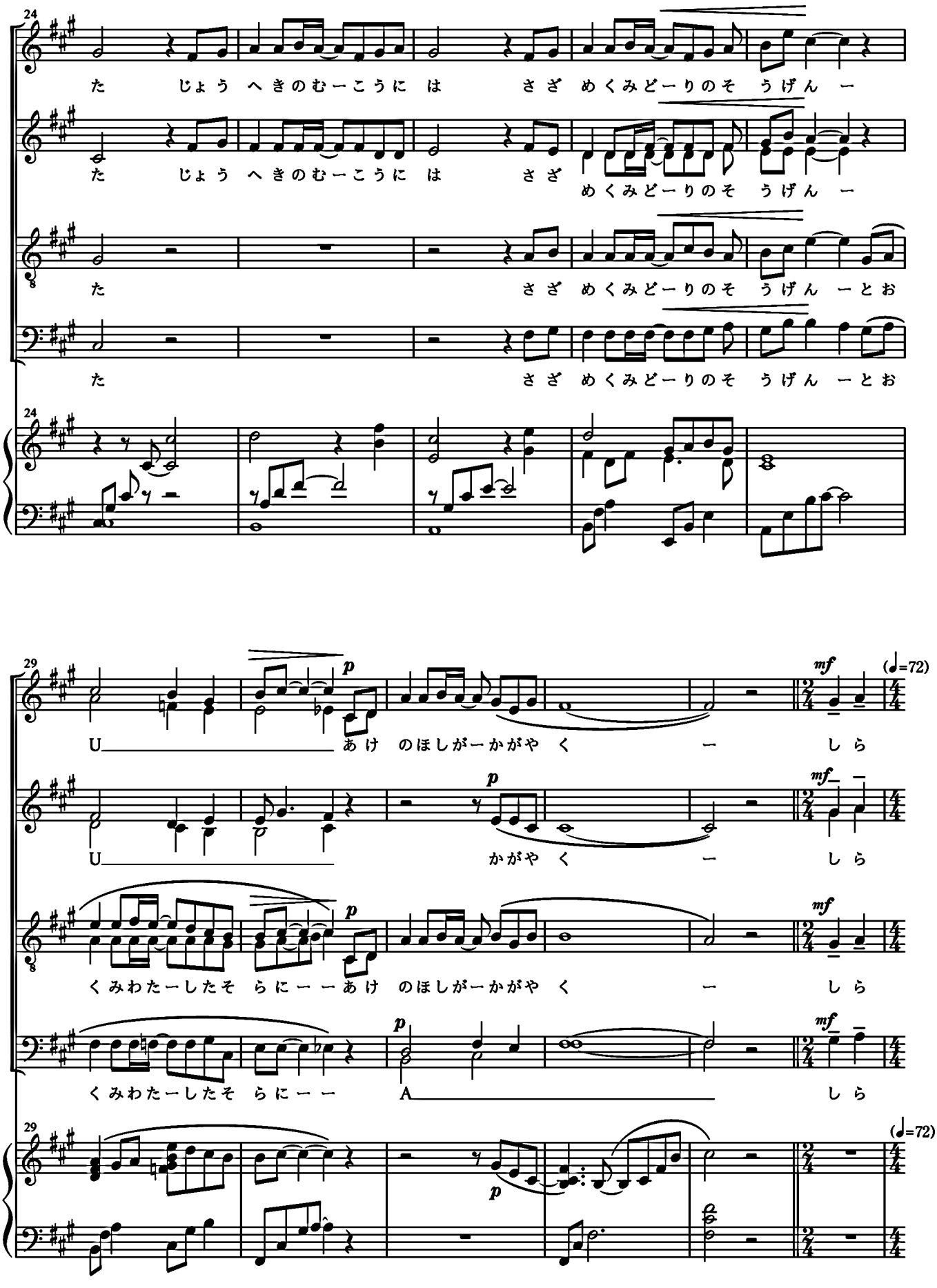
しゅん まちはーしずか になる ぼく たちはまーちをで

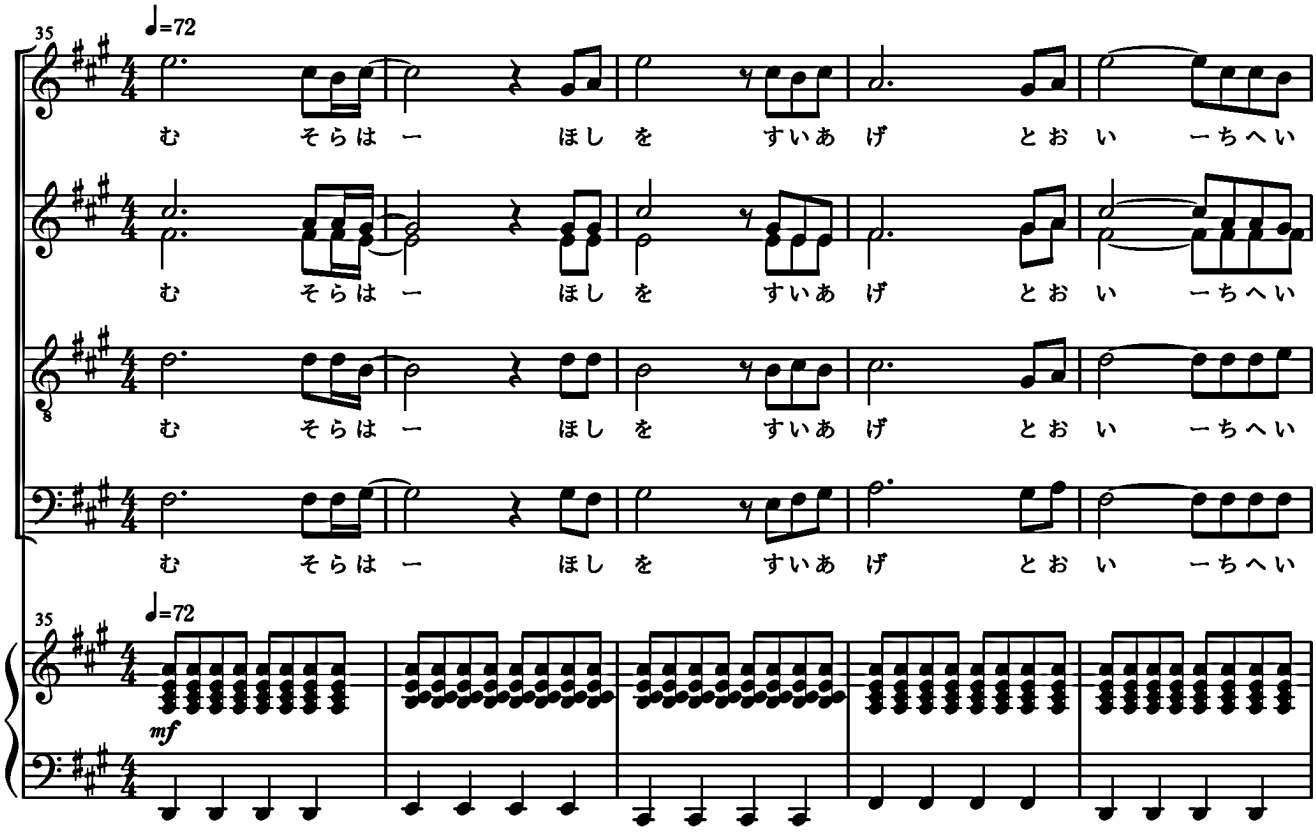
しゅん まちはーしずか になる ー ぼく たちはまーちをで

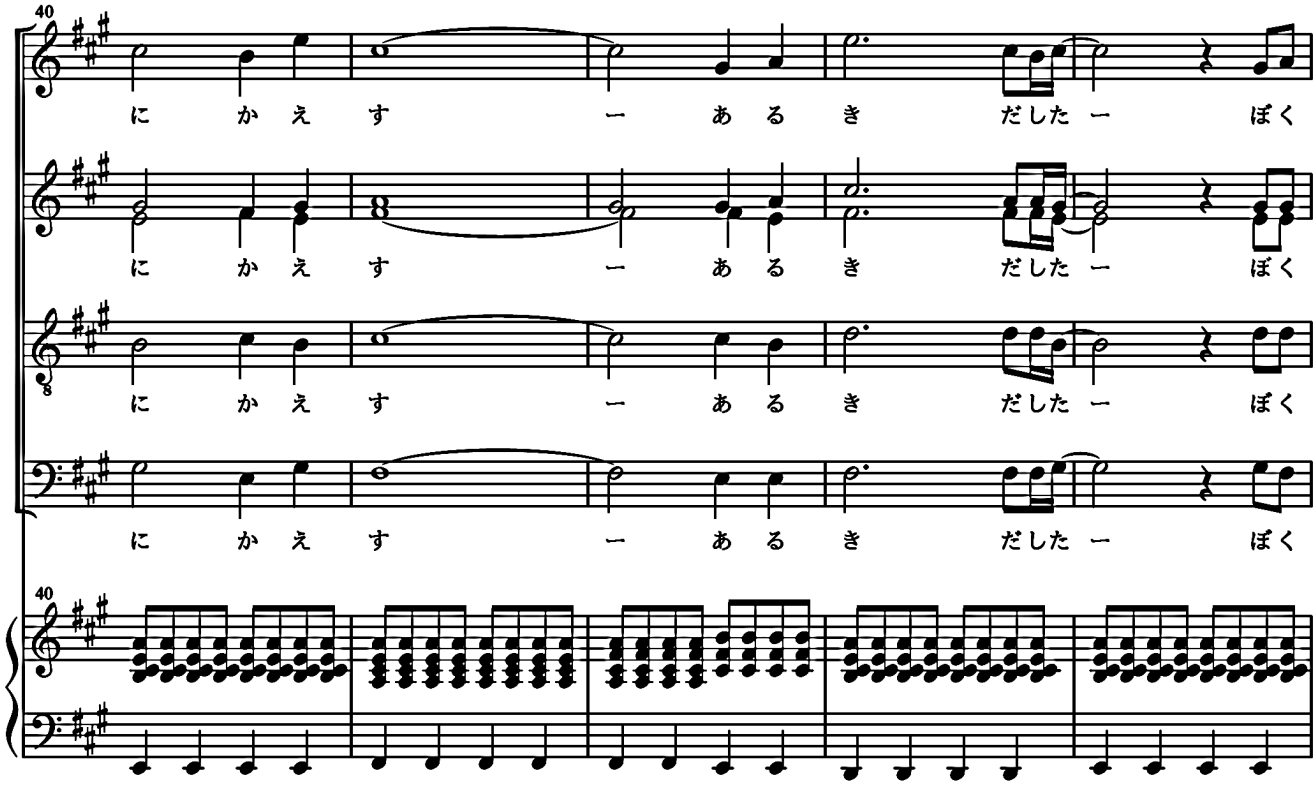
しゅん まちはーしずか になる その すきまをーぬうよ うにー ーぼく たちはまーちをで

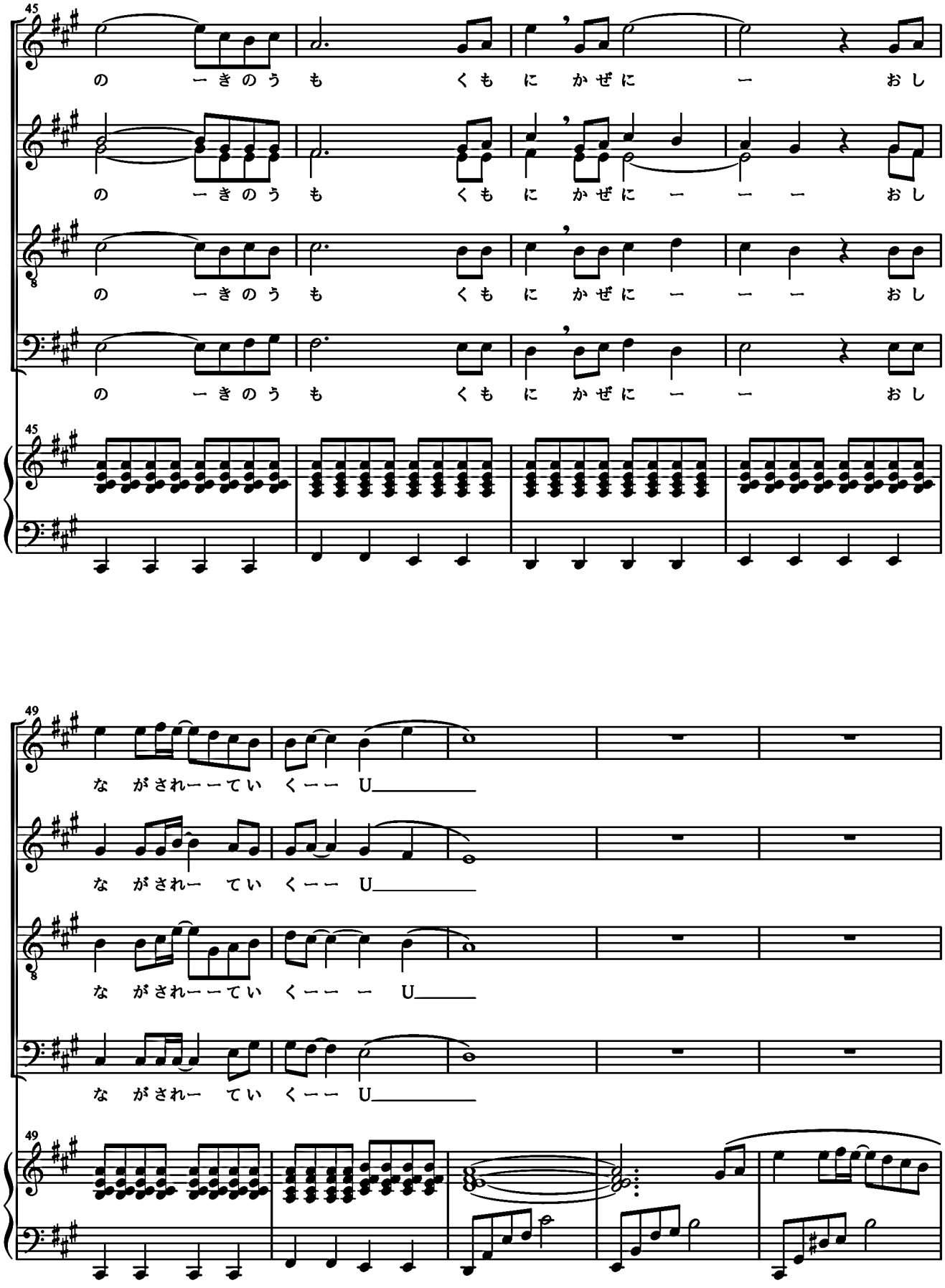
しゅん まちはーしずか になるーーその すきまをーぬうよ うにー ーぼく たちはまーちをで

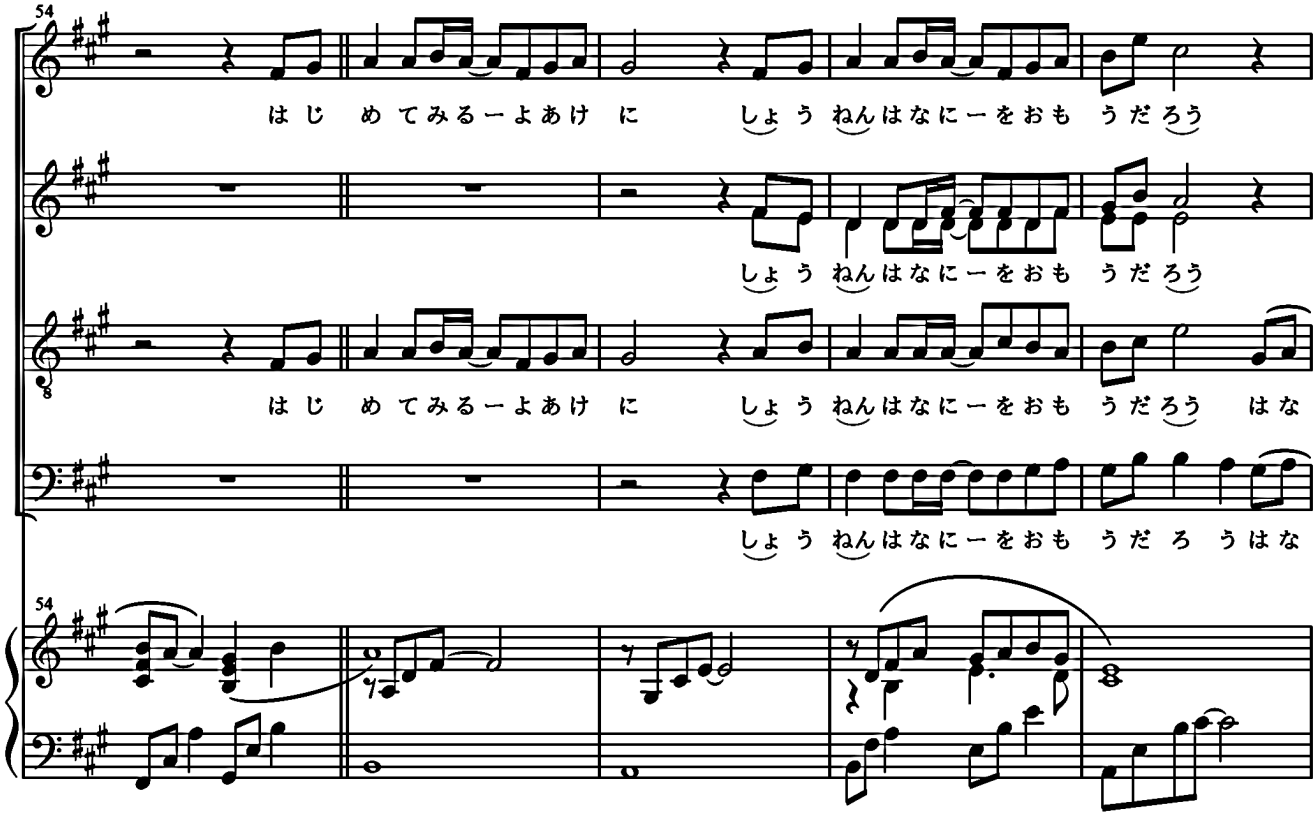
19

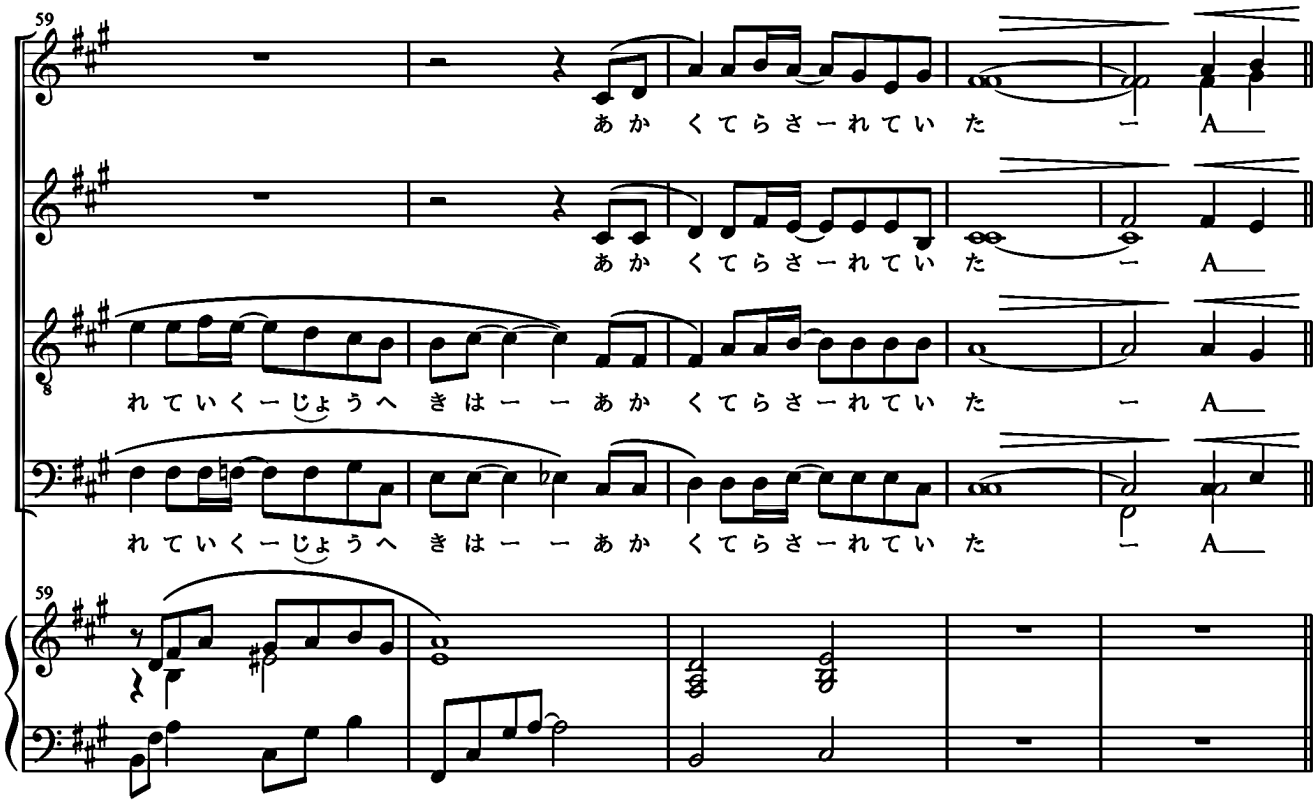

24
た じょう へきのむーこうに は さざ めくみどーりのそ うげん ー
た じょう へきのむーこうに は さざ めくみどーりのそ うげん ー
た さざ めくみどーりのそ うげん ーとお
た さざ めくみどーりのそ うげん ーとお
29
p
mf
(♩=72)
U あけ のほしがーかがや く ー しら
U かがや く ー しら
くみわたーしたそ らにーーあけ のほしがーかがや く ー しら
くみわたーしたそ らにーー A しら

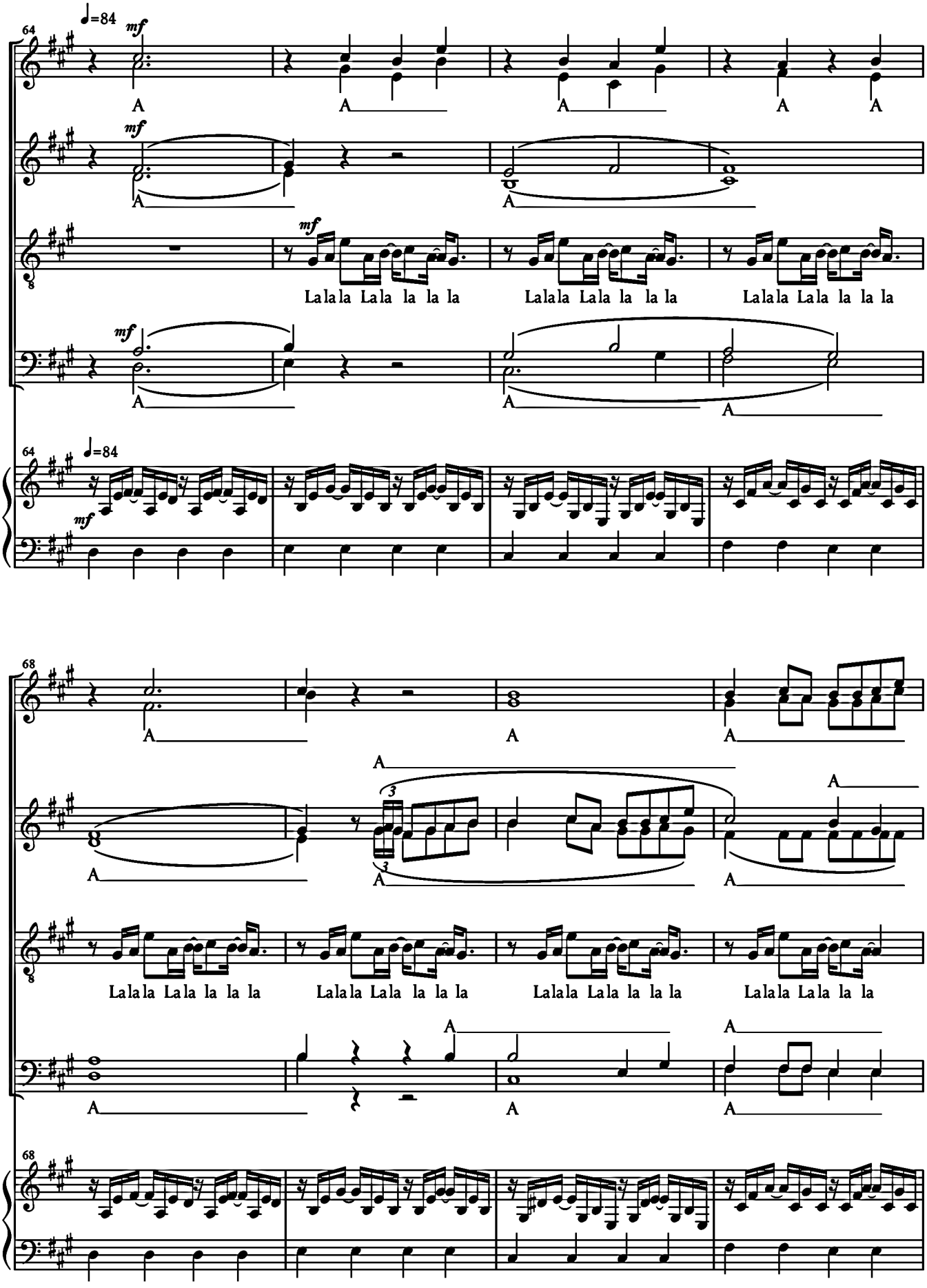

35
♩=72
む そらは ー ほし を すいあ げ とお い ーちへい
mf

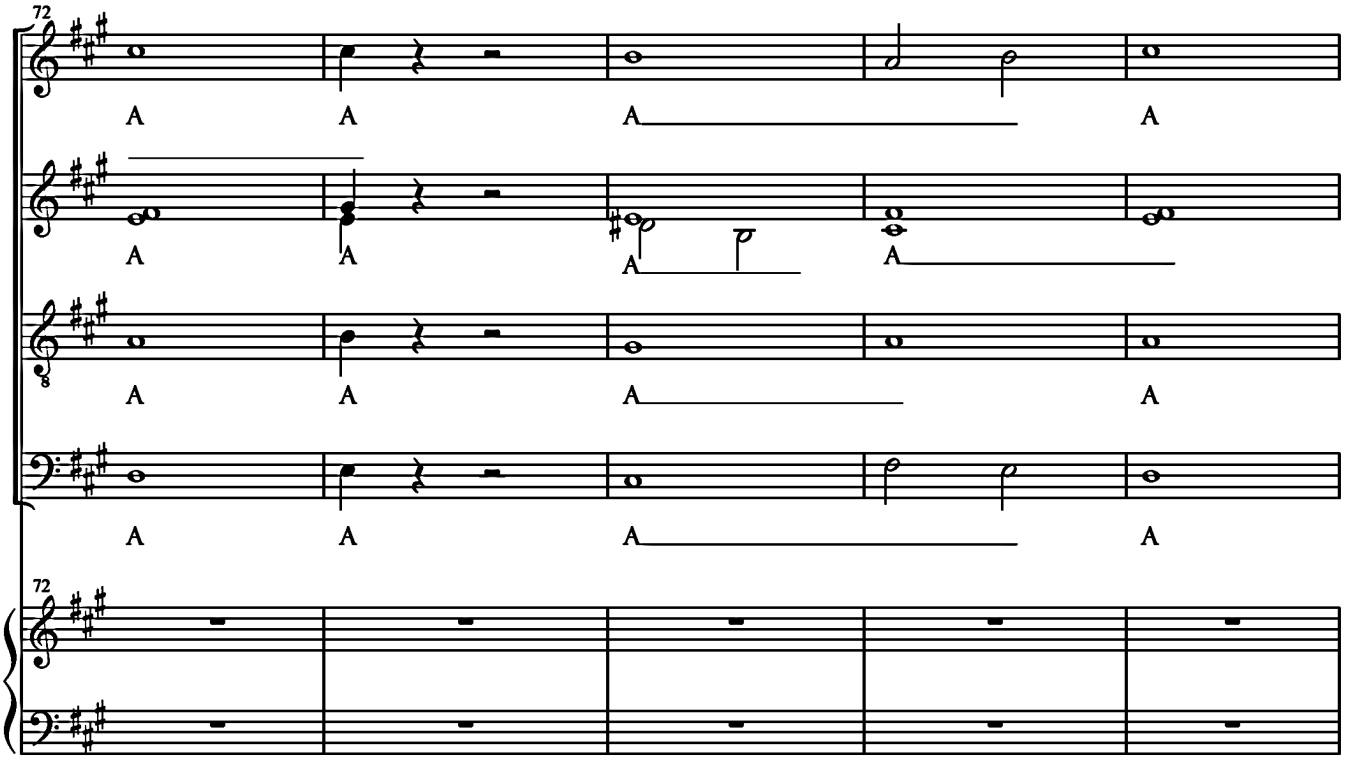

40
に かえ す ー ある き だした ー ぼく

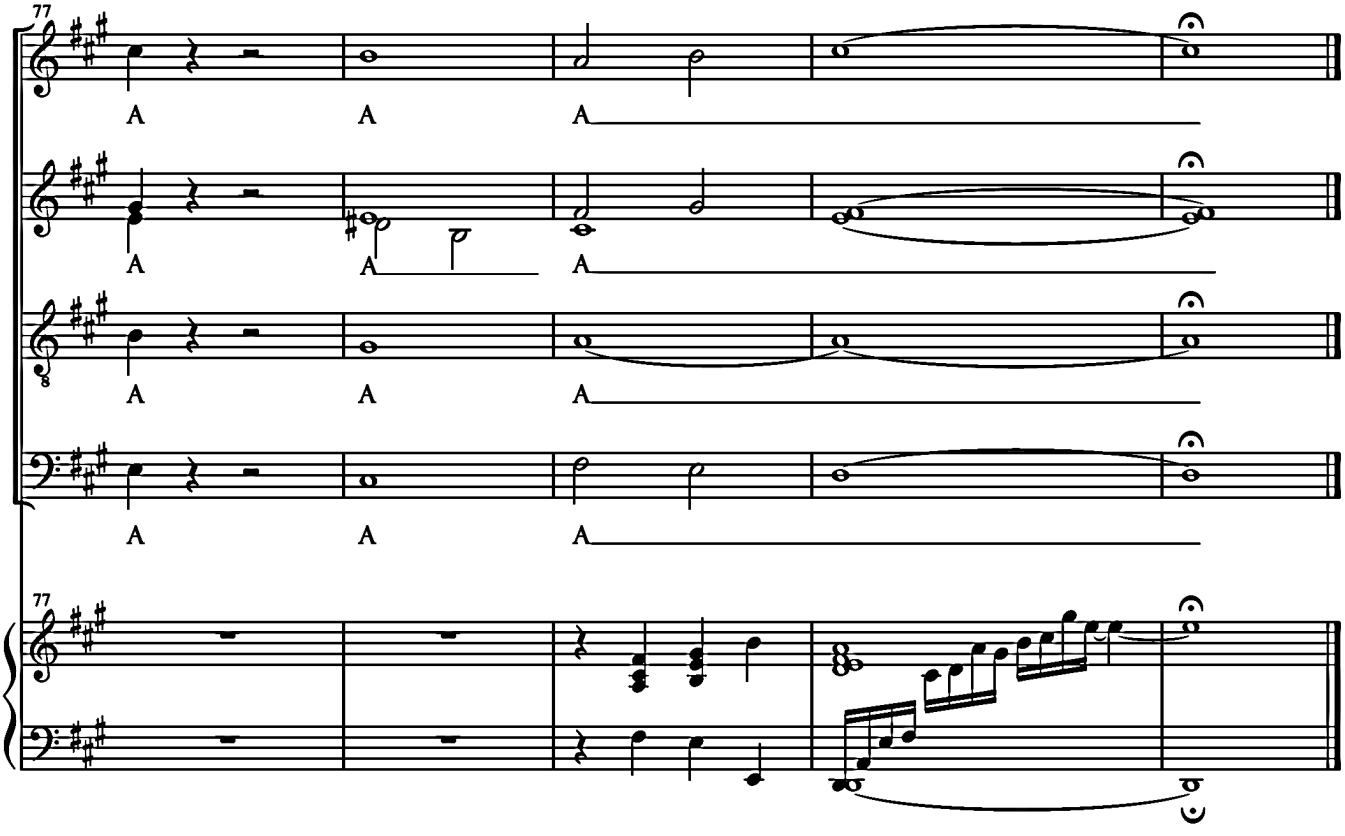

45
の ーきのう も くも に かぜに ー おし
の ーきのう も くも に かぜに ー ー ー おし
の ーきのう も くも に かぜに ー ー ー おし
の ーきのう も くも に かぜに ー ー おし
49
な がされーーてい くーー U
な がされー てい くーー U
な がされーーてい くーー ー U
な がされー てい くーー U


54
はじめてみるーよあけに しょうねんはなにーをおもうだろう
しょうねんはなにーをおもうだろう
はじめてみるーよあけに しょうねんはなにーをおもうだろう はな
しょうねんはなにーをおもうだろうはな
54


59
あかくてらさーれていた ー A
あかくてらさーれていた ー A
れていくーじょうへきはー ーあかくてらさーれていた ー A
れていくーじょうへきはー ーあかくてらさーれていた ー A
59


64
♩=84
mf
A
Lalala Lala la la la
68


72
A A A A
A A A A
A A A A
A A A A
72


77
A A A
A A A
A A A
A A A
77

Vefles Degnikes

Ys amis u , kayies u regassas onom iottat inem nabog.
[イス アーミス ウー, カーイェス ウー レガッサス オノーム イオタット イネェム ナボーグ]

Us soha reraw yenah otienna ian onira wo eudisi.
[ウス ゾーハ レラゥ イエンナ オティエンナ イアン オニーラ ヴォ エウディシイ]

Er arom amin , neguoso nirodim u oysedu sakreah.
[エル アローム アーミン, ネグゥオーソ ニロディム ウー オイセドゥ サックレアー]

Vefles runoy nogen ik fogrant.
[ヴェフレス ルノーイ ノーゲン イク フォグラント]

Iriyde yenah ot fomegar ehit evar dogne.
[イリィードゥ イエンナ オトゥ フォメガール エヒット エヴァール ドグネ]

Ys degnikes ur irudoy,
[イス デグニケス ウル イルドーイ]

Oter yreed sius mefnoc wor erpeos runo tayen seek.
[オーテル イリードゥ スイウス メフノック ヴォル エルペオス ルノー タイエン スイーク]

Vefles Degnikes

Ys amis u , kayies u regassas onom [(iottat) inem nabog.]
私たち(は) 約束する あなたに 捧げる あなたに 大切な もの それは 五 ～番目

Us soha reraw yenah otienna [ian onira wo eudisi.]
あなた(は) …だろう もたらす 私たちに 礎 ～の 繁栄 そして 安寧

(Er arom amin,) neguoso nirodim [u oysedu] sakreah.
～の中に 緑の 草原 永遠の 王国 あなた(が) 治める 栄える

Vefles [runoy nogen ik fogrant.]
炎, 灯火 照らす すべての 大地

Iriyde yenah [ot fomegar (ehit evar dogne.)]
みちびく 私たち(を) ～に 未来 ～なしの, ～のない 深い 暗闇

Ys degnikes ur irudoy.
私たち(は) 讃える あなた(の) 威光

Oter yreed sius mefnoc [wor erpeos (runo tayen seek.)]
大きな 力 それは もたらす 夜明け ～に この 世界